三　電氣鐵道ノ起終點及經過地道府縣郡市町村名ヲ記載シ軌道ノ起終點ニ在リテハ地番ヲモ記載スベシ

瓦長

二　發電設備　發電所毎ニ記載スベシ

(一)　發電所ノ名稱及位置　道府縣郡市町村名ヲ記載シ火力發電所ニ在リテハ地番ヲモ記載スベシ

(二)　原動力　水力、汽力、內燃力ノ別、水力ニ在リテハ河川又ハ湖沼名、取水口及放水口ノ位置、使用水量(常時、特殊等ノ區別ニ依ル)、有效落差、理論水力、汽力又ハ內燃力ニ在リテハ其ノキロワット數ヲ記載スベシ

(三)　發電所ノ出力　常時出力、特殊出力、補給出力、豫備出力ノ別及其ノ合計竝ニ常時尖頭出力(豫想負荷曲線圖ヲ添附スベシ)及最大尖頭出力ヲ記載スベシ

(四)　周波數

三　受電設備　受電地點毎ニ記載スベシ

(一)　受電地點　道府縣郡市町村名及地番ヲ記載スベシ其ノ地點ガ發電所又ハ變電所內ナルトキハ其ノ名稱ヲ附記スベシ

(二)　受電地點ノ出力　前號(三)ニ準ズル出力及融通出力ヲ記載スベシ

(三)　周波數

四　送電設備　送電線路毎ニ記載スベシ

(一)　送電線路ノ名稱、區間、連絡ヲ有スル發電所、受電地、經過地道府縣郡市町村名ヲ記載スベシ

(二)　電氣方式　直流、交流、相及及最大電壓

(三)　電線路ノ種類　架空線、地中線、水底

五　變電設備　變電所毎ニ記載スベシ

(一)　變電所ノ名稱及位置　道府縣郡市町村名ヲ記載スベシ

(二)　變電所ノ出力　電氣方式又ハ電壓ヲ異ニスルモノアルトキハ各別ニ記載スベシ

六　配電設備

(一)　配電線路ノ經過地　供給區域外ノ部分ニ付道府縣郡市町村名ヲ記載スベシ

(二)　電氣方式　直流、交流、相及及最大電壓　特別高壓、高壓、低壓ニ區別記載スベシ

(三)　電線路ノ種類　架空線、地中線、水底

(四)　需用者ノ端子電壓　電燈、電動機其ノ他電力裝置ノ端子電壓ヲ記載スベシ

前項ノ工事設計書ニハ送電系統圖(第九號樣式ニ依リ調製スベシ)及平面圖(縮尺五萬分ノ一以上トシ發電所、受電地點、變電所ノ位置、電線路中心線竝ニ其ノ經過スル道府縣郡市町村ノ境界及名稱、地勢、主要ナル市街、村落、鐵道、軌道等ヲ記載スベシ)ヲ添附スベシ但シ平面圖ニ付テハ其ノ事項ヲ第二條又ハ第四條ノ平面圖(縮尺五萬分ノ一以上ニ中ニ記載スルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

第六條　電氣鐵道事業ノ工事設計書ニハ前條第一項第一號乃至第五號ノ事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一　饋電線路

(一)　饋電線路ノ經過地　電氣鐵道線路ニ達スル部分ニ付道府縣郡市町村名ヲ記載スベシ

(二)　電線路ノ種類　架空線、地中線、水底

二　電氣鐵道方式　電氣鐵道線路毎ニ區別シ直流、交流、相、架空單線式、架空複線式、第三軌條式、鋼索式其ノ他方式ノ區別ヲ記載及電車線又ハ第三軌條ノ電壓　電氣鐵道線路毎ニスベシ

前項ノ工事設計書ニハ前條第二項ノ圖面ヲ添附スベシ但シ平面圖ニ付テハ第三條ノ平面圖中ニ記載スルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

第七條　工事費概算書ハ第一號樣式、事業上ノ收支概算書ハ第二號樣式ニ依リ之ヲ調製スベシ

前項ノ工事費概算書ハ第十三條第一項ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ工事施行ソ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ工事費豫算書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得但シ同條第二項ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　電氣事業法第三條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ事項ハ起業目論見書又ハ工事設計書中左ニ揭グルモノトス

一　目的

二　供給區域

三　供給關係

四　電氣鐵道ノ起終點　道府縣郡市町村軌道ニ在リテハ道府縣郡市町村及地番　又ハ經過地道府縣郡市町村

五　發電設備　發電所ノ位置又ハ出力(二割以上ノ變更ニ限ル)

六　受電設備受電地點又ハ供給者
七　送電設備送電線路ノ區間又ハ經過地（經過地ニ在リテハ之ヲ削除スル場合ヲ除ク）
八　變電設備變電所ノ位置
九　配電線路又ハ饋電線路ノ經過地（削除スル場合ヲ除ク）
前項ノ事項變更許可ノ申請書ニハ關係ノ書類圖面事業ヲ開始シタル後供給區域ヲ擴張セントスルトキハ供給餘力ヲ具シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ
前二項ノ規定ハ第二十二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ之ヲ適用セズ

第九條　電氣事業法第三條ノ許可ヲ受ケタル後工事施行ノ認可ヲ受クル前ニ於テ工事設計書中左ノ事項ヲ變更スル場合ニ於テハ其ノ變更ヲ必要トスル事由及新舊ヲ對照シタル書面竝ニ關係ノ書類圖面ヲ具シ變更事項ニ基ク工事施行ノ認可ヲ申請スベシ

一　總出力
二　發電設備發電所ノ原動力、出力（二割未滿ノ變更ニ限ル）又ハ周波數
三　受電設備受電地點ノ出力又ハ周波數
四　送電設備送電線路ノ電氣方式、最大電壓又ハ電線路ノ種類
五　配電設備電氣方式、最大電壓又ハ需用者ノ孃子電壓（電燈ノ孃子電壓）
六　電氣鐵道方式又ハ電車線若ハ第三軌條ノ電壓

第十條　第一條第五號若ハ第七號ノ書類ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキ又ハ工事設計書中前二條ニ揭グルモノヲ除ク他ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ヅベシ

第十一條　第一條、第八條第二項又ハ前條ノ規定ニ依ル申請書又ハ屆書ヲ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ事業地ヲ管轄スル地方長官及遞信局長ニ提出スベシ
前項ノ規定ハ電氣事業開始期間伸長許可ノ申請書ヲ遞信大臣ニ提出スル場合ニ之ヲ準用ス

第二章　工事

第一節　工事施行

第十二條　電氣事業法第三條ノ許可ニ伴フ工事ヲ施行セントスルトキハ遞信大臣ニ認可ヲ申請スベシ但シ電氣供給用ニシテ使用電壓三萬五千ヴオルト以下ノモノニ關シテハ發電所ヲ設置セズ又ハ第九條ニ揭グル事項ヲ變更セザル場合ニ限リ所轄遞信局長ニ認可ヲ申請スベシ
前項ノ規定ハ高壓又ハ低壓ノ配電工事電力供給ノミヲ目的トスル供給區域ニ對スルモノヲ除ク）ニシテ關係ノ發電所、受電地點、變電所等ニ付工事施行ノ認可ヲ受ケタルモノニ關シテハ第九條ニ揭グル事項ヲ變更セザル場合ニ限リ之ヲ適用セズ此ノ場合ニ於テハ工事着手前其ノ旨ヲ所轄遞信局長ニ屆出ヅベシ

第十三條　前條ノ規定ニ依ル工事施行認可ノ申請ハ電氣事業法第三條ノ許可ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スコトヲ得
工事ノ全部ニ付一時ニ前條ノ規定ニ依ル工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十四條　第十二條ノ規定ニ依ル認可ノ申請書又ハ屆書ニハ左ノ書類圖面ヲ具備スベシ

一　工事設計明細書
二　實測圖
三　工事費豫算書第三號樣式ニ依リ調製スベシ
前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ
一　工事落成期限書工事ヲ區分シテ施行スル場合ニ於テハ其ノ區分毎ニ記載スベシ
二　許可ヲ受ケタル者會社發起人ナルトキハ會社登記簿ノ謄本第九十二條第一號ノ屆出ヲ爲シタル場合ヲ除ク

第十五條　電氣供給事業ノ工事設計明細書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
一　總出力第五條第一項第一號ニ準ジ記載スベシ但シ工事施行ノ認可ヲ受ケタル他ノ發電所及受電地點アルトキハ其ノ出力ト合成シタルモノヲ落成ト未落成トニ區別記載スベシ
二　發電設備發電所ノ名稱及位置（道府縣郡市町村名及地番ヲ記載スベシ）ヲ揭ゲ發電所毎ニ記載スベシ
（一）　第五條第一項第二號（三）ニ準ズ
（二）　原動力設備
（甲）　水力設備
（イ）　河川又ハ湖沼名竝ニ取水口及放水口ノ位置
（ロ）　使用水量單位毎秒立方メートルトシ常時、特殊等ノ區別ニ依リ記載スベシ

第二編　電氣　瓦斯　第一章　電氣　電氣事業法施行規則

（ハ）　有效落差單位メートルトシ計算書ヲ添附スベシ
（ニ）　理論水力單位キロワットトシ左ノ算式ニ依リ計算スベシ
理論水力＝落下水量×有效落差×9.8
（ホ）　引水方法取水口ヨリ放水口ニ至ル引水方法ヲ記載スベシ
（ヘ）　水路工作物
堰堤取水口ニ於ケルモノ又ハ貯水池若ハ調整池ニ於ケルモノノ別、構造、材料、施工方法及地質竝ニ可動堰、捲上裝置、土砂吐、機械器具其ノ他附屬設備及流木路、魚道其ノ他附帶設備
取水口構造、制水門、塵除、流木除、氷雪除其ノ他取水口ニ於ケル施設
導水路瓦長、隧道、開渠、蓋渠、樋、水路管、水路橋等ノ長、勾配、構造及施工方法、土砂吐、餘水吐、豎視孔、水量測定設備
沈砂池構造、土砂ノ沈澱及排除ノ方法、制水門、土砂吐等
水槽構造、制水門、塵除、土砂吐、餘水吐、餘水路
水壓管路水壓管ノ構造、條數、太サ、長、厚、保安裝置其ノ他附屬設備ノ大要、水壓管支持施設
吸出管型式及吸出高
放水路瓦長、勾配、構造及施工方法
堰堤、水路斷面、調壓水槽、水壓管路其ノ他特殊ノ工作物ノ大

サ及強度ノ計算書ヲ添附スベシ

(ト) 貯水池、調整池全容量、有效容量、利用水深、水位ト有效容量トノ關係、湛水面積及使用方法、餘水吐、土砂吐、排水路、側壁、底面工事等

有效容量ノ計算書ヲ添附スベシ

(チ) 水車種類、型式、キロワット數、回轉數、調速機ノ種類、箇數(常用ト豫備トノ別)

工作物ノ構造及機械器具ノ裝置ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ

(乙) 汽力設備

(イ) 汽機種類、キロワット數、汽壓、汽溫、眞空度又ハ背壓、回轉數、蒸汽又ハ熱消費量、蒸汽抽出段數及箇數(常用ト豫備トノ別)

(ロ) 汽罐種類、汽壓、汽溫(再熱器ヲ使用スルモノニ在リテハ再熱前後ノ汽溫ヲモ附記スベシ)、蒸發量、加熱面積及過熱面積(火爐壁ニ配置スルモノハ分割シテ記載スベシ)、有效火床面積、火爐容積、給水溫度及箇數(常用ト豫備トノ別)

蒸汽貯藏器種類、貯藏容量、使用壓力ノ範圍及箇數

汽機及補助機用ノ蒸汽又ハ熱消費量ニ損失量ヲ加算シタル發電所總蒸汽又ハ熱消費量ノ計算書ヲ添附スベシ

(ハ) 燃料燃燒裝置

給炭機種類、火床ノ幅及長、汽罐一箇ニ對スル据附箇數及設計燃燒容量

微粉炭燃燒用機器石炭乾燥器、石炭粉碎機、微粉炭輸送裝置及火口等ノ種類、容量及箇數、原動機ノ種類、キロワット數及箇數

油又ハ瓦斯燃燒用機器種類、容量、箇數、原動機ノ種類、キロワット數及箇數

燃料ノ種類及標準發熱量ヲ附記スベシ

(ニ) 汽罐給水設備

給水「ポンプ」種類、容量及箇數(常用ト豫備トノ別)、原動機ノ種類、キロワット數及箇數

貯水設備種類、容量及箇數

汽罐補給水ノ種類及可能取水量ヲ附記スベシ

(ホ) 汽罐給水加熱及清淨裝置

節炭器、溫水器種類、加熱面積及箇數

淨水器、脫氣器種類、容量、箇數、附屬機器ノ種類、容量、キロワット數及箇數

(ヘ) 復水設備

復水器種類、冷汽面積、冷却水標準溫度及箇數、冷却水「ポンプ」、空氣「ポンプ」及復水「ポンプ」ノ種類、容量及箇數、原動機ノ種類、キロワット數及箇數

冷却池又ハ冷却塔構造、容量及箇數、附屬機器ノ種類、容量、キロワット數及箇數

(ト) 煙道內設備

空氣豫熱器種類、加熱面積、豫熱前後ノ空氣溫度及箇數

煙道瓦斯集塵裝置種類、容量、箇數、附屬機器ノ種類、キロワット數及箇數

(チ) 通風設備

通風機種類、通風量、風壓及箇數、原動機ノ種類、キロワット數及箇數

煙突種類、口徑、地表及汽罐火床面上ノ高竝ニ基數

(リ) 貯炭場面積及貯炭容量 石炭及灰燼運搬設備種類、容量及箇數、原動機ノ種類、キロワット數及箇數

(ヌ) 其ノ他附屬設備

機械器具ノ裝置、建物及汽機ノ基礎竝ニ復水器冷却用水路等ハ圖面ヲ以テ之ヲ表示シ別ニ發電所及其ノ附近ノ狀況ヲ示ス縮尺二萬五千分ノ一以上ノ圖面及發電所出力一萬キロワット以上ノモノニ在リテハ發電所熱精算圖第十一號樣式ニ依リ調製スベシヲ添附スベシ

(丙) 內燃力設備

(イ) 內燃機種類、キロワット數、回轉數、燃料消費量及箇數(常用ト豫備トノ別)

(ロ) 瓦斯發生裝置種類、發生容量及箇數

(ハ) 消音裝置構造、材料、大サ及箇數

(ニ) 貯油槽、瓦斯溜種類、容量及箇數

燃料ノ種類及標準發熱量ヲ附記スベシ

(ホ) 內燃機冷却設備

冷却水「ポンプ」種類、容量及箇數、原動機ノ種類、キロワット數及箇數

冷却池又ハ冷却塔構造、容量及箇數、附屬機器ノ種類、容量、キロワット數及箇數

冷却水ノ種類及可能取水量ヲ附記スベシ

(ヘ) 煙突種類、口徑、地表上ノ高及基數

(ト) 其ノ他附屬設備

機械器具ノ裝置、建物及內燃機ノ基礎、冷却池又ハ冷却塔竝ニ消音裝置ハ圖面ヲ以テ之ヲ表示シ別ニ發電所ノ位置ヨリ凡百五十メートル以內ノ狀況ヲ詳細ニ示ス縮尺一千分ノ一以上ノ圖面ヲ添附スベシ

(三) 電氣設備

(イ) 發電機直流、交流ノ別、同期、非同期ノ別、直流ニ在リテハキロワット數、交流ニ在リテハキロヴォルトアムペア數及力率、電壓、相、周波數、回轉數、結線法、勵磁法(自動電壓調整器、速應勵磁裝置等ニ關シテモ記載スベシ)、箇數(常用ト豫備トノ別)及原動機トノ連結方法

(ロ) 勵磁機種類、直流、交流ノ別、キロワット數、電壓、相、周波數、回轉數、勵磁法、箇數(常用ト豫備トノ別)、原動機トノ連結方法、原動機ノ種類及キロワット數

(ハ) 變壓器キロヴォルトアムペア數、一次電壓、二次電壓、三次電壓(負荷時ニ「タップ」ヲ切リ換ヘ得ルモノハ其ノ裝置ヲ

記載スベシ)、相、周波數、結線法、冷却法及箇數(常用ト豫備トノ別)

(ニ) 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器　種類、直流、交流ノ別、キロワツト數、電壓(交流ニ在リテハ電流ヲモ記載スベシ)、相、周波數、回轉數及箇數(常用ト豫備トノ別)

(ホ) 調相機　同期、非同期ノ別、キロヴオルトアンペア數、電壓、周波數、箇數(常用ト豫備トノ別)、勵磁法、勵磁機ノキロワツト數、送電容量ヲ增加スル目的ヲ以テ設置スルモノニ在リテハ其ノ計算

(ヘ) 蓄電池　種類、放電時間、放電容量及箇數

(ト) 中性點接地方法　接地裝置ノオーム數、種類、電流、容量等

(チ) 制御裝置　手動式、自動式、遠方制御式ノ別、自動式又ハ遠方制御式ニ限リ其ノ裝置ノ大要

(リ) 保安裝置　種類及構造ノ大要(發電機、母線、變壓器、送電線等ノ保安裝置)

機械器具ノ裝置及電線ノ接續ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ

三 受電設備　受電地點ノ位置(道府縣郡市町村名及地番ヲ記載スベシ其ノ地點ガ發電所又ハ變電所內ナルトキハ其ノ名稱ヲ附記スベシ)及供給者ヲ揭ゲ受電地點每ニ記載スベシ

(イ) 受電地點ノ出力　第五條第一項第三號(二)ニ準ズ

(ロ) 電氣方式　直流、交流、相及線式、周波數、受電電壓

(ハ) 送電上ノ責任分界トナルベキ開閉器及受電電力ヲ遮斷シ得ベキ開閉器

(ニ) 保安裝置　種類及構造ノ大要

電線ノ接續及責任ノ分界ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ

四 送電設備　送電線路ノ名稱、區間及亙長(架空、地中、水底電線路ノ別)ヲ揭ゲ送電線路每ニ記載スベシ

(イ) 電氣方式　直流、交流、相及線式、最大電壓

(ロ) 架空電線路ノ構造

電線　線條數、回線數、太サ、電線及被覆絕緣物ノ種類、電線地表上ノ最低ノ高、電線相互ノ間隔及撚架ノ方法

架空地線　線條數、種類及太サ

支持物　標準徑間、最大徑間、木柱(木材ノ種類、注入、不注入ノ別)、鐵柱、鐵塔又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ別及其ノ構造ノ大要、鐵柱、鐵塔又ハ鐵筋「コンクリート」柱ヲ使用スル場合ニ於テハ其ノ强度ニ關スル計算及重量

碍子(特別高壓ノモノニ限ル)　種類、大サ(懸垂型ノモノニ在リテハ一連ノ箇數ヲモ記載スベシ)、試驗電壓及試驗時間

其ノ他構造ノ大要　他ノ工作物トノ關係上施設スベキ工事、船舶通航ノ關係アル河川、湖沼、海峽等ヲ橫斷スル場合ニ於ケル工事等

電壓六萬ヴオルト以上ノ送電線路ニ在リテハ電氣工作物規程本則第六十一條ノ規定ニ依ル靜電誘導電流ニ關スル計算書ヲ添附スベシ

(ハ) 地中電線路及水底電線路ノ構造

電線　條數、種類、被覆絕緣物ノ種類、心線ノ種類、數及太サ

布設方法　引入式、直接埋設式等ノ別ニ依ル方法ノ大要

其ノ他構造ノ大要　地中函、接續函等ノ構造、他ノ工作物トノ關係上施設スベキ工事等

(ニ) 開閉所　名稱及位置(道府縣郡市町村名及地番ヲ記載スベシ)竝ニ工事ノ大要

(ホ) 中性點接地方法　接地箇所、オーム數、種類及電氣工作物規程本則第六十一條ノ規定ニ依ル電磁誘導電壓ノ計算

(ヘ) 保安通信用電話設備　回線ノ方式、回線數、電話線ノ種類及太サ、電話機設置場所(道府縣郡市町村名及地番竝ニ發電所、變電所等ノ別)、送電線路ニ添架セザルモノニ在リテハ經過地(道府縣郡市町村名)及支持物ノ種類

送電線路ノ構造、撚架ノ方法、開閉所ニ於ケル電線ノ接續及電話回線ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ

電壓五萬ヴオルト以上ニシテ亙長五十キロメートル以上ノ送電線路ニ在リテハ送電容量ニ關スル計算書、消弧裝置ヲ有スル送電線路ニ在リテハ當該裝置容量ニ關スル計算書ヲ添附スベシ

五 變電設備　變電所ノ名稱及位置(道府縣郡市町村名及地番ヲ記載スベシ)ヲ揭ゲ變電所每ニ記載スベシ

(イ) 變電所ノ出力　第五條第一項第五號(二)ニ準ズ

(ロ) 變壓器　發電設備ノ(三)ノ(ハ)ニ準ズ

(ハ) 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器　發電設備ノ(三)ノ(ニ)ニ準ズ

(ニ) 調相機　發電設備ノ(三)ノ(ホ)ニ準ズ

(ホ) 蓄電池　發電設備ノ(三)ノ(ヘ)ニ準ズ

(ヘ) 中性點接地方法　發電設備ノ(三)ノ(ト)ニ準ズ

(ト) 制御裝置　發電設備ノ(三)ノ(チ)ニ準ズ

(チ) 保安裝置　種類及構造ノ大要

機械器具ノ裝置及電線ノ接續ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ

六 配電設備

(イ) 電氣方式　直流、交流、相及線式、配電線路ノ最大電壓　特別高壓、高壓、低壓ニ區別記載シ高壓又ハ低壓ニ在リテハ變壓器ノ一次電壓及二次電壓ヲモ附記スベシ

(ロ) 需用者ノ端子電壓　電燈、電動機其ノ他電力裝置ノ端子電壓

(ハ) 架空電線路ノ構造

特別高壓ノモノニ在リテハ送電設備ノ(ロ)ニ準ジ高壓又ハ低壓ノモノニ在リテハ左ノ事項ヲ記載スベシ

電線　太サ、電線及被覆絕緣物ノ種類(高壓、低壓ノ別)

支持物　種類及構造ノ大要

其ノ他構造ノ大要　送電設備ノ(ロ)ノ其ノ他構造ノ大要ノ項ニ準ズ

特別高壓電線路ノ亙長ヲ附記スベシ

(ニ)　地中電線路及水底電線路ノ構造

電纜條數(特別高壓ノモノニ限ル)、種類、被覆絕緣物ノ種類、心線ノ種類、數及太サ(特別高壓、高壓、低壓ノ別)

布設方法　送電設備ノ(ハ)ノ布設方法ノ項ニ準ズ

其ノ他構造ノ大要　送電設備ノ(ハ)ノ其ノ他構造ノ大要ノ項ニ準ズ

特別高壓電線路ノ亙長ヲ附記スベシ

(ホ)　特別高壓變壓器電氣工作物規程本則第十一條ノ規定ニ依ルモノニ付其ノ位置(道府縣郡市町村名及地番ヲ記載スベシ)、種類、電壓、電流及箇數

(ヘ)　需用場所ニ於ケル電氣設備(特別高壓ノモノニ限ル)　變電設備ノ項ニ準ズ

(ト)　保安通信用電話設備　送電設備ノ(ヘ)ニ準ズ

配電線路ノ構造及機械器具ノ裝置竝ニ電線ノ接續ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ

七　附帶設備　水路、貯水池、調整池及之ニ沿ヒ設置スル監視人詰所、發電所、開閉所及變電所構內、受電地點等ニ於テ電燈又ハ電力ヲ使用スル施設ニ關シ前各號ノ事項ヲ記載スベシ但シ前各號ノ事項中ニ併記スルコトヲ妨ゲズ

前項ノ工事設計明細書ニハ送電關係一覽圖第十號樣式ニ依ヲ添附スベシ

電氣工作物規程ニ依ル特殊ノ設計又ハ制限外施設ニ關シテハ第一項各號ノ事項中ニ其ノ工事方法ヲ詳記スベシ

第十六條　電氣鐵道事業ノ工事設計明細書ニハ前條第一項第一號乃至第五號ノ事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一　饋電線路

(イ)　架空饋電線路ノ構造　前條第一項第六號(ハ)ニ準ズ

(ロ)　地中饋電線路ノ構造　前條第一項第六號(ニ)ニ準ズ

(ハ)　絕緣歸線種類、太サ、線條抵抗器及オーム數　陰極加減壓機設置場數、亙長及施設方法　箇數

府縣郡市町村名及地番ヲ記載スベシ　其ノ場所ガ發電所又ハ變電所內ナルトキハ其ノ名稱ヲ附記スベシ)、種類、電壓、電流及箇數

饋電線路ノ構造ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ

二　電車線路及軌道電氣鐵道ノ名稱、區間及亙長(單線、複線等ノ別)ヲ掲ゲ一線路毎ニ記載スベシ

(イ)　電氣鐵道方式　第六條第一項第二號ニ準ズ　電車線又ハ第三軌條ノ電壓

(ロ)　電車線路及軌道ノ構造

電車線(架空式ノモノニ限ル)種類、太サ、線間距離及吊架法

支持物(架空式ノモノニ限ル)　標準徑間、木柱、鐵柱、鐵塔等ノ別

軌道(軌條ヲ歸線トスル方式ノモノニ限ル)　軌床ノ構造、軌條ノ重量、接續法、「ボンド」及補助

線ノ種類、太サ

第三軌條式、鋼索式等ニ在リテハ其ノ施設方法

電車線路及軌道ノ構造ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示シ電氣工作物規程本則第百六十五條又ハ第百六十六條ノ規定ニ依ル施設ニ關スル說明書及計算書ヲ添附スベシ

三　附帶設備　前條第一項第七號ニ規定シタル場所、車庫構內、軌道ニ沿ヒ建設スル電柱、軌道ニ沿ヒ設置スル保線又ハ運輸係員詰所內等ニ於テ電燈又ハ電力ヲ使用スル施設ニ關シ前條第一項第七號ニ準ジ記載スベシ

前條第二項及第三項ノ規定ハ本條ニ之ヲ準用ス

第十七條　實測圖ハ左ノ各種トス

一　水路、貯水池及調整池實測平面圖　縮尺五千分ノ一以上トシ堰堤、取水口、制水門、沈砂池、隧道、開渠、蓋渠、樋、水路管、水路橋、貯水池、調整池、水槽、餘水路、水壓管、發電所、放水路其ノ他ノ工作物ノ位置、基準線(高ハナルベク陸地測量部水準ニ準據スベシ)、距離、遞加距離、地盤高、切取、盛土ノ高、水路、貯水池、調整池ノ底面ノ高、計畫水位(水面勾配ヲ記入スベシ)、取水口及放水口ノ最高水位、平水位、最低水位ヲ記載スベシ

三　水路、貯水池及調整池實測橫斷面圖　縮尺二百分ノ一以上トシ計畫水位、法勾配、法面保護工等ヲ適當ノ斷面ニ依リ記載スベシ

二　水路、貯水池及調整池實測縱斷面圖　縮尺ノ長ハ平面圖ト同一ニシテ高ハ二百分ノ一以上トシ堰堤、取水口、制水門、沈砂池、隧道、開渠、蓋渠、樋、水路管、水路橋、貯水池、調整池、水槽、餘水路、水壓管、發電所、放水路其ノ他ノ工作物ノ位置、基準線(高ハナルベク陸地測量部水準ニ準據スベシ)、距離、遞加距離、地盤高、切取、盛土ノ高、水路、貯水池、調整池ノ底面ノ高、計畫水位(水面勾配ヲ記入スベシ)、取水口及放水口ノ最高水位、平水位、最低水位ヲ記載スベシ

四　送電線路實測平面圖　市街地及其ノ附近ノ部分ハ縮尺二千分ノ一以上其ノ他ノ部分ハ縮尺五千分ノ一以上トシ發電所、受電地點、變電所、開閉所ノ位置及電線路ノ中心線(架空線、地中線、水底線ノ別)竝ニ其ノ經過スル道府縣郡市町村ノ境界及名稱、地勢、電線路ノ位置ヨリ凡百メートル以內ニ在ル弱電流電線路、電柱地表上ノ高ニ相當スル距離以內ニ在ル他ノ電線路、鐵道、軌道及道路等ヲ記載スベシ

五　配電線路實測平面圖　前號ニ準ズ

六　饋電線路、電車線路及軌道實測平面圖　縮尺二萬五千分ノ一以上(市街地及其ノ附近ノ部分ハ別ニ縮尺二千五百分ノ一以上ノモノヲ添附スベシ)トシ饋電線、電車線、電氣鐵道(單線、複線等ニ區別記載スベシ)ノ位置、軌道ノ近傍及其ノ經過地ノ道府縣郡市町村ノ境界及名稱、地勢、停車場ノ位置及名稱、他ノ鐵道又ハ軌道ト交叉スル箇所アルトキハ其ノ位置、他ノ電線路ノ位置、電氣鐵道ノ位置ヨリ凡二百メートル以內ニ在ル他ノ鐵道又ハ軌道ノ位置、電氣鐵道ノ位置ヨリ凡百メートル以內ニ在ル架空弱電流電線路ノ位置、軌條ヲ歸線トスル方式ノ電氣鐵道ニ在リテハ電氣鐵道ノ位置ヨリ凡一キロメートル以內ニ在ル水道管、瓦斯管、地中電線其ノ他金屬製地中管路ノ位置、發電機其ノ他電源ノ一極ヲ軌條ニ接續シタル點ノ位置ヲ記載スベシ

前項第四號及第五號ノ圖面ニハ別ニ電線路ノ位置ノ概要ヲ記載シタル平面圖(第五條第二項ノヲ添附スベシ)ヲ添附スベシ

第十五條第一項第七號又ハ前條第一項第三號ノ附帶設備中電線路ニ關シテハ其ノ位置ヲ第一項第一號又ハ第四號乃至第六號ノ圖面中ニ記載スベシ

第十八條　第十二條ノ規定ニ依リ工事施行ノ認可ヲ受ケ又ハ屆出ヲ爲シタル後工事設計明細書中左ノ事項ヲ變更セントスルトキハ關係ノ書類圖面

ヲ具シ同條第一項ノ區別ニ依リ遞信大臣又ハ所轄遞信局長ニ認可ヲ申請スベシ其ノ事項ガ第九條ニ掲グル事項ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ變更ヲ必要トスル事由ヲ具シ新舊ヲ對照スベシ

一 總出力

二 發電設備

（一） 發電所ノ位置又ハ出力 二割未滿ノ變更ニ限ル

（二） 原動力設備

（甲） 水力設備

（イ） 水路工作物

堰堤 構造、材料、可動堰、捲上裝置、土砂吐

取水口ノ構造

導水路 勾配、構造、中心線位置、定規

沈砂池ノ構造

水槽ノ構造

水壓管路 水壓管ノ構造、條數、太サ、長、厚、保安裝置、水壓管支持施設

吸出管 型式、吸出高

放水路 勾配、中心線位置

（ロ） 貯水池、調整池 有效容量、利用水深、使用方法

（ハ） 水車 種類、キロワット數（二割以上ノ變更ニ限ル）、箇數（常用ト豫備トノ別）

（乙） 汽力設備

（イ） 汽機 種類、キロワット數（二割以上ノ變更ニ限ル）、箇數（常用ト豫備トノ別）

（ロ） 汽罐 種類、汽壓又ハ汽溫（一割以上ノ變更ニ限ル）、加熱面積（一割以上ノ變更ニ限ル）、箇數（常用ト豫備トノ別）

蒸汽貯藏器 種類、貯藏容量（一割以上ノ變更ニ限ル）、箇數

（ハ） 燃料燃燒裝置 給炭機、微粉炭燃燒用機器、油燃燒用機器、瓦斯燃燒用機器ノ別

（丙） 內燃力設備

（イ） 內燃機 種類、キロワット數（二割以上ノ變更ニ限ル）、箇數（常用ト豫備トノ別）

（ロ） 瓦斯發生裝置 種類、發生容量（一割以上ノ變更ニ限ル）、箇數（常用ト豫備トノ別）

（ハ） 消音裝置 構造、箇數

（三） 電氣設備

（イ） 發電機 直流、交流ノ別、同期、非同期ノ別、直流ニ在リテハキロワット數（二割以上ノ變更ニ限ル）、交流ニ在リテハキロヴォルトアムペア數（二割以上ノ變更ニ限ル）、周波數、箇數（常用ト豫備トノ別）

（ロ） 變壓器 キロヴォルトアンペア數（二割以上ノ變更ニ限ル）、電壓（一割以上ノ變更ニ限ル）、相、周波數、結線法、箇數（常用ト豫備トノ別）

（ハ） 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器 種類、直流、交流ノ別、キロワット數、電壓、相、周波數、箇數（常用ト豫備トノ別）

（ニ） 調相機 同期、非同期ノ別、周波數、箇數（常用ト豫備トノ別）、送電容量ヲ增加スル目的ヲ以テ設置スルモノニ在リテハキロヴォルトアムペア數

（ホ） 蓄電池 放電容量、箇數

（ヘ） 中性點接地方法 接地裝置ノオーム數、種類

（ト） 制御裝置 手動式、自動式、遠方制御式ノ別

（チ） 保安裝置ノ種類 避雷器ヲ除ク

三 受電設備

（イ） 受電地點ノ出力

（ロ） 電氣方式 直流、交流ノ別、相、線式、周波數、受電電壓

（ハ） 送電上ノ責任分界トナルベキ開閉器又ハ受電電力ヲ遮斷シ得ベキ開閉器

（ニ） 保安裝置ノ種類 發電設備ノ（三）ノ（チ）ニ準ズ

四 送電設備

（イ） 電氣方式 直流、交流ノ別、相、線式、最大電壓

（ロ） 架空電線路ノ構造

電線 線條數、太サ（一割以上ノ變更ニ限ル）、種類

支持物 標準徑間、木柱、鐵柱、鐵塔、鐵筋「コンクリート」柱ノ別、鐵柱、鐵塔又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ强度

碍子 「ピン」型、懸垂型ノ別

（ハ） 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造 電纜條數、心線ノ數、太サ

布設方法 引入式、直接埋設式等ノ別

（ニ） 開閉所ノ位置

（ホ） 中性點接地方法 接地箇所、オーム數、種類

五 變電設備

（イ） 變電所ノ位置

（ロ） 變壓器 發電設備ノ（三）ノ（ロ）ニ準ズ

（ハ） 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器 發電設備ノ（三）ノ（ハ）ニ準ズ

（ニ） 調相機 發電設備ノ（三）ノ（ニ）ニ準ズ

（ホ）蓄電池　發電設備ノ（三）ノ（ホ）ニ準ズ
（ヘ）中性點接地方法　發電設備ノ（三）ノ（ヘ）ニ準ズ
（ト）制御裝置　發電設備ノ（三）ノ（ト）ニ準ズ
（チ）保安裝置ノ種類　發電設備ノ（三）ノ（チ）ニ準ズ

六　配電設備

（イ）電氣方式　直流、交流ノ相、線式　配電線路ノ最大電壓
（ロ）需用者ノ端子電壓　電燈ノ端子電壓
（ハ）架空電線路ノ構造（特別高壓ノモノニ限ル）　送電設備ノ（ロ）ニ準ズ
（ニ）地中電線路又ハ水底電線路ノ構造（特別電壓ノモノニ限ル）　送電設備ノ（ハ）ニ準ズ
（ホ）特別高壓變壓器　位置、發電設備ノ（三）ノ（ロ）ニ準ズル事項

（ヘ）需用場所ニ於ケル電氣設備變電設備ノ項ニ準ズ

七　饋電線路

（イ）架空饋電線路ノ構造　電線又ハ支持物ノ種類
（ロ）地中饋電線路ノ構造　布設方法ノ別
（ハ）絕緣鎧線、抵抗器、陰極加減壓機

八　電車線路及軌道

（イ）電氣鐵道方式、電車線又ハ第三軌條ノ電壓
（ロ）電車線路又ハ軌道ノ構造

電車線種類、太サ（一割以上ノ變更ニ限ル）、吊架法
支持物　木柱、鐵柱、鐵塔等ノ別
軌道　軌床ノ構造、軌條ノ重量、接續法、「ボルトンド」又ハ補助線ノ種類又ハ太サ

九　附帶設備　發電機、其ノ原動機、特別高壓ノ機器又ハ電線路

工事落成期限ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ當該官廳ニ屆出ヅベシ

第十九條　第十二條ノ規定ニ依リ工事施行ノ認可ヲ受ケタル後特別高壓電線路　架空、地中、水底電線路ノ別　又ハ軌道單線、複線等ノ別ノ延長、短縮又ハ位置變更　左右各二十メートルヲ超エザル軌道ノ位置變更ヲ除クヲ爲サントスル場合ニ關シテハ前條第一項ノ規定ヲ

準用ス

第十二條ノ規定ニ依リ工事施行ノ認可ヲ受ケ又ハ屆出ヲ爲シタル後高壓又ハ低壓ノ送電線路　架空、地中、水底電線路ノ別　又ハ配電線路事業ヲ開始シタル供給區域內ノモノヲ除ク延長、短縮又ハ位置變更ヲ爲シタルトキハ所轄遞信局長ニ、左右各二十メートルヲ超エザル軌道ノ位置變更ヲ爲シタルトキハ遞信大臣ニ實測圖第十七條ニ準ズ　第十七條ヲ添ヘ遲滯ナク其ノ旨ヲ屆出ヅベシ

遞信局長ハ必要アリト認ムルトキハ高壓又ハ低壓ノ配電線路ニシテ前項ノ規定ニ依ル屆出ヲ要セザルモノニ關シ其ノ實測圖第十七條ヲ提出セシムルコトアルベシ

第二十條　第二十五條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ屆出ヲ爲シタル電氣工作物ニシテ左ニ揭グルモノノ取換ヲ爲サントスルトキハ關係ノ書類圖面ヲ具シ第十二條第一項ノ區別ニ依リ其ノ旨ヲ遞信大臣又ハ所轄遞信局長ニ屆出ヅベシ

一　水車
二　汽機、汽罐、蒸汽貯藏器
三　內燃機、瓦斯發生裝置、消音裝置
四　發電機
五　變壓器　發電所又ハ變電所ニ設置スル三百キロヴオルトアムペア以上ノ特別高壓變壓器、第十五條第一項第六號（ホ）又ハ（ヘ）ノ變壓器
六　電動發電機、迴轉變流機、周波數變換機、整流器
七　調相機
八　地中電纜又ハ水底電纜　使用電壓一萬五千ヴオルトヲ超ユルモノニ限ル

第二十一條　電氣工作物ノ滅失又ハ損壞ニ因ル復舊工事ハ直ニ之ニ著手スルコトヲ得

發電設備又ハ變電設備ノ復舊工事ニ關シテハ第十八條第一項ノ事項ヲ變更スルトキト雖モ緊急ノ必要アル場合ニ限リ直ニ工事ニ著手スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク同條同項ノ規定ニ依ル認可ヲ申請スベシ

前條ニ揭グル電氣工作物ノ復舊工事ニ著手シタルトキハ關係ノ書類圖面ヲ具シ第十二條第一項ノ區別ニ依リ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣又ハ所轄遞信局長ニ屆出ヅベシ

第二十二條　左ノ場合ニ於テハ工事方法ヲ具シ所轄遞信局長ニ認可ヲ申請スベシ此ノ場合ニ於テハ第十八條第一項及第十九條第一項ノ規定ヲ適用セズ

一　電氣工作物ノ滅失若ハ損壞又ハ渴水其ノ他事故ノ場合ニ於テ電力ノ不足ヲ補給スル爲三月內ヲ限リ他ヨリ受電セムトスルトキ
二　前號又ハ自家用電氣工作物施設規則第十七條若ハ第五十三條ノ場合ニ於テ他ヨリ受電セントスル者ニ對シ供給關係ヲ設定セントスルトキ

第二十三條　第十二條第一項、第十八條第一項又ハ第十九條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル工事ニ着手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ當該官廳ニ屆出ヅベシ

第二十四條　第十二條、第十八條乃至第二十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ申請書又ハ屆書ヲ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄遞信局長ニ提出スベシ

前項ノ規定ハ工事施行認可申請期間又ハ工事着手期間ノ伸長許可申請書

ヲ遞信大臣ニ提出スル場合ニ之ヲ準用ス

第二節　電氣工作物使用

第二十五條　第十二條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ヲ使用セントスルトキハ當該官廳ニ認可ヲ申請スベシ

第十八條第一項、第十九條第一項、第二十條、第二十一條第二項第三項又ハ第二十二條ノ規定ニ依リ施設シ又ハ變更シタル電氣工作物ヲ使用セントスルトキ亦前項ニ同ジ但シ當該官廳ニ於テ別段ノ指示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ使用開始前其ノ旨ヲ當該官廳ニ届出ヅベシ

第二十六條　火藥其ノ他爆發性ノ物質ヲ製造シ又ハ貯藏スル場所ニ施設シタル電氣工作物ヲ使用セントスルトキハ其ノ工事方法ヲ具シ所轄遞信局長ニ認可ヲ申請スベシ

第二十七條　前二條ノ規定ニ依ル申請アリタル場合ニ於テ當該電氣工作物檢査ノ爲派遣セラレタル檢査吏員ニ於テ危險ナシト認メタルトキハ直ニ其ノ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

前項ノ假使用認可ノ有效期間ハ六十日トス

第十八條第一項、第十九條第一項、第二十條、第二十一條第二項第三項又ハ第二十二條ノ規定ニ依リ施設スル電氣工作物ニ付テハ當該官廳ハ已ムヲ得ザル事由アリト認メタル場合ニ限リ電氣事業者ノ申請ニ依リ其ノ假使用ヲ認可スルコトアルベシ

第二十八條　第二十五條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クベキ電氣工作物ハ試驗ノ爲必要アル場合ニ限リ其ノ認可前之ヲ使用スルコトヲ得但シ特別高壓電線路ニ關シテハ豫メ所轄遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

第二十九條　第二十五條第一項ノ規定ニ依リ電氣工作物ノ使用認可ヲ受クベキ場合ニ於テハ電氣工作物竣工明細書第四號樣式ニ依リ調製スベシ　ヲ當該電氣工作物檢査ノ爲派遣セラレタル檢査吏員ヲ經テ當該官廳ニ提出スベシ但シ檢査ヲ受ケズシテ使用ヲ認可セラレタルトキハ直ニ當該官廳ニ之ヲ提出スベシ

電氣工作物ノ施設又ハ變更ニ依リ電氣工作物竣工明細書中ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキ亦前項ニ同ジ但シ當該電氣工作物ガ認可ヲ受ケズシテ使用シ得ルモノナルトキハ直ニ當該官廳ニ提出スベシ

第三十條　第十二條、第十八條第一項、第十九條第一項、第二十條又ハ第二十一條第二項第三項ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ニ付第二十五條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク工事費精算書第五號樣式ニ依リ調製スベシ　ヲ當該官廳ニ提出スベシ

第三十一條　第二十五條、第二十七條第三項又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ申請書、届書又ハ電氣工作物竣工明細書ヲ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄遞信局長ニ提出スベシ

第三章　電氣工作物施設ニ關スル權利義務竝ニ裁定

第三十二條　電氣事業法第六條第一項ニ規定シタル市町村長ノ職務ハ市制又ハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ市町村長ニ準ズベキ吏員之ヲ行フ

第三十三條　電氣事業法第六條第一項ノ規定ニ依リ土地立入ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　立入ノ目的

二　電氣事業及電氣工作物ノ種類

三　立入ルベキ土地ノ區域

四　立入ルベキ時期及期間

電氣事業法第六條第一項ノ規定ニ依ル市町村長ニ對スル電氣事業者ノ通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前項各號ノ事項

二　許可ヲ爲シタル行政官廳名及許可ノ年月日

第三十四條　電氣事業法第六條第一項ノ規定ニ依リ市町村長ノ告示スベキ事項ハ左ニ掲グルモノトス

一　電氣事業者名

二　前條第二項各號ノ事項

告示ハ市町村役場ノ掲示場ニ掲示シ又ハ其ノ地ニ於テ發行スル新聞紙ニ掲載シテ之ヲ爲スベシ

電氣事業法第六條第一項ノ規定ニ依ル土地ノ占有者ニ對スル市町村長ノ通知ハ第一項各號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十五條　電氣事業法第七條第二項ノ規定ニ依リ植物ノ伐除又ハ移植ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　電氣事業ノ種類

二　關係電線路ノ種類及電壓

三　障害ノ原因及程度、障害除却ノ方法及其ノ範圍竝ニ其ノ實行ノ時期

四　植物ノ所在地

五　植物ノ所有者ノ氏名及住所

六　損失補償ノ見積金額及內譯

七　所有者ト協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザル事由

前項ノ申請書ニハ植物ノ所在地及附近ノ概況ヲ記載シタル圖面ヲ添附スベシ

電氣事業法第七條第二項ノ規定ニ依ル所有者ニ對スル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　許可ヲ爲シタル行政官廳名及許可ノ年月日

第三十六條　電氣事業法第七條第三項ノ規定ニ依ル植物ノ伐除又ハ移植ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　前條第一項第一號乃至第六號ノ事項

二　危險急迫ノ事實

電氣事業法第七條第三項ノ規定ニ依ル所有者ニ對スル通知ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　前條第一項第一號乃至第四號ノ事項

二　危險急迫ノ事實

第三十七條　電氣事業法第九條第二項ノ規定ニ依リ土地使用ニ關スル許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　電氣事業ノ種類

二　電線路ノ種類、構造ノ大要及電壓

三　使用ノ範圍及土地ノ地目、地番

四　電線路施設ノ爲當該地點ノ選定ヲ必要トスル事由

五　土地所有者及占有者ノ氏名及住所

六　使用ノ期間

七　工事ノ着手時期及期間

八　土地ノ現在ノ使用方法

九　損失補償ノ見積金額及內譯

十　所有者若ハ占有者ト協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザル事由

前項ノ申請書ニハ圖面電線路ノ中心線、支持物ノ位置、家屋其ノ他ノ建造物、圍障、庭園、池沼、田畑、林野等ノ狀況ヲ詳記シ縮尺ヲ添附スベシ

第三十八條　電氣事業法第九條第二項ノ規定ニ依ル土地所有者及占有者ニ對スル通知ハ許可書ノ謄本ヲ添ヘ前條第一項第一號乃至第四號、第六號及第七號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十九條　電氣事業法第六條、第七條又ハ第九條ノ規定ニ依リ土地若ハ建造物ニ立入リ、植物ヲ伐除シ若ハ移植シ又ハ電線路ヲ施設セントスル者ハ其ノ證票及行政官廳ノ許可ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ許可書ノ謄本ヲ携帶スベシ

前項ノ證票及許可書ノ謄本ハ土地若ハ建造物又ハ植物ノ管理者ノ請求アリタルトキハ之ヲ呈示スベシ

電氣事業者ハ第一項ノ證票ノ雛形ヲ豫メ作業地所轄警察官署ニ届出ヅベシ

第四十條　電氣事業法第十條第二項ノ規定ニ依ル裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル正副二通ノ申請書ヲ提出スベシ

一　申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

二　申請ノ目的及理由

前項ノ申請書ヲ受理シタル行政官廳ハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間内ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ行政官廳ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得副本ノ送付ヲ爲スコト能ハザルトキ亦同ジ

第四十一條　電氣事業法第十條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ爲シタル行政官廳ハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者雙方ニ送付スベシ

第四十二條　電氣事業法第十一條第一項ノ規定ニ依リ障害ノ豫防又ハ除却ノ請求ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

一　請求ノ目的

二　變更スベキ土地使用方法　現存電線路ノ工事着手ノ際及現在ニ於ケル使用方法ヲ附記スベシ

三　土地使用方法變更ノ結果受クベキ障害　障害ヲ受クベキ物及其ノ物ト電線路トノ關係竝ニ電氣工作物規程ニ抵觸スル事由

四　土地使用方法變更ノ時期

前項ノ請求書ニハ電線路ノ位置ト使用方法ヲ變更スベキ土地トノ關係ヲ表示シタル圖面ヲ添附スベシ

第四十三條　前條ノ規定ニ依リ障害ノ豫防又ハ除却ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ請求ニ應ズベキトキハ相當期間内ニ其ノ旨ヲ請求者ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テハ電氣事業法第十一條第二項但書ノ規定ニ依リ請求者ノ負擔スベキ費用ノ擔保トシテ工事費見積額ニ相當スル金額ヲ其ノ工事着手前ニ供託スベキコトヲ請求スルコトヲ得

前條ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ其ノ請求ニ應ゼザル理由アリトスルトキハ相當期間内ニ其ノ旨ヲ請求者ニ通知スベシ

第四十四條　電氣事業者電氣事業法第十一條第一項ノ規定ニ依リ請求セラレタル障害ノ豫防又ハ除却工事ニ着手シタルトキ及之ヲ竣成シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ請求者ニ通知スベシ

電氣事業法第十一條第一項ノ規定ニ依リ請求シタル者土地使用方法ノ變更ニ着手シタルトキ及之ヲ終了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ電氣事業者ニ通知スベシ

第四十五條　電氣事業法施行令第三條ノ規定ニ依ル裁定ニ關シテハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

第四十六條　電氣事業法第十二條第二項ノ規定ニ依リ地中電氣工作物ノ位置變更ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一　變更ヲ必要トスル事由

二　現存工作物ノ種類及構造

三　現存工作物ノ所有者名

四　施設セントスル工作物ノ種類及構造

五　第二號及前號ノ工作物ノ施設場所竝ニ相互ノ位置

六　變更方法、變更ヲ爲スベキ者ノ別及所有者ヲシテ變更ヲ爲サシメントスル場合ニ於テハ其ノ事由

七　變更工事ノ着手時期及期間

八　變更工事費及損失補償ノ見積金額及內譯

九　所有者ト協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザル事由

前項ノ申請書ニハ電氣工作物相互ノ位置及其ノ附近ニ於ケル他ノ地中工作物トノ關係ヲ詳記シタル圖面ヲ添附スベシ

第四十七條　電氣事業法第十二條第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケテ他人ニ屬スル地中電氣工作物ノ位置ヲ變更シ又ハ所有者ヲシテ其ノ變更ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ旨ヲ工作物ノ所有者ニ通知スベシ

前項ノ規定ニ依ル通知ハ許可書ノ謄本ヲ添ヘ前條第一項第一號、第二號及第四號乃至第七號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十八條　電氣事業法第十四條第一項ノ規定ニ依ル裝定ニ關シテハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

第四十九條　第四十五條ノ規定ニ依ル申請書ヲ提出スル場合ニ於テハ所轄地方長官ニ、第四十六條又ハ前條ノ規定ニ依ル申請書ヲ提出スル場合ニ於テハ所轄遞信局長ニ同時ニ其ノ副本ヲ提出スベシ

第四章　主任技術者

第五十條　主任技術者ハ左ノ區別ニ依リ電氣事業主任技術者資格檢定規則ニ依ル資格ヲ有スル者ナルコトヲ要ス

電氣事業ノ種類	資格
電氣供給事業及電氣鐵道事業	第一種
三萬五千ヴオルト以下ノ電氣供給事業及電氣鐵道事業	第二種
高壓又ハ低壓ノ電氣供給事業及鋼索式電氣鐵道事業	第三種

第五十一條　主任技術者ハ工事着手前ニ之ヲ選任スベシ

遞信大臣必要アリト認ムルトキハ電氣事業者ニ對シ主任技術者ノ增員ヲ命ズルコトアルベシ

第五十二條　電氣事業者主任技術者ヲ選任シタルトキハ其ノ履歷書ヲ添ヘ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

二人以上ノ主任技術者ヲ選任シタルトキハ其ノ權限ヲ定メ遞信大臣ニ届出ヅベシ其ノ權限ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第五十三條　電氣事業者ハ已ムヲ得ザル事由アルトキハ左ノ場合ニ限リ他ノ電氣事業者ノ主任技術者ヲシテ其ノ事業ノ主任技術者ヲ兼ネシムルコトヲ得

一　主トシテ他ヨリ受電スル電力ニ依リ經營スル百キロワット以下ノ電氣供給事業者又ハ電氣鐵道事業者ガ其ノ主タル電力ヲ供給スル電氣事業者ノ主任技術者ヲシテ兼ネシメントスルトキ

二　三百キロワット以下ノ電氣鐵道事業者ガ之ト直通運轉ヲ爲ス電氣鐵道事業者ノ主任技術者ヲシテ兼ネシメントスルトキ

前項ノ場合ニ於ケル選任ノ届書ニハ當該主任技術者ノ選任ヲ必要トスル事由及其ノ執務ニ關スル說明書竝ニ他ノ電氣事業者ノ承諾書ヲ添附スベシ

第五十四條　電氣事業者ハ主任技術者疾病、旅行其ノ他ノ事由ニ因リ一月以上ニ亙リ其ノ職務ヲ執ルコト能ハザルトキハ其ノ代務者ヲ選任スベシ此ノ場合ニ於テハ第五十二條第一項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ主任技術者其ノ職務ヲ執ルニ至リタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第五十五條　本令又ハ電氣工作物規程ニ依リ行政官廳ニ提出スル書類圖面中技術ニ關スルモノハ主任技術者之ニ署名捺印スベシ但シ第五十一條第一項ノ規定ニ依ル主任技術者選任前ニ在リテハ其ノ設計ヲ擔當シタル技術者之ニ署名捺印スベシ

第五十六條　第五十二條又ハ第五十四條ノ規定ニ依ル届書ヲ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄遞信局長ニ提出スベシ

第五章　業務

第一節　供給業務

第五十七條　電氣事業者電燈又ハ五キロワット以下ノ電力ノ供給ニ關シ已ムヲ得ザル事由ニ依リ需用者ニ對シ工事ニ關スル寄附其ノ他特別ノ負擔ヲ求メントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ所轄遞信局長ノ認可ヲ受クベシ

第五十八條　電燈ノ光度ヲ表示スルニハ燭ヲ以テ單位トス

一燭ハ氣壓七百六十ミリメートルノトキ一立方メートルニ付八リツトルノ水蒸氣ヲ含有スル空氣中ニ於テ燃燒スル「ハーコート」十燭「ペンタン」燈ノ光度ノ十分ノ一トス

電燈ノ光束ヲ表示スルニハルーメンヲ以テ單位トス

一ルーメンハ一燭ノ均等點光源ノ單位立體角内ニ發スル光束トス

第五十九條　電燈供給ニ使用スル白熱電球ハ左ノ各號ニ依ルモノナルコトヲ要ス

一　電球ニハ電壓及大サ又ハ全電力消費量又ハ電壓及公稱光度眞空電球ニ在リテハ公稱平均水平燭光、瓦斯入電球ニ在リテハ平均球面燭光ヲ表示スベシ

二　電球ノ初光度眞空電球ニ在リテハ平均水平燭光、瓦斯入電球ニ在リテハ平均球面燭光又ハ初光束ハ標準光度又ハ標準光束ニ對シ眞空電球ニ在リテハ百分ノ十三、瓦斯入電球ニ在リテハ六十ワット以下ノモノハ百分ノ十八百ワット以上ノモノハ百分ノ十五ヲ超ユル差異ナキコトヲ要ス

標準光度及標準光束ハ別ニ之ヲ告示ス

第六十條　電氣事業者ハ供給點ニ於テ保持スベキ一定電壓ニ百分ノ四ヲ超ユル變動ヲ生ゼシメ又ハ技術上已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外電燈ノ光度ニ不定ヲ生ゼシメザルコトヲ要ス

第六十一條　電氣事業者ハ交流電氣ヲ供給スル場合ニ於テハ技術上已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外其ノ周波數ヲ一定ニ保持スルコトヲ要ス

第六十二條　電氣事業者ハ白熱電球ヲ提供シテ電燈ヲ供給スル場合ニ於テ取附後ノ使用ニ因リ其ノ光度又ハ光束ガ表示電壓ニ於テ標準光度又ハ標

準光束ノ百分ノ八十以下ニ減少シ且需用者ノ請求アルトキハ新ナル電球ト取換ヲ爲スベシ

電氣事業者ハ前項ノ規定ニ依ル取換ヲ爲ス爲適當ノ場所ニ電球ノ取換所ヲ設置スベシ

第六十三條　電氣事業者ハ工事其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ送電ヲ中止スルトキハ急遽ノ場合ヲ除クノ外豫メ其ノ旨ヲ關係需用者ニ周知セシムベシ

第六十四條　電氣事業法第十六條第一項ノ規定ニ依リ供給事業ノ休止ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一　休止ノ事由

二　休止スベキ事業ノ範圍

三　休止ノ時期及期間

電氣事業法第十六條第一項ノ規定ニ依ル供給事業ノ休止ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ關係需用者ニ周知セシムベシ

第六十五條　前條ノ規定ニ依ル申請書ヲ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄地方長官及遞信局長ニ提出スベシ

第二節　保安業務

第六十六條　電路ハ之ヲ檢査シ安全ト認ムルニ非ザレバ之ニ送電スルコトヲ得ズ

第六十七條　發電所、受電地點及變電所ニハ相當ノ技術者ヲ置キ送電中之ヲ監視セシムベシ但シ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六十八條　電氣事業者ハ保線係員ヲシテ電線路ヲ巡視セシムベシ特別高壓電線路ニ在リテハ毎週少クトモ一回巡視セシムルコトヲ要ス

第六十九條　電氣事業者ハ電氣工作物ノ修理又ハ巡視ヲ爲サシムル爲適當ノ場所ニ營宿所ヲ設置シ常時技術員ヲ駐在セシムベシ

第七十條　電氣事業者ハ出火、暴風其ノ他非常ノ場合ニ際シ危險アリト認ムルトキハ直ニ當該範圍ニ對スル送電ヲ遮斷スベシ

第七十一條　電氣事業者ハ送電中ノ電線路ノ近傍ニ出火アルトキハ直ニ現場ニ技術員ヲ派遣シ危險豫防ノ措置ヲ爲サシメ其ノ旨ヲ出張ノ警察官ニ届出デシムベシ技術員ハ警察官ノ許可ヲ受クルニ非ザレハ退場スルコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テハ晝間ハ標旗夜間ハ標燈ヲ携帶セシムベシ

前項ノ標旗及標燈ノ樣式ハ別ニ之ヲ告示ス

第七十二條　電氣工作物ノ故障及其ノ運轉使用ニ關スル事故ヲ生ジタル場合ニ於テ左ニ揭グルモノニ付テハ直ニ電信、電話其ノ他ノ方法ニ依リ遞信大臣、所轄遞信局長及所轄警察官署ニ届出ヅベシ

一　電氣工作物ノ損壞又ハ漏電其ノ他ノ電氣事故ニ因ル人畜ノ死傷又ハ火災其ノ他ノ災害

二　發電所、變電所、電線路等ノ故障ニ因ル六時間以上ニ亙ル電氣供給ノ停止

三　前各號ノ外重大ナル事故

前項各號ニ揭グルモノ其ノ他電氣工作物ノ故障及其ノ運轉使用ニ關スル事故ニ關シテハ第六號樣式ニ依リ一月分ヲ取纏メ翌月十日限リ遞信大臣及所轄遞信局長ニ届出ヅベシ

第三節　電氣料金其ノ他供給條件

第七十三條　電氣事業者供給區域内ニ於ケル電氣料金其ノ他供給條件ヲ設

定セントスルトキハ電氣供給規程ヲ定メ適用區域ヲ記載シタル書面ヲ具シ少クトモ實施期日三月前ニ遞信大臣ニ認可ヲ申請スベシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類圖面ヲ添附スベシ

一　電氣料金及附帶料金算出說明書

二　實施後五年間ニ於ケル收支豫算書第七號樣式ニ準ジ適用區域及全事業ニ付調製スベシ

三　適用區域平面圖第二條第三號ニ準ズ

第七十四條　電氣供給規程ハ電燈、電力、電熱等ノ各部ニ分チ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　供給方法ノ種別

二　供給時間

三　電氣料金

四　器具、機械ノ負擔

五　工費ノ負擔

六　取附ノ箇數、容量、場所等ニ關シ制限ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ事項

七　其ノ他供給上ノ條件

第七十五條　電氣供給規程設定認可ノ有效期間ハ其ノ實施ノ日ヨリ五年トス

前項ノ期間ハ電氣事業者ノ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第七十六條　電氣供給規程中第七十四條第一號乃至第六號ノ事項又ハ其ノ適用區域ヲ變更セントスルトキハ左ノ書類ヲ具シ少クトモ實施期日三月前ニ遞信大臣ニ認可ヲ申請スベシ

一　變更事項ヲ記載シタル書面

二　變更理由書

前項ノ申請書ニハ左ノ書類圖面ヲ添附スベシ

一　電氣料金及附帶料金算出說明書

二　實施後五年間ニ於ケル收支豫算書第七號樣式ニ準ジ適用區域及全事業ニ付調製スベシ

三　實施期日書

四　適用區域ノ變更ノ場合ニ於テハ平面圖第七十三條第二項第三號ニ準ズ

電氣供給規程適用區域ノ變更ガ供給區域ノ擴張ニ伴フ場合ニ於テハ第八條ノ供給區域變更許可ノ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シテ許可ヲ受ケタルトキハ前二項ノ規定ヲ適用セズ

遞信大臣ハ電氣供給規程ノ著シキ變更ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ認可ニ新ニ前條第一項ノ期間ヲ附スルコトアルベシ

第七十七條　電氣供給規程中第七十四條第七號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ實施期日ヲ定メ二月前ニ變更理由ヲ具シ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

前條第二項第三號ノ實施期日ヲ變更セントスルトキハ理由ヲ具シ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第七十八條　第七十五條ノ期間滿了ニ因リ電氣供給規程ヲ設定セントスルトキハ少クトモ滿了ノ日ヨリ六月前ニ第七十三條ノ規定ニ依ル申請ヲ爲スベシ

第七十五條第二項ノ規定ニ依リ有效期間更新ノ認可ヲ受ケントスルトキハ少クトモ滿了ノ日ヨリ六月前ニ其ノ理由ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

前二項ノ規定ニ依ル申請書ニハ現行電氣供給規程實施後ニ於ケル收支實

績書第七號樣式ニ依リ調製スベシ　ヲ添附スベシ

第七十九條　電氣事業者電氣供給規程ニ依ラザル電氣料金ヲ設定セントスルトキハ遞信大臣ニ認可ヲ申請スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一　特別ノ事由ニ因リ供給區域內ニ於テ電氣供給規程ト異リタル電氣料金ヲ設定セントスルモノナルトキハ其ノ理由ヲ記載シタル書面

二　電氣料金其ノ他供給條件ヲ記載シタル契約書ノ謄本

三　電氣料金算出說明書

第八十條　電氣事業者他ノ電氣事業者ニ電氣ヲ供給スル場合ニ於テ電氣料金其ノ他供給條件ヲ設定セントスルトキハ遞信大臣ニ認可ヲ申請スベシ

前項ノ申請書ニハ前條第二項第二號及第三號ノ書類ヲ添附スベシ

第一項ノ認可ニ關シテハ第七十五條ノ規定ヲ準用ス但シ第一項ノ供給關係ガ特別ノ事由ニ因リ一定期間ヲ限ルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十一條　前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル電氣料金ヲ變更セントスルトキハ前條第一項及第二項ノ規定ニ準ジ遞信大臣ニ認可ヲ申請スベシ前條第三項ノ有效期間更新ノ申請ニ付亦同ジ

前條第三項ノ有效期間滿了ニ因リ電氣料金其ノ他供給條件ヲ設定セントスル場合ニ於テ當事者間ニ協議調ハザルトキハ遞信大臣ニ其ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁定ニ關シテハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

第八十二條　第八十條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル供給條件ヲ變更セントスルトキハ其ノ契約書ノ謄本ヲ添ヘ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第七十九條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル電氣料金ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第八十三條　本節ノ規定ニ依ル申請書又ハ届書ヲ提出スル場合ニ於テ第七十三條又ハ第七十六條乃至第七十八條ノ規定ニ依ルモノニ付テハ所轄地方長官及遞信局長ニ、第七十九條乃至前條ノ規定ニ依ルモノニ付テハ所轄遞信局長ニ同時ニ其ノ副本ヲ提出スベシ

第四節　諸般ノ業務

第八十四條　電氣事業法第十八條ノ規定ニ依リ資本增加ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一　資本增加ヲ必要トスル事由

二　增加スベキ資本ノ總額及第一回拂込ノ金額

三　資本增加ノ方法

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一　事業擴張ニ關スル說明書

二　資本增加ニ關スル株主總會ノ決議錄ノ謄本

三　會社ノ資本及拂込ミタル株金總額ノ登記抄本

四　最終ノ貸借對照表

第八十五條　電氣事業法第十九條ノ規定ニ依リ社債募集ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一　社債募集ヲ必要トスル事由

二　社債ノ總額及各社債ノ金額

三　社債ノ利率、償還期限其ノ他發行ノ條件

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一　社債ニ依リ施設セントスル電氣工作物ノ說明書

二　前號ノ施設ニ伴フ事業上ノ收支計算書第二號樣式ニ準及工費計算書第三號樣式ニ準ジ調製スベシ

三　社債募集ニ關スル株主總會ノ決議錄ノ謄本

四　會社ノ資本及拂込ミタル株金總額ノ登記抄本

五　最終ノ貸借對照表

六　前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額ノ登記抄本

七　信託證書案日本語ニ依ラザルモノニ在リテハ譯文ヲ添附スベシ

八　工場抵當法ニ依リ抵當ト爲スベキ物件ノ目錄

九　前號ノ擔保物件ノ帳簿價格ヲ最終ノ財產目錄ノ科目別ニ表示シタル書面

第八十六條　第一項ノ場合ニ於テ電氣事業法第十九條第三項但書ノ規定ニ依リ擔保ヲ供セズシテ募集セントスルモノナルトキハ申請書ニ第一項各號ノ事項ノ外擔保ヲ有セザル特別ノ事由ヲ詳記シ第二項第一號乃至第六號ノ書類及社債募集ノ方法ニ關スル說明書ヲ添附スベシ

第八十七條　電氣事業法第十九條ノ規定ニ依ル社債ヲ發行シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ヅベシ

前項ノ場合ヲ除クノ外電氣事業者公債若ハ社債ヲ發行シ又ハ長期借入金ヲ爲シタルトキハ其ノ事由、總額及利率、償還期限其ノ他發行又ハ借入ノ條件ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ヅベシ此ノ場合ニ於テ工場抵當法ニ依リ事業ニ屬スルモノヲ以テ工場財團ヲ設定シタルトキハ其ノ財團目錄ヲ添附スベシ

第八十八條　電氣事業者第八十六條ノ規定ニ依リ屆出ヲ爲シタル後公債、社債又ハ借入金ヲ償還シタルトキハ其ノ都度其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ヅベシ

第八十九條　電氣事業法第二十一條ノ規定ニ依リ他事業兼營ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事業計畫竝ニ其ノ事業ニ要スル資金ノ總額及出資ノ方法ヲ記載シタル申請書ニ其ノ收支概算書ヲ添ヘ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

電氣供給事業ト同時ニ電氣鐵道事業ヲ營ム會社ハ電氣鐵道事業ノ附帶事業ニ限リ電氣事業法第二十一條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケズシテ之ヲ營ムコトヲ得此ノ場合ニ於テハ關係ノ書類ヲ具シ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ヅベシ

第九十條　電氣事業者ハ每事業年度經過後二月內ニ別ニ告示スル所ニ依リ電氣事業報告書ヲ調製シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第九十一條　電氣事業者ハ營業報告書、貸借對照表、損益計算書及利益處分書ヲ前條ノ事業報告書ト同時ニ遞信大臣ニ提出スベシ

前項ノ規定ニ依リ提出スル書類ハ公共團體タル電氣事業者ニ在リテハ事業年度經過後四月內ニ之ヲ提出スルコトヲ得前條ノ事業報告書中會計ニ關スルモノニ付亦同ジ

第九十二條　左ノ場合ニ於テハ電氣事業者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ屆出ヅベシ

一　會社成立シタルトキ　會社登記簿ノ謄本及定款ヲ添附スベシ

二　會社ノ取締役會社ヲ代表スベキ者ヲ明示スベシ　若ハ監査役ヲ選任シ若ハ解任シタルトキ又ハ代表社員ヲ定メ若ハ變更シタルトキ

三　會社ノ定款又ハ組合契約ヲ變更シタルトキ

四　商號、名稱若ハ主タル事務所ヲ變更シ又ハ主タル事務所以外ノ事務所若ハ營業所ヲ設置シ若ハ變更シタルトキ　使途ノ大要ニ關スル說明書ヲ添附スベシ

五　株金ノ拂込アリタルトキ

六　電氣事業ヲ開始シタルトキ又ハ電氣鐵道事業ヲ休止シ若ハ廢止シタルトキ

七　第八十九條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ屆出ヲ爲シタル他事業ノ營ヲ廢止シタルトキ

第九十三條　本節ノ規定ニ依ル申請書、屆書又ハ事業報告書其ノ他ノ書類ヲ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄遞信局長ニ提出スベシ第八十九條乃至前條第五號ノ規定ニ依ル場合ニ於テハ所轄地方長官ニモ之ヲ提出スベシ

第六章　檢查

第九十四條　第二十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ電氣工作物使用認可ノ申請アリタル場合ニ於テハ當該官廳ハ檢查吏員ヲ派遣シ其ノ電氣工作物ヲ檢查セシム但シ特ニ其ノ必要ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九十五條　遞信大臣ハ左ノ場合ニ於テハ檢查吏員ヲ派遣シ電氣工作物ヲ臨時檢查セシム

一　天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ電氣工作物ニ障害アリト認ムルトキ

二　電氣工作物ガ他ノ工作物ニ障害ヲ及ボシタリト認ムルトキ

三　電氣工作物ノ變更ニ因ラズシテ工事設計書又ハ工事設計明細書中ノ事業變更ニ關スル許可又ハ認可ノ申請アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第九十六條　遞信大臣又ハ遞信局長ハ必要アリト認ムルトキハ電氣事業者ヲシテ現ニ使用シ又ハ使用セントスル器具、機械其ノ他物品ノ見本ヲ差出サシメ其ノ試驗ヲ爲スコトアルベシ

見本ノ運搬ニ要スル費用及試驗ニ因テ生ズル損害ハ電氣事業者ノ負擔トス

第九十七條　遞信大臣ハ左ノ場合ニ於テハ電氣工作物ノ撤去若ハ使用ノ停止又ハ工事ノ中止ヲ命ズルコトアルベシ

一　電氣工作物又ハ其ノ工事ガ他ニ障害ヲ及ボシ又ハ危險ナリト認ムルトキ

二　電氣工作物ヲ施設シタル後久シキニ亙リ其ノ使用ヲ爲サザルトキ

第九十八條　地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ハ危險急迫ノ場合ニ於テハ電氣事業者ニ對シ電氣工作物及其ノ工事ニ關シ保安上必要ナル措置ヲ命ズルコトアルベシ

第七章　事業設備統制

第九十九條　電氣事業者電氣設備ノ效用ヲ增進スル爲他ノ電氣事業者ト共用スル目的ヲ以テ電氣工作物ノ施設又ハ變更ヲ爲サントスルトキハ其ノ計畫ノ概要、關係電氣事業者名、共用ノ範圍及共用電氣工作物ノ管理方法竝ニ關係電氣事業者ト爲シタル協議ノ顚末ヲ具シ共用ニ付遞信大臣ニ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ協議調ヒタルトキハ同時ニ第八條第一項ノ事項變更ノ

許可ヲ申請スベシ

第百條 電氣事業法第二十四條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタルトキハ指定ノ期間内ニ實施計畫書ヲ提出シ受命事項ヲ實施スベシ

遞信大臣ハ已ムヲ得ザル事由アリト認ムル場合ニ限リ受命者ノ申請ニ依リ前項ノ期間ノ伸長ヲ認可スルコトアルベシ

第百一條 前條ノ實施計畫書ニハ受命者連署ノ上左ノ書類圖面ヲ具シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 起業目論見書又ハ工事設計書中ノ事項ニ變更ヲ生ズルモノナルトキハ關係ノ書類圖面

二 電氣流用ノ場合ニ於テハ電氣料金其ノ他供給條件ヲ記載シタル書面

三 工事費用ノ負擔其ノ他ノ事項ノ協議ニ關スル書面

受命事項實施ノ工事施行ニ關シテハ第十二條ノ規定ニ依ル

第百二條 前條ノ規定ニ依リ實施計畫書ヲ提出シタル後前條第一項第三號ノ書面ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第百三條 電氣事業法第二十四條第二項ノ規定ニ依ル裁定ニ關シテハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ裁定ノ申請書ハ第百條ノ規定ニ依ル實施計畫書提出期間内ニ之ヲ提出スベシ

第百四條 電氣事業者ハ發電及送電豫定計畫ニ必要ナル資料別ニ告示スルスベヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第百五條 第九十九條乃至第百三條ノ規定ニ依ル申請書、實施計畫書又ハ届書ヲ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄遞信局長ニ提出スベシ第百一條第一項第一號ノ書類圖面ニ關シテハ其ノ副本ヲ所轄地方長官ニモ提出スベシ

第八章 事業ノ移轉及廢止

第百六條 電氣事業法第二十五條第一項ノ規定ニ依リ事業讓渡ノ認可ヲ受ケントスルトキハ讓渡ノ事由、讓渡スベキ事業ノ範圍及價格ヲ記載シタル申請書ニ當事者連署ノ上左ノ書類圖面ヲ添ヘ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 讓渡契約書ノ謄本

二 讓渡人又ハ讓受人ガ會社ナルトキハ讓渡ニ關スル株主總會ノ決議錄若ハ總社員ノ同意書ノ謄本又ハ之ニ代リ得ベキ書面、組合ナルトキハ讓渡ニ關スル總組合員ノ同意書ノ謄本、公共團體ナルトキハ讓渡ニ關スル議會ノ決議要領書

三 讓受人ガ會社發起人ナルトキハ定款、電氣事業者ニ非ザル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本竝ニ財產目錄、貸借對照表及損益計算書、電氣事業者ニ非ザル組合ナルトキハ組合契約書ノ謄本竝ニ財產目錄、貸借對照表及損益計算書

四 讓渡價格算出說明書

五 讓受ニ要スル資金出資ノ方法ヲ記載シタル書面

六 讓受後ニ於ケル事業上ノ收支概算書第二號樣式ニ準ジ調製スベシ

七 一部讓渡ノ場合ニ於テハ前各號ノ外讓渡スベキ事業ニ關スル起業目論見書及工事設計書第二條乃至第六條ノ規定ニ準ズル書類圖面トシ配電線路、饋電線路及需用者ノ端子電壓ノ分屬關係竝ニ讓渡人及讓受人ノ間ニ第八條第一項第三號又ハ第六號ノ事項ノ變更ヲ生ズベキトキハ其ノ關係ヲモ明示スベシ

第百七條 電氣事業法第二十五條第二項ノ規定ニ依リ事業ヲ承繼シタルトキハ競落許可決定ノ謄本ヲ添ヘ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

前項ノ場合ニ於テ競落シタル工場財團ガ電氣事業ニ屬スルモノノ一部ヲ以テ設定シタルモノナルトキハ前條第七號ニ準ジ記載シタル書類圖面ヲ添附スベシ

第百八條 電氣事業法第二十六條ノ規定ニ依リ合併ノ認可ヲ受ケントスルトキハ合併ノ事由、合併ノ方法及條件ヲ記載シタル申請書ニ當事者連署ノ上左ノ書類ヲ添ヘ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 合併契約書ノ謄本

二 合併ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本

三 合併ノ相手方ガ電氣事業者ニ非ザル會社ナルトキハ定款及會社登記簿ノ謄本竝ニ財產目錄、貸借對照表及損益計算書

四 合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リ設立スル會社ノ定款

五 合併條件決定ノ基礎ニ關スル說明書

六 合併後ニ於ケル事業上ノ收支概算書第二號樣式ニ準ジ調製スベシ

第百九條 電氣事業ノ讓渡又ハ電氣事業會社ノ合併終了シタルトキハ當事者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ合併ノ届出ニハ合併ニ關スル登記ノ謄本ヲ添附スベシ

第百十條 電氣事業法第二十九條第二項ノ規定ニ依リ買收ノ許可ヲ受ケントスルトキハ買收ノ事由及買收スベキ事業ノ範圍ヲ記載シタル申請書ニ左ノ書類圖面ヲ添ヘ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 買收ニ關スル議會ノ決議要領書

二 買收價格算出說明書

三 買收代金支拂ニ關スル說明書

第二編 電氣 瓦斯　第一章 電氣　電氣事業法施行規則

四 買收後ニ於ケル事業上ノ收支概算書第二號樣式ニ準ジ調製スベシ

五 買收ニ關シ電氣事業者ト爲シタル交涉ノ顚末書

六 事業ノ一部ヲ買收セントスル場合ニ於テハ第百六條第七號ニ準ジ記載シタル書類圖面

第百十一條 電氣事業法第二十六條ノ規定ニ依ル裁定ニ關シテハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

第百十二條 電氣事業法第十六條第二項ノ規定ニ依リ供給事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一 廢止ノ事由

二 廢止スベキ事業ノ範圍

三 廢止ノ時期

前項ノ申請書ニハ第百六條第二號ニ準ズル書類ヲ添附スベシ

電氣事業法第十六條第一項ノ規定ニ依リ供給事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケタル場合ニ關シテハ第六十四條第二項ノ規定ヲ準用ス

第百十三條 電氣事業法第十六條第二項ノ規定ニ依リ解散ノ決議又ハ總社員ノ同意ノ認可ヲ受ケントスルトキハ解散ノ事由ヲ記載シタル申請書ニ解散ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第百十四條 本章ノ規定ニ依ル申請書又ハ届書ヲ提出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄地方長官及遞信局長ニ提出スベシ

第九章 國ニ於テ營ム電氣事業

第百十五條 電氣供給事業經營ノ爲電氣事業法第三十一條第一項ノ規定ニ依リ協議ヲ爲サントスルトキハ當該官廳ハ左ノ書類圖面ヲ遞信大臣ニ提

出スルコトヲ要ス

一　設計書第二條第二號乃至第四號又ハ第四條第二號、第五條第一項、第十四條第一項第三號及第二項第一號竝ニ第十五條ノ事項ヲ記載シ第一條第五號ニ準ズル書類、第六號及第八號ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

二　圖面第二條第三號及第四號又ハ第四條第二號、第五條第二項、第十五條第二項及第十七條（第一項第六號ヲ除ク）ノ圖面ニ準ジ調製スルコトヲ要ス

第百十六條　電氣鐵道事業經營ノ爲電氣事業法第三十一條第一項ノ規定ニ依リ協議ヲ爲サントスルトキハ當該官廳ハ左ノ書類圖面ヲ遞信大臣ニ提出スルコトヲ要ス

一　設計書第三條第二號及第三號、第六條第一項、第十四條第一項第三號及第二項第一號竝ニ第十六條ノ事項ヲ記載シ第一條第五號ニ準ズル書類及第六號ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

二　圖面第三條第三號、第六條第二項、第十六條第二項及第十七條ノ圖面ニ準ジ調製スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ鐵道構內ニ施設スル直流低壓ノ電氣工作物ニシテ金屬製地中管路トノ距離一キロメートル磁力觀測所トノ距離六キロメートルヲ超ユルモノニ關シテハ設計書中第十四條第一項第三號、第二項第一號及第十六條ノ事項竝ニ第十六條第二項及第十七條ニ準ジ調製スル圖面ヲ省略スルコトヲ得

第百十七條　第八條第一項ノ事項ヲ變更スル爲電氣事業法第三十一條第一項ノ規定ニ依リ協議ヲ爲サントスルトキハ當該官廳ハ關係ノ書類圖面ヲ遞信大臣ニ提出スルコトヲ要ズ

前項ニ掲グル事項ヲ除クノ外前二條ノ設計書中主要ナル事項ヲ變更セントスルトキハ當該官廳ハ關係ノ書類圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ通知スルコトヲ要ス

第百十八條　前三條ノ規定ニ依リ協議ヲ遂ゲ又ハ通知ヲ爲シテ施行シタル工事落成シタルトキハ當該官廳ハ電氣工作物使用開始前其ノ旨ヲ遞信大臣ニ通知スルコトヲ要ス

第百十九條　國ニ於テ營ム電氣事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ通知スルコトヲ要ス

第百二十條　第三十二條乃至第四十八條、第九十九條、第百條、第百一條第一項、第百二條乃至第百四條及第百二十一條竝ニ明治四十四年九月遞信省令第二十九號ノ規定ハ國ニ於テ營ム電氣事業ニ關シ之ヲ準用ズ但シ第百一條第一項ノ規定ニ依リ具備スベキ同條同項第一號ノ書類圖面ハ第百十七條第一項ノ書類圖面トス

第十章　雜則

第百二十一條　特別高壓電線路ノ電線若ハ支持物ヲ損壞シ、之ニ物品ヲ懸ケ若ハ擲チ又ハ其ノ電線路ニ接近シテ濫ニ建造物ヲ建設スル等電氣的危險ヲ生ズベキ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第百二十二條　電氣事業者ハ第八號樣式ニ依リ毎年十二月末日現在ニ於ケル從業者ノ職務別及兵役關係別數報告書ヲ調製シ翌年二月末日迄ニ所轄遞信局長ヲ經由シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第百二十三條　發電ノ原動力トシテ水力ヲ使用スル電氣事業者ニシテ特ニ遞信大臣ノ指定シタルモノハ河川流量其ノ他ノ事項ニ關スル報告書ヲ調製シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第十一章　罰則

第百二十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　本令ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタル者

二　第百二十一條ノ規定ニ違反シタル者

第百二十五條　本令ノ規定ニ依ル屆出又ハ通知ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第百二十六條　第三十九條第一項ノ規定ニ違反シ證票及許可書ノ謄本ヲ携帶セズ又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シ管理者ヨリ請求ヲ受ケタルニ拘ラズ之ヲ呈示セザル者ハ科料ニ處ス

附則

第百二十七條　本令ハ昭和七年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百二十八條　左ノ遞信省令ハ之ヲ廢止ス

一　明治四十年十二月遞信省令第五十五號特別高壓電線路取締規則

二　明治四十四年九月遞信省令第三十二號電氣事業法施行規則第六十五條ニ依ル電氣事故屆出規程

三　明治四十四年十月遞信省令第三十六號官廳施設電氣事業規則

四　大正四年二月遞信省令第十三號電氣事業法施行規則第五十五條ニ依ル電氣供給規程屆出規則

第百二十九條　本令ニ依リ新ニ認可ヲ受クベキモノト爲リタル事項ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第百三十條　本令施行前ニ於テ爲シタル許可又ハ認可ノ申請其ノ他ノ手續ニシテ本令中之ニ相當シ又ハ之ニ代ルベキ規定アルモノハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ本令ノ規定ニ依リ必要ナル書類圖面ハ更ニ之ヲ補充セシムルコトアルベシ

（合 七）

（第一號樣式）

工事費概算書

項目		單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
			円		円	円	
水力發電所工事費（發電所每ニ記載スルコト）		一キロワット					
	用地						
	建物						
	水路						
	調整池又ハ貯水池						
	機械器具						
	雜設備						
	其ノ他						
汽力發電所工事費（發電所每ニ記載スルコト）		一キロワット					
	用地						
	建物						
	蒸汽發生設備						

（七 中）

	電氣發生設備						
	冷却及水道設備						
	雜設備						
	其ノ他						
內燃力發電所工事費（發電所每ニ記載スルコト）		一キロワット					
	用地						
	建物						
	機械器具						
	雜設備						
	其ノ他						
送電線路工事費（送電線路每ニ記載スルコト）		一キロメートル					
	用地						
	建物						
	架空電線路						
	地中電線路						
	開閉所						
	獨立電話線路						

項目		単位	単価	数量	金額 計	金額 合計	備考
			円		円	円	
	其ノ他						
變電所工事費（變電所毎ニ記載スルコト）		一キロヴオルトアムペア					
	用地						
	建物						
	機械器具						
	其ノ他						
配電線路工事費		一キロメートル					
	架空配電線路						
	地中配電線路						
	特約供給配電線路						
需用者屋内工事費							
	電燈用配線	一燈					
	電力用配線	一キロワット					
	電熱用配線	〃					
	器具						

（中略）

電氣鐵道工事費		一キロメートル					發電所工事費、送電線路工事費、變電所工事費（直流變電所工事費ヲ除ク）ヲ含マズ
何々							
合計							

年　月　日　　主任（擔當）技術者

氏名　㊞

注意

1　本表ノ項目ハ電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ記載スベシ

2　本表ハ電氣供給事業ト電氣鐵道事業ト各別ニ之ヲ調製スベシ

3　一發電所ニ隷屬セザル貯水池工事費アルトキハ水力發電所工事費ニ準ジ記載スベシ

4　獨立セル受電所工事費アルトキハ變電所工事費ニ準ジ記載スベシ

（第二號樣式）

事業上ノ收支概算書

利益ノ部

項目		單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
			円		円	円	
電燈料							
	定額	一月 一燈					
	從量	一キロ ワット時					（從量燈一燈一月平均使用キロワット時ヲ附記スルコト）
	其ノ他						
	計器損料	一月 一箇					
	器具損料	一月 一燈					
電力料							
	定額	一月 一キロワット					
	從量	一キロ ワット時					（從量電力一キロワット一月平均使用キロワット時ヲ附記スルコト）
	特約	一キロ ワット時					
	其ノ他						
	計器損料	一月 一箇					
	器具損料	一月 一キロワット					
電熱其ノ他ノ供給料金							
	電熱						
	何々						
	計器損料	一月 一箇					
	器具損料						
供給雜益							
	諸工料						
	器具賣上益						
	其ノ他						
電氣鐵道收益							
其ノ他							
合計							

損失ノ部

項目		單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
			円		円	円	
水力發電所費 (發電所毎ニ記載スルコト)		一キロワツト					
	給料手當	人					
	油脂類費						(水力發電所工事費トノ割合ヲ附記スルコト)
	修繕費						
	特別費						
	諸費						
汽力發電所費 (發電所毎ニ記載スルコト)		一キロワツト					
	給料手當	人					
	燃料費	キログラム					
	油脂類費及用水料						(汽力發電所工事費トノ割合ヲ附記スルコト)
	修繕費						
	特別費						
	諸費						
內燃力發電所費 (發電所毎ニ記載スルコト)		一キロワツト					
	給料手當	人					
	燃料費	キログラム					
	油脂類費						
	修繕費						(內燃力發電所工事費トノ割合ヲ附記スルコト)
	特別費						
	諸費						
購入電力料 (受電地點毎ニ記載スルコト)		一キロワツト 又ハ 一キロワツト時					
送電線路費 (送電線路毎ニ記載スルコト)		一キロメートル					
	給料手當	人					
	修繕費						(送電線路工事費トノ割合ヲ附記スルコト)
	特別費						
	諸費						
	何々						
變電所費 (變電所毎ニ記載スルコト)		一キロヴオルトアムペア					
	給料手當	人					

項目		單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
			円		円	円	
配電費	油脂類費						
	修繕費						(變電所工事費トノ割合ヲ附記スルコト)
	特別費						
	諸費						
		一メートル					
	給料手當	人					
	修繕費						(配電線路工事費トノ割合ヲ附記スルコト)
	特別費						
	諸費						
	何々						
需用者屋內費							(取附電燈數及取附電力キロワット數ヲ附記スルコト)
	給料手當	人					
	電球取換費	箇					
	修繕費						(需用者屋內工事費トノ割合ヲ附記スルコト)
	諸費						
業務費							
	給料手當	人					

(中略)

減價償却	需用開拓費						
	集金費						
	修繕費						
	諸費						
	發電設備						
	送電設備						
	變電設備						
	配電設備						
	需用者屋內設備						
	何々						
電氣鐵道費		一メートルキロ					
總係費							發電所費、購入電力料、送電線路費、變電所費(直流變電所ヲ除ク)ヲ含マズ
	役員費	人					
	給料手當	人					
	修繕費						
	保健費						
	諸費						
支拂利息							
	社債利息						

項目		單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
社債差金及發行費銷却	借入金利息		円		円	円	
	其ノ他						
其ノ他							
合計							
差引							

注意

1 本表ノ項目ハ電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ記載スベシ

2 本表ハ電氣供給事業ト電氣鐵道事業ト各別ニ之ヲ調製シ電氣鐵道事業ノ電力費ハ電氣供給事業ヨリ購入スルモノトシテ記載スベシ

3 一發電所ニ隷屬セザル貯水池アルトキ其ノ費用ハ水力發電所費ニ準ジ記載スベシ

4 獨立セル受電所アルトキ其ノ費用ハ變電所費ニ準ジ記載スベシ

5 電氣供給事業ニ在リテハ供給區域内各市町村別ノ需用見込高（電燈燈數、電力キロワット數等ノ需用見込高、戸數及人口ヲ掲ゲ且特殊ノ地況アルモノニ付テハ之ヲ詳記シ需用見込高算出ノ根據ヲ説明スベシ）ヲ附記スベシ

6 電氣料金ノ概要ヲ附記説明スベシ

（第三號樣式）

工事費豫算書

項目			單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
水力發電所工事費（發電所毎ニ記載スルコト）			一キロワット	円		円	円	円	
	用地		平方メートル						
	建物								
	水路								
		堰堤							
		可動堰							
		取水口							
		開渠	メートル						
		蓋渠	〃						
		隧道	〃						
		水路橋	〃						
		水路管	〃						
		樋	〃						
		沈砂池							

項	目		單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
				円		円	円	円	
		水槽							
		餘水路	メートル						
		水壓管路	〃						
		放水路	〃						
		土捨場							
		雜工事							
		雜係							
	調整池又ハ貯水池								
	(各別ニ記載スルコト)								
		堰堤							
		可動堰							
		魚道							
		流木路							
		舟筏路							
		側面及底面工事							
		雜工事							
		雜係							

機械器具									
	水車	箇							
	發電機	〃							
	主要變壓器	〃							
	配電盤及開閉裝置								
	諸機械器具								
	基礎								
	運搬費								
	据附費								
	雜係								
雜設備									
	通信及電燈電力設備								
	運材設備								
	何々								
備品									
總係費									
	測量費								
	監督費								
	補償費								

項		目	單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
				円		円	円	円	
		假設備費							
		雜係							
	何々								
汽力發電所工事費（發電所毎ニ記載スルコト）			一キロワット						
	用地		平方メートル						
	建物								
	蒸汽發生設備								
		汽罐	箇						
		給炭機							
		微粉炭燃燒裝置							
		節炭器	箇						
		空氣豫熱器	〃						
		溫水及淨水裝置							
		汽罐給水「ポンプ」	箇						
		汽管及水管							
		通風裝置							

		煙突及煙道	基						
		運炭及灰捨裝置							
		諸機械器具							
		基礎							
		運搬費							
		据附費							
		雜係							
	電氣發生設備								
		汽機	箇						
		發電機	〃						
		復水器	〃						
		所內用汽機發電機及復水器							
		主要變壓器	箇						
		配電盤及開閉裝置							
		諸機械器具							
		基礎							
		運搬費							
		据附費							
		雜係							

項目			單位	數量	單價	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
					円	円	円	円	
	冷却及水道設備								
		冷却用水設備							
		貯水池							
		水道							
		雜係							
	雜設備								
		運搬設備							
		裝置試驗及修繕							
		何々							
	備品								
	總係費								
		測量費							
		監督費							
		假設備費							
		雜係							
內燃力發電所工事費			ロット キロワット						
(發電所毎ニ記載スルコト)									

項目			單位	數量	單價	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
	地用		平方メートル						
	建物								
	機械器具								
		瓦斯發生器	箇						
		瓦斯溜又ハ貯油槽	〃						
		內燃機	〃						
		發電機	〃						
		主要變壓器	〃						
		配電盤及開閉裝置							
		冷却用水設備							
		諸機械器具							
		基礎							
		運搬費							
		据附費							
		雜係							
	雜設備								
	備品								
	總係費								
送電線路工事費			一キロメートル						
送電線路毎ニ何……何間									
(送電線路毎ニ何記載スルコト)									

項	目		單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
	用地		平方メートル	円		円	円	円	
	建物								
	架空電線路		一キロメートル						
		鐵塔	基						(材料費及工費ヲ附記スルコト)
		鐵柱	本						(同上)
		鐵筋「コンクリート」柱	〃						(同上)
		木柱	〃						(同上)
		碍子	箇						
		電線	キログラム						
		地線	〃						
		保安及開閉裝置							
		添架電話線							
		架線費							
		補償費							
		雜係							
	地中電線路		一キロメートル						
		管路	メートル						(材料費及工費ヲ附記スルコト)
		電纜	メートル						(材料費及布設費ヲ附記スルコト)
		電話電纜	〃						
		雜係							
	開閉所 (各別ニ記載スルコト)								
		屋外鐵構							
		開閉裝置							
		諸機械器具							
		雜係							
	獨立電話線路		一キロメートル						
		支持物							(材料費及工費ヲ附記スルコト)
		電線							(材料費及架線費ヲ附記スルコト)
		電纜							
		雜係							
	備品費								
	總係費								
		測量費							
		監督費							
		何々							

項		目	單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
				円		円	円	円	
變電所工事費（變電所毎ニ記載スルコト）		雜係							
	用地		一キロヴオルトアムペア						
	建物		平方メートル						
	機械器具								
		主要變壓器	箇						
		調相機	〃						
		周波數變換機	〃						
		電壓調整機	〃						
		電動發電機	〃						
		廻轉變流機	〃						
		水銀整流器	〃						
		冷却用水設備							
		配電盤及開閉裝置							
		諸機械器具							
		基礎							

項		目	單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
		運搬費							
		据附費							
		雜係							
	備品								
	總係費								
配電線路工事費（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）			一キロメートル						
	架空配電線路		〃						
		支持物	本						（材料費及工費ヲ附記スルコト）
		電線	キログラム						
		電力用電線	〃						
		變壓器	箇						
		電力用變壓器	〃						
		保安及開閉裝置							
		引込線	引込口						
		電力用引込線	〃						
		添架電話線							
		架線費							
		雜係							

項	目		單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
需用者屋內工事費（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	地中配電線路		一キロメートル	円		円	円	円	
		電纜	メートル						（材料費及布設費ヲ附記スルコト）
		電力用電纜	〃						（同上）
		變壓器	箇						
		電力用變壓器	〃						
		保安及開閉裝置							
		引込線	引込口						
		電力用引込線	〃						
		雜係							
	特約供給配電線路（各別ニ記載スルコト）		一キロメートル						（材料費及工費ヲ附記スルコト）
	配線								
		電燈用配線	燈						（材料費及工費ヲ附記スルコト）
		電力用配線	キロワット						（同上）
		電熱用配線	〃						（同上）
	器具								
		電球	箇						
		計器	〃						
		電熱器	〃						
		扇風機	〃						
		電動機	〃						
		諸機械器具	一キロメートル						
電氣鐵道工事費	何々間建設費		〃						發電所工事費、送電線路工事費、變電所工事費（直流變電所工事費ヲ除ク）ヲ含マズ
何々									
合計									

年　月　日　　主任技術者　氏名　㊞

注意

1　本表ノ項目ハ電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ記載スベシ
2　本表ハ電氣供給事業ト電氣鐵道事業ト各別ニ之ヲ調製スベシ
3　一發電所ニ隷屬セザル貯水池工事費アルトキハ水力發電所工事費ニ準ジ記載スベシ
4　獨立セル受電所工事費アルトキハ變電所工事費ニ準ジ記載スベシ
5　水路、調整池又ハ貯水池ノ堰堤、取水口、開渠、蓋渠、隧道、沈砂池、水槽、水壓管路等ニ付テハ工事費内譯書ヲ添附シ更ニ「コンクリート」工、積石工、水路掘鑿工等ノ單價ノ内譯ヲ表示スベシ

（第四號樣式）

電氣工作物竣工明細書

一 送電關係一覽圖第十號樣式ニ依リ調製スベシ
二 平面圖第五條第二項ニ準ズ
三 發電設備發電所每ニ記載スベシ
（一）發電所ノ名稱及位置道府縣郡市町村名及地番ヲ記載スベシ
（二）發電所ノ出力第五條第一項第二號（三）ニ準ズ
（三）原動力設備
（甲）水力設備
（イ）明細表第一表ニ依リ調製スベシ
（ロ）說明書說明圖ヲ添附スベシ
イ 堤堰ニ付テハ材料、施工方法、伸縮接手ノ構造、地質、岩盤ノ試驗又ハ試鑽ノ成績、「セメント」汁注入成績、使用材料試驗成績、流木路、魚道等ノ附帶設備
ロ 導水路ノ隧道ニ付テハ地質ノ大要、機械掘、手掘ノ別、導坑一日掘進最大長及平均長、湧水ノ狀況及其ノ處理方法
ハ 貯水池、調整池ニ在リテハ其ノ使用方法及水位ト有效容量トノ關係
ニ 治水ノ爲ノ施設、水利事業ノ爲ノ施設、流木舟筏ノ通航ノ爲ノ施設、漁業ニ對スル施設及工事用設備道路、軌道、索道等ノ設備ニシテ工事竣功後モ存置スルモノニ限ル等ノ雜工作物
ホ 堰堤ニ因ル背水ノ影響及其ノ影響ニ對スル施設
（乙）汽力設備
（イ）明細表第二表ニ依リ調製スベシ
（ロ）計算書及說明圖
イ 汽機及補助機用蒸汽又ハ熱消費量ニ損失量ヲ加算シタル發電所總蒸汽又ハ熱消費量ノ計算書
ロ 發電所出力三千キロワット以上ノモノニ在リテハ發電所熱精算圖第十一號樣式ニ依リ調製スベシ
（丙）內燃力設備
明細表第三表ニ依リ調製スベシ
（四）電氣設備
（甲）明細表
（イ）發電機及變壓器第四表ニ依リ調製スベシ
（ロ）電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、整流器、調相機、

蓄電池等第七表ニ準ジ調製スベシ
（乙）說明書說明圖ヲ添附スベシ
（イ）自動制御裝置又ハ遠方制御裝置ニ在リテハ其ノ大要
（ロ）發電機、調相機其ノ他ノ機械ノ勵磁方式自動電壓調整器又ハ速應勵磁裝置ノ大要
（ハ）負荷時ニ「タップ」ヲ切リ換ヘ得ル變壓器ニ在リテハ其ノ裝置及運轉停止方式制御裝置ヲ有スルモノニ限ル
（ニ）保安裝置種類、構造ノ大要（發電機、母線、變壓器、送電線等ノ保安裝置）及製造者名
（五）圖面
（イ）發電所一般平面圖構內ニ施設セル建物及各種設備ノ配置ヲ示シタルモノ
（ロ）水路、貯水池、調整池ノ竣工平面圖、竣工縱斷面圖及竣工橫斷面圖第十七條第一項第一號乃至第三號ニ準ズ
（ハ）水力各工作物ノ構造圖及機械器具裝置圖水路定規圖、沈砂池、水槽等ニハ水位ヲ記入シ且工作物ノ高及水位ノ標高ヲ記入スルコト及雜工作物ニ關スル說明圖
（ニ）發電所內機械器具ノ裝置圖平面圖、正面圖、側面圖及斷面圖（寸法ヲ記入スルコト）
（ホ）水車及吸出管ノ斷面圖
（ヘ）汽罐火爐ノ斷面圖
（ト）汽管及水管ノ配置圖
（チ）石炭及灰燼運搬設備圖
（リ）復水器冷却用水路ノ說明圖
（ヌ）消音裝置及瓦斯發生裝置ノ斷面圖
（ル）冷却池又ハ冷却塔ノ說明圖
（ヲ）建物及主機ノ基礎竝ニ煙突ノ構造圖
（ワ）電線接續圖
四 受電設備受電地點每ニ記載スベシ
（一）受電地點ノ名稱、位置及供給者第五條第一項第三號（一）ニ準ズ
（二）受電地點ノ出力第五條第一項第三號（二）ニ準ズ
（三）電氣方式直流、交流、相及線式周波數及受電電壓
（四）說明書說明圖ヲ添附スベシ
（イ）送電上ノ責任分界トナルベキ開閉器及受電電力ヲ遮斷シ得ベキ

開閉器
(ロ)　保安裝置種類、構造ノ大要及製造者名
(五)　圖面
(イ)　受電地點ノ機械器具裝置圖
(ロ)　電線接續圖
(ハ)　供給者トノ電話回線圖

五　送電設備送電線路毎ニ記載スベシ

(一)　明細表
(イ)　架空電線路第五表ニ依リ調製スベシ
(ロ)　地中電線路又ハ水底電線路第六表ニ依リ調製スベシ
(二)　說明書說明圖ヲ添附スベシ
(イ)　架空電線路中長徑間ノ箇所及他ノ工作物トノ關係上施設シタル工事ノ概要
(ロ)　地中電線路ノ布設方法及他ノ工作物トノ關係上施設シタル工事ノ概要
(ハ)　開閉所及架空電線路ト地中電線路トノ接續箇所ノ位置竝ニ工事

ノ大要
(ニ)　電線懸架ノ方法
(三)　圖面
(イ)　架空電線路支持物ノ構造圖
(ロ)　碍子裝置圖
(ハ)　電纜ノ構造圖
(ニ)　地中函、接續函、終端函ノ構造圖
(ホ)　保安通信用電話ノ回線圖

六　變電設備變電所毎ニ記載スベシ

(一)　明細表
電氣設備第七表ニ依リ調製スベシ
(二)　說明書說明圖ヲ添附スベシ
(イ)　自動制御裝置又ハ遠方制御裝置ニ在リテハ其ノ大要
(ロ)　負荷時ニ「タップ」ヲ切リ換ヘ得ル變壓器ニ在リテハ其ノ裝置
(ハ)　調相機其ノ他ノ機械ノ勵磁方式自動電壓調整器又ハ速應勵磁裝置ノ大要

(ニ)　保安裝置種類、構造ノ大要及製造者名
(三)　圖面
(イ)　變電所一般平面圖構內ニ施設セル建物及各種設備ノ配置ヲ示シタルモノ
(ロ)　機械器具裝置圖平面圖、正面圖、側面圖、斷面圖（寸法ヲ記入スルコト）
(ハ)　電線接續圖

七　配電設備

(一)　明細表
(イ)　低壓又ハ高壓電線路第八表ニ依リ調製スベシ
(ロ)　特別高壓電線路一線路毎ニ第五表又ハ第六表ニ準ジ調製スベシ
(ハ)　特別高壓變壓器電氣工作物規程本則第十一條ノ規定ニ依ルモノ及需用場所ニ於ケル特別高壓電氣設備第七表ニ準ジ調製スベシ
(二)　說明書　送電設備ノ(二)及變電設備ノ(二)ニ準ズ
(三)　圖面　送電設備ノ(三)及變電設備ノ(三)ニ準ズ

八　電氣鐵道設備電氣鐵道線路毎ニ記載スベシ

(一)　明細表
電氣鐵道設備第九表ニ依リ調製スベシ
(二)　說明書說明圖ヲ添附スベシ
(イ)　電車線ノ區劃法
(ロ)　軌條ノ接續方法
(ハ)　第三軌條式又ハ鋼索式鐵道ノ構造及布設方法
(三)　圖面
(イ)　饋電線路ノ構造圖
(ロ)　電車線路及軌道ノ構造圖局部圖面及橫斷面圖ヲ以テ說明スベシ
(ハ)　饋電關係圖
(ニ)　「ボンド」ノ圖構造及取附方法ヲ示シタルモノ

第一表　　水力設備　　何發電所

河川名又ハ湖沼名	川水系　　川及　　川				
取水口ノ位置	府縣　　郡市	町村大字	字	番地	
放水口ノ位置	府縣　　郡市	町村大字	字	番地	
取水量	川	川	川	川	
使用水量	最大	常時	常時尖頭	特殊	
落差	有效落差	總落差			
理論水力	最大	常時	常時尖頭	特殊	

堰堤						
名稱	(　)取水堰堤	(　)取水堰堤	(　)取水堰堤	(　)貯水池堰堤	(　)調整池堰堤	
構造ノ大要						
長						
基礎盤上最大高（可動堰ハ頂端迄）						
堤體容積（土、「コンクリート」）						
可動堰種類						
可動堰大サ及數						
捲揚機						
土砂吐水門大サ						
捲揚機						
流木路概要						
魚道概要						
其ノ他ノ附屬設備						

導水								
總亙長								
種類	隧道	水壓隧道	蓋渠	開渠	水路橋	水路管	樋	
亙長								

水路	
勾配	
構造大要	
モルタル汁注入工	
水路土砂吐設備	
水路餘水吐設備	

水取口	構造大要		
沈砂池	構造大要		
	土砂沈澱及排除ノ方法		

（　）貯水池	全容量		
	有效容量		
	利用水深（最大）		
	湛水面積（最高水位）		
	附屬設備		

水槽（ジタンク又ハ「サージタンク」）	構造大要		
	餘水吐設備		
	制水設備		
	餘水路構造		
	「サージタンク」型式		

（　）調整池	全容量		
	有效容量		
	利用水深（最大）		
	湛水面積（最高水位）		
	附屬設備		

水壓管路			
水壓管	材料		
	太サ		
	條數		
	長		
	鐵管總重量		
	水壓管試驗成績		
	鋲接熔接ノ別		
	保安裝置		
	制水辨		
	製造者名		
支持施設			

水車			
機械番號			
種類			
型式			
キロワット數			
使用水量			
回轉數			
特有速度			
能率	負荷	%	
		%	
		%	
		%	
「ランナー」翼ノ材料			

吸出管	型式	
	吸出高	
放水路	構造大要	
	亙長	
	勾配	
水量測定設備		
工事監督技術者名		
土木工事請負者名		

水車	推力軸承種類	
	箇數 常用	
	箇數 豫備	
	調速機種類	
	製造者名	
	製造年月	
工事着手年月日		
工事竣功年月日		

注意

1 本樣式ニ掲載セザル事項ト雖モ著シキモノアルトキハ適宜別欄ヲ設ケ記載スベシ
2 各欄中ニ表示シ難キ事項ニ關シテハ別ニ說明書ヲ添附スベシ
3 取水量ノ欄ニハ期間ヲ限ラレタルモノアルトキハ其ノ旨ヲ附記スベシ
4 吸出管型式ノ欄ニハ直立型及彎曲型ノ別ヲ記載シ特殊ノ形狀ヲ有スルモノニ付テハナルベク其ノ型式ヲモ附記スベシ
5 吸出管吸出高ノ欄ニハ水車中心點ト平均放水面トノ間ノ高低差ヲ記載スベシ
6 水車種類ノ欄ニハ衝動及反動ノ別ヲ記載スベシ
7 水車型式ノ欄ニハ竪軸、橫軸ノ別及單放渦卷水車、双放渦卷水車、「プロペラー」水車等ノ別ヲ記載シ「プロペラー」水車ニ付テハ固定翼及可動翼ノ別ヲ附記スベシ
8 水車能率ノ欄ニハ定格キロワット數又ハ其ノ部分負荷ニ對スル保證能率ヲ記載スベシ實測シタル場合ニハ其ノ値ヲモ記載スベシ

第二表　汽力設備　何發電所

汽機	機械番號			
	種類			
	型式			
	キロワット數			
	汽壓			
	汽溫			
	眞空度又ハ背壓			
	回轉數			
	蒸汽又ハ熱消費量（一キロワット時當）	負荷 %		
		%		
		%		
		%		
	抽出蒸汽	段數		
		位置		
		汽壓（全負荷時）		
	總膨脹段數			
	材料	車室		
		噴口		
		隔板		
		靜翼及動翼		
	箇數	常用		
		豫備		
	製造者名			
	製造年月			
汽罐	種類			
	型式			
	汽壓			
	汽溫			
	蒸發量			
	加熱面積			
	過熱面積			
	有效火床面積			
	火爐	容積		
		壁ノ構造		
	給水溫度			
	箇數	常用		
		豫備		
	製造者名			
	製造年月			
蒸	種類			
	貯藏容量			

汽貯藏器	使用壓力ノ範圍		
	箇數		
	製造者名		
	製造年月		
燃焼装置	種類		
	給炭機	火床ノ幅及長(下方給炭機ニ在リテハ「レトルト」ノ數)	
		設計燃燒容量	
		一罐ニ對スル据附箇數	
		製造者名	
		製造年月	
		原動機 種類	
		キロワット數及箇數	
	微粉炭燒機	製造者名	
		種類	
		乾燥容量及箇數	
		製造者名	
		原動機 種類	
		キロワット數及箇數	
		製造者名	
	石炭粉砕機	種類	
		粉砕容量及箇數	
		製造者名	
		原動機 種類	
		キロワット數及箇數	
		製造者名	
	微粉炭輸送裝置	種類	
		輸送容量及箇數	
		製造者名	
		原動機 種類	
		キロワット數及箇數	
		製造者名	
裝置	火口	種類	
		燃燒容量	
		一罐ニ對スル取附箇數	
		製造者名	

備考　一罐ニ對スル取附箇數ノ計算ニ當リテハ第二十一號樣式ニ準ス

裝置	口	製造者名	
	附機屬器		
油燃又燒ハ用瓦斯器	火口	種類	
		燃燒容量	
		一罐ニ對スル取附箇數	
	附機屬器	製造者名	
自側動飾燃裝置	種類		
	取附罐數		
	製造者名		
標準燃料	種類		
	發熱量		
汽罐給水	種類		
	容量		
	揚回轉	程數	
ボーイラー給水ポンプ	箇數	用備	
	製造者名		
	原動機 種類		
	キロワット數及箇數		
	製造者名		
貯設水備	種類		
	容量及箇數		
	製造者名		
汽補給水罐	種類		
	可能取水量		
汽罐節炭	種類		
	加熱面積及箇數		
	加熱前後ノ給水温度		

給水ノ加熱及清淨裝置	給水加熱器	製造者名		
	温水器	種類		
		加熱面積及箇數		
		加熱前後ノ給水温度		
		製造者名		
	淨水器	種類		
		容量及箇數		
		製造者名		
		附屬機器		
	脫氣器	種類		
		箇數		
		製造者名		
		附屬機器		
復水器	復水器	種類		
		冷汽面積		
		冷汽容量		
		冷却水標準温度		
		箇數		
		製造者名		
	冷却水「ポンプ」	種類		
		容量及箇數		
		製造者名		
		原動機 種類		
		原動機 キロワツト數及箇數		
		原動機 製造者名		
	空氣「ポンプ」	種類		
		容量及箇數		
		製造者名		
		原動機 種類		
		原動機 キロワツト數及箇數		
		原動機 製造者名		
	復水「ポンプ」	種類		

設備	復水「ポンプ」	容量及箇數		
		製造者名		
		原動機 種類		
		原動機 キロワツト數及箇數		
		原動機 製造者名		
	冷却水用除芥機	種類		
		箇數		
		製造者名		
		附屬機器		
	冷却池又ハ冷却塔	構造		
		容量		
		箇數		
		製造者名		
		附屬機器		
煙道内設備	熱空氣豫熱器	種類		
		加熱面積及箇數		
		豫熱前後ノ空氣温度		
		製造者名		
	煙道瓦斯集塵裝置	種類		
		箇數		
		製造者名		
		附屬機器		
通風	押込通風機	種類		
		通風量及箇數		
		風壓		
		回轉數		
		製造者名		
		原動機 種類		
		原動機 キロワツト數及箇數		
		原動機 製造者名		

風設備	誘導通風機	種類				
		通風量及箇數				
		風壓				
		回轉數				
		製造者名				
		原動機	種類			
			キロワット數及箇數			
			製造者名			
	煙突	種類				
		口徑				
		高	地表面上			
			汽罐火床面上			
		基數				
		製造者名				
貯炭場	面積					
	貯炭容量					
石炭運搬設備	種類					
	容量及箇數					
	製造者名					
	原動機	種類				
		キロワット數及箇數				
		製造者名				
灰燼運搬設備	種類					
	容量及箇數					
	製造者名					
	原動機	種類				
		キロワット數及箇數				
		製造者名				
其ノ他附屬設備						

注意

1 汽筒ガ二箇以上ニ分割セラレタル汽機ノ總膨脹段數ハ各汽筒別ニ之ヲ記載スベシ

2 再熱器ヲ有スル汽罐ニ在リテハ汽溫欄ニ再熱前後ノ汽溫ヲ附記スベシ

3 汽罐ノ加熱及過熱面中火爐壁ニ配置セルモノノ面積ハ分割シテ記載スベシ

4 微粉炭燃燒裝置、油又ハ瓦斯燃燒裝置、淨水器、脫氣器、冷却水用除芥機、冷却池又ハ冷却塔及煙道瓦斯集塵裝置ノ附屬機器ニ付テハ適宜別欄ヲ設ケテ其ノ種類、容量、キロワット數、箇數及製造者名ヲ記入スベシ

第三表　　內燃力設備　　何發電所

內燃機	機械番號				
	種類				
	キロワット數				
	「サイクル」數				
	氣筒數				
	氣筒ノ內徑及衝程				
	回轉數				
	箇數	常用			
		豫備			
	燃料消費量（一時間一キロワット當）	負荷	%		
			%		
			%		
			%		
	製造者名				
	製造年月				
瓦斯發生裝置	種類				
	發生容量				
	箇數				
	製造者名				
	製造年月				

消音裝置	構造				
	材料				
	大サ				
	箇數				
	製造者名				
瓦斯溜貯油槽	種類				
	容量				
	箇數				
	製造者名				
燃料標準	種類				
	發熱量				
內燃機冷却設備	冷却水「ポンプ」	種類			
		容量			
		揚程			
		箇數			
		製造者名			
		原動機	種類		
			容量		
			箇數		
			製造者名		
	冷却池又ハ冷却塔	構造			
		容量			
		箇數			
		製造者名			
		附屬機器			
煙突	種類				
	口徑				
	地表面上ノ高				
	基數				
	製造者名				
其ノ附屬設					

（六七）

他備			

注意　冷却池又ハ冷却塔ノ附屬機器ニ付テハ適宜別欄ヲ設ケテ其ノ種類、容量、キロワット數、箇數及製造者名ヲ記入スベシ

第四表　發電所電氣設備

發電所名				原動力	
發電機	番號				
	種類				
	型				
	kW數又ハkVA數及力率				
	電壓				
	相				
	周波數				
	回轉數				
	結線法				
	冷却方式				
	原動機トノ連結方法				
	箇數	常用			
		豫備			
	製造者名				
	製造年月				
	中性點ノ接地	種類			
		オーム數			
		容量（電流及時間）			
		製造者名			
勵磁	種類				
	kW數又ハkVA數				
	電壓				
	回轉數				
	勵磁法				
	箇數	常用			
		豫備			
	原動機トノ連結方法				
	製造者名				

機	原動機	種類			
		容量			
		製造者名			
主要變壓器	型				
	キロヴオルトアムペア數				
	電壓	一次			
		二次			
	相				
	周波數				
	結線法				
	冷却法				
	「パクキン」數	常用			
		豫備			
	箇數	常用			
		豫備			
	製造者名				
	製造年月				
	中性點接地ノ	種類			
		オーム數			
		容量（電流及時間）			
		製造者名			
避雷器	種類				
	箇數				
	製造者名				

注意　發電機種類ノ欄ニハ交流、直流ノ別、同期、非同期ノ別等ヲ記載スベシ

第五表　架空送電線路

送電線路ノ名稱		
區間		
亙長（粁）		
回線數		

（中略）

電氣方式（直流、交流ノ別、相及線式）					
最大電壓					
周波數					
送電容量（キロワット）					
電線	種類				
	太サ				
	條數				
	延長（粁）				
電線地表上ノ最低ノ高（米）					
電線ト支持物トノ最小距離（米）（懸垂碍子ノ場合）					
徑間	最大（米）				
	標準（米）				
	平均（米）				
支持物	鐵塔	標準鐵塔重量（瓲）			
		平均鐵塔重量（瓲）			
		基數			
		製造者名			
	鐵柱	標準重量（瓲）			
		平均重量（瓲）			
		基數			
		製造者名			
	鐵筋「コンクリート」柱ノ數				
	木柱	木材ノ種類及注入、不注入ノ別			
		標準柱	單柱、H柱等ノ別		
			末口ノ太サ（糎）		
		基數			
碍子	懸垂型	大サ			
		試驗電壓及試驗時間			
		一連ノ箇數	懸垂		
			耐張		
		總箇數			
		製造者名			
		大サ			

子	「ピン」型	試驗電壓及試驗時間		
		總箇數		
		製造者名		
招弧角（又ハ招弧環）ノ有無				
架空地線		材料		
		太サ		
		條數		
保安通信設備		電話機設置場所ノ數		
		獨立、添架ノ別及回線數		
		回線ノ方式		
		亙長（粁）		
	電話線	種類		
		太サ		
		搬送式電話ノ區間		
開閉所數、散宿所數				
中性點接地		位置		
		種類（抵抗又ハ「リアクトル」）		
		オーム數		
標準支持物ニ於ケル電線及地線配置概略圖（線間距離記入）				

注意

1 送電容量ハ電壓五萬ヴオルト以上ニシテ亙長五十キロメートル以上ノ送電線路ニ限リ記載スベシ

2 電線及架空地線ノ太サハ單線ニ在リテハ其ノ徑、撚線ニ在リテハ其ノ公稱切斷面積及構造ヲ記載スベシ

3 電線延長ハ電線ノ太サ及種類ヲ異ニスル毎ニ區別記載スベシ

（中 略）

第六表

地中送電線路
水底送電線路

送電線路ノ名稱				
種類（地中、水底ノ別）				
區間				
亙長（粁）				
回線數				
電氣方式（直流、交流ノ別、相及線式）				
最大電壓				
周波數				
送電容量（キロワット）				
電纜		種類及型式		
		定格電壓		
		心線數		
		心線ノ種類		
		心線ノ太サ		
		絶緣物ノ種類		
		鎧裝ノ有無及種類		
		外徑		
		電纜ノ條數		
		製造者名		
布設方法（引入式、直接埋設式ノ別）				
地中函數、開閉所數				
中性點接地		位置		
		種類（抵抗又ハ「リアクトル」）		
		オーム數		
保安通信		電話機設置場所ノ數		
		架空、地中ノ別		
		回線ノ方式		
		回線數		
		亙長（粁）		

設備	電話線	種類			
		太サ（粍）			
		被覆絶縁物ノ種類			

第七表　　變電所設備

變電所ノ名稱				
位置				
目的				
出力				
變壓器	型			
	キロヴオルトアムペア數			
	電壓	一次		
		二次		
	相			
	周波數			
	結線法			
	冷却法			
	「パンク」數	常用		
		豫備		
	箇數	常用		
		豫備		
	製造者名			
	製造年月			
	中性點ノ接地	種類		
		オーム數		
		容量（電流及時間）		
		製造者名		
電動發	種類			
	電動機側	電氣方式（直流、交流ノ別、相）		
		電壓		
		容量		
		回轉數		
		周波數		

電機又ハ周波數變換機	發電機側	電氣方式（直流、交流ノ別、相）		
		電壓		
		容量		
		回轉數		
		周波數		
	箇數	常用		
		豫備		
	製造者名			
	製造年月			
	勵磁機	種類		
		電壓		
		キロワット數		
	起動電動機	種類		
		キロワット數		
		回轉數		
調相機	種類			
	キロヴオルトアムペア數	進		
		遲		
	電壓			
	周波數			
	回轉數			
	結線法			
	冷却方式			
	箇數	常用		
		豫備		
	製造者名			
	製造年月			
	勵磁機	キロワット數		
		電壓		
	起動動置	起動電壓（自起動）		
		電動機 種類		
		電壓		
		キロワット數		
		回轉數		

廻轉變流機	キロワット數		
	電壓（直流）		
	相		
	周波數		
	回轉數		
	勵磁法		
	起動電壓（交流）		
	箇數 常用		
	箇數 豫備		
	製造者名		
	製造年月		
水銀整流器	キロワット數		
	電壓（直流）		
	相		
	陽極數		
	周波數		
	箇數 常用		
	箇數 豫備		
	製造者名		
	製造年月		
	變壓器二次結線法		
	相間「リアクトル」ノ有無		
	濾波裝置ノ有無		
蓄電池	種類		
	アムペア時數		
	放電時間		
	全電壓（放電）		
	箇數及組數		
	製造者名		
避雷器	種類		
	電壓		
	箇數		
	製造者名		

第八表　　高壓 低壓 配電線路

配電區域					
電氣方式（直流、交流ノ別、相及線式）					
最大電壓	高壓				
	低壓				
需用者ノ端子電壓					
架空電線路	電線	種類	高壓		
			低壓		
		太サ	高壓		
			低壓		
	支持物	種類			
		標準徑間			
		最大徑間			
水底地中電線路	電纜	種類	高壓		
			低壓		
		被覆絶緣物ノ種類	高壓		
			低壓		
	布設方法				
保安通信設備	電話機設置場所ノ數				
	架空、地中ノ別				
	回線ノ方式				
	回線數				
	亙長（粁）				
	電話線	種類			
		太サ（粍）			
		被覆絶緣物ノ種類			

注意

1　配電區域ノ欄ニハ配電工事ヲ施行シタル區域ヲ記載シ電線路ノ亙長（高壓、低壓、添架部分ヲ通算シタル總亙長ヲ架空、地中、水底ノ別毎ニ記載スルコト）及配電用變壓器ノ箇數（架空線用、地中線用、需用者構内用ノ別）竝ニ其ノ總容量(kVA)ヲ附記スベシ

2　最大電壓ノ欄ニハ配電用變壓器ノ一次電壓及二次電壓ヲ附記スベシ

3　架空電線路ノ欄ニハ電線ノ延長（高壓、低壓ノ別）及支持物ノ基數ヲ、地中、水底電線路ノ欄ニハ電纜ノ延長（高壓、低壓ノ別）ヲ附記スベシ

第九表　　電氣鐵道設備

電氣鐵道ノ名稱						
起點						
終點						
複線單線ノ別						
亙長（粁）						
電氣鐵道方式						
電車線（又ハ第三軌條）ノ電壓						
饋電線路	電氣方式					
	架空電線路	電線	種類			
			太サ			
			延長			
		支持物	種類			
			數			
			標準徑間			
			單獨添架ノ別			
	地中電線路	電纜	種類			
			心線數			
			心線ノ太サ			
			延長			
			製造者名			
		布設法				
	絶緣歸線	種類				
		太サ				
		線條數				
		亙長				
		施設方法				
	陰極加抵抗器	設置場所				
		種類				
		電壓				

（十四）

	減壓機又ハ	電流				
		箇數				
		製造者名				
電車線路	電車線	種類				
		太サ				
		延長				
		線間距離				
		電線吊架法				
	支持物	種類				
		標準徑間				
		側柱中央柱ノ別				
		基數				
軌道	亙長	專用				
		併用				
	軌間（粍）					
	最大勾配					
	最小半徑（米）					
	軌條	重量				
		形狀				
	「ボンド」線	種類				
		太サ				
	補助線	種類				
		太サ				
電氣信號裝置ノ種類						
車	電氣機關車	重量（瓲）				
		集電裝置ノ種類				
		電動機	キロワット數			
			電壓			
			箇數			
			製造者名			
		製造者名				
	電	ボギー車、四輪車ノ別				

輛	客車	動車	重量									
			乘車定員									
			電動機	キロワット數								
				電壓								
				箇數								
				製造者名								
		附隨車	ボギー車、四輪車ノ別									
			重量									
			乘車定員									
	貨車	電動車	ボギー車、四輪車ノ別									
			重量									
			積載量									
			電動機	キロワット數								
				箇數								
				製造者名								
		附隨車	有蓋、無蓋ノ別									
			重量									
			積載量									
第三軌條	重量											
	接觸方式											
	接續線ノ種類											
鋼索式鐵道	方式											
	電動機	種類										
		キロワット數										
		電壓										
		製造者名										
	觸線保安接	直流交流ノ別										
		電壓										
		種類										
		太サ										

注意

1 電氣鐵道方式ノ欄ニハ直流、交流、相、架空單線式、架空複線式、第三軌條式、鋼索式其ノ他ノ方式ノ區別ヲ記載スベシ

2 車輛ノ欄ニハ電氣機關車、客車又ハ貨車（電動車、附隨車ノ別）ノ車輛數ヲ附記スベシ

（第五號樣式）

工事費精算書

項目			精算額						豫算額トノ比較			備考
									增減額			
			單位	單價	數量	金額			數量	金額		
						小計	計	合計		計	合計	
水力發電所（發電所毎ニ記載スルコト）			キロワット	円		円	円	円		円	円	
	水利費											
		出願費										
		補償費										
	用地		平方メートル									
		發電所用地	〃									
		附屬用地	〃									
		水路用地	〃									
		調整池又ハ貯水池用地	〃									
		雜係										
	建物											
		發電所建物										

項目			精算額						豫算額トノ比較			備考
									增減額			
			單位	單價	數量	金額			數量	金額		
						小計	計	合計		計	合計	
				円		円	円	円		円	円	
		附屬建物										
		屋外鐵構										
		雜係										
	水路											
		堰堤										
		可動堰										
		取水口										
		開渠	メートル									
		蓋渠	〃									
		隧道	〃									
		水路橋	〃									
		水路管	〃									
		樋	〃									
		沈砂池										
		水槽										

		餘水路	メートル									
		水壓管路	〃									
		放水路	〃									
		土捨場										
		雜工事										
		雜係										
	調整池又ハ貯水池（各別ニ記載スルコト）											
		堰堤										
		可動堰										
		魚道										
		流木路										
		舟筏路										
		側面及底面工事										
		雜工事										
		雜係										
	機械器具											
		水車	箇									
		發電機	〃									

項目			精算額 単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	豫算額ト比較 増減額 数量	金額 計	金額 合計	備考
	雑設備	主要変圧器	箇	円		円	円	円		円	円	
		配電盤及開閉装置										
		諸機械器具										
		基礎										
		運搬費										
		据附費										
		雑係										
		電力及電燈通信設備										
		運材設備										
		何々										
	備品											
	總係費											
		測量費										
		監督費										
		補償費										
		假設備費										
		雑係										
汽力發電所（発電所毎ニ一トロットヲ記載スルコト）	用地		一キロワット									
			平方メートル									
		発電所用地	〃									
		附属用地	〃									
		雑係										
	建物											
		発電所建物										
		附属建物										
		屋外鉄構										
		雑係										
	蒸汽発生設備											
		汽罐	箇									
		給炭機										
		微粉炭燃焼装置										
		節炭器	箇									

項目			精算額 単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	豫算額トノ比較 増減額 数量	金額 計	金額 合計	備考
				円		円	円	円		円	円	
		空氣豫熱器	箇									
		温水及淨水裝置										
		汽罐給水「ポンプ」	箇									
		汽管及水管										
		通風裝置										
		煙突及煙道	基									
		運炭及灰捨裝置										
		諸機械器具										
		基礎										
		運搬費										
		据附費										
		雜係										
	電氣發生設備											
		汽機	箇									
		發電機	〃									
		復水器	〃									
		發電機用汽機所及復水器										
		主要變壓器	箇									
		開閉裝及電盤配置										
		諸機械器具										
		基礎										
		運搬費										
		据附費										
		雜係										
	冷却水及水道設備											
		冷却用水設備										
		貯水池										
		水道										
		雜係										
	雜設備											
		運搬設備										
		修繕及試驗裝置										
		何々										
	備品											

項		目	精算額 單位	精算額 單價	精算額 數量	精算額 金額 小計	精算額 金額 計	精算額 金額 合計	豫算額トノ比較 增減額 數量	豫算額トノ比較 增減額 金額 計	豫算額トノ比較 增減額 金額 合計	備考
				円		円	円	円		円	円	
內燃力發電所（發電所毎ニ記載スルコト）	總係費											
		測量費										
		監督費										
		假設備費										
		雜係										
	用地		一キロワット									
			平方メートル									
		發電所用地	〃									
		附屬用地	平方メートル									
		雜係										
	建物											
		發電所建物										
		附屬建物										
		屋外鐵構										

		雜係										
	機械器具											
		瓦斯發生器	箇									
		瓦斯溜又ハ貯油槽	〃									
		內燃機	〃									
		發電機	〃									
		主要變壓器	〃									
		配電盤及開閉裝置										
		冷却用水設備										
		諸機械器具										
		基礎										
		運搬費										
		据附費										
		雜係										
	雜設備											
	備品											
	總係費											
送電線路何……何間（送電線路毎ニ記載スルコト）			一キロメートル									

項目			精算額 単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	豫算額ト比較増減額 数量	豫算額ト比較増減額 金額 計	豫算額ト比較増減額 金額 合計	備考
	用地		平方メートル	円		円	円	円		円	円	
		線路用地	〃									
		開閉所用地	〃									
		附属用地	〃									
		雑係										
	建物											
		諸建物										
		雑係										
	架空電線路		キロメートル									
		鉄塔	基									
		鉄柱	本									
		鉄筋「コンクリート」柱	〃									
		木柱	〃									
		碍子	箇									
		電線	キログラム									
		地線	キログラム									
		開閉装置及保安装置										
		添架電話線（架線費）										
		補償費										
		雑係										
	地中線路		キロメートル									
		管路	メートル									
		電纜	〃									
		電話電纜										
		雑係										
	開閉所（各別ニ記載スルコト）											
		屋外鉄構										
		開閉装置										
		諸機械器具										
		雑係										
	独立電話線路		キロメートル									
		支持物										

項	目		精算額						豫算額トノ比較			備考
									增減額			
			單位	單價	數量	金額			數量	金額		
						小計	計	合計		計	合計	
				円		円	円	円		円	円	
		電線										
		電纜										
		雜係										
	備品											
	總係費											
		測量費										
		監督費										
		何々										
		雜係										
變電所（變電所毎ニ記載スルコト）			一キロヴオルトアムペア									
	用地		平方メートル									
		變電所用地	〃									
		附屬用地	〃									
		雜係										

建物												
	變電所建物											
	附屬建物											
	屋外鐵構											
	雜係											
機械器具	主要變壓器	箇										
	調相機	〃										
	周波數變換機	〃										
	電壓調整器	〃										
	電動發電機	〃										
	廻轉變流機	〃										
	水銀整流器	〃										
	冷却用水設備											
	配電盤及開閉裝置											
	諸機械器具											
	基礎											
	運搬費											
	据附費											

項目			精算額 単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	豫算額トノ比較 増減額 数量	増減額 金額 計	増減額 金額 合計	備考
		雜係		円		円	円	円		円	円	
	備品											
	總係費											
配電線路（本店、支店等ニ別営業単位別ニ記載スルコト）	架空配電線路		一キロメートル									
		〃	〃									
		支持物	本									
		電線	キログラム									
		電力用電線	〃									
		變壓器	箇									
		電力用變壓器	〃									
		保安及開閉裝置										
		引込線	引込口									
		電力用引込線	〃									
		雜係										
	特約供給配電線路（各別ニ記載スルコト）		一キロメートル									
需用者屋内設備（本店、支店等ニ別営業単位別ニ記載スルコト）	配線											
		電燈用配線	燈									
		電力用配線	キロワット									
		電熱用配線	〃									

（中 叩）

（中 叩）

		（架線費）										
		雜係										
	地中配電線路		一キロメートル									
		電纜	メートル									
		電力用電纜	〃									
		變壓器	箇									
		電力用變壓器	〃									
		保安及開閉裝置										
		引込線	引込口									
		電力用引込線	〃									
		雜係										
	特約供給配電線路（各別ニ記載スルコト）		一キロメートル									
	配線											
		電燈用配線	燈									
		電力用配線	キロワット									
		電熱用配線	〃									

項目			精算額						豫算額トノ比較			備考
									增減額			
			單位	單價	數量	金額			數量	金額		
						小計	計	合計		計	合計	
				円		円	円	円		円	円	
	器具	電球	箇									
		計器	〃									
		電熱器	〃									
		扇風機	〃									
		電動機	〃									
		諸機械器具										
電氣鐵道設備			一キロメートル									發電所、送電線路、變電所（直流變電所ヲ除ク）ヲ含マズ
	何々間建設費		〃									
建設利息												
	發電設備											
		何發電所										
		何發電所										
	送電設備											
		何送電線路										
		何送電線路										
	何々											
合計												

（合七）

注意

1 本表ノ項目ハ電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ記載スベシ
2 一發電所ニ隷屬セザル貯水池アルトキハ水力發電所ニ準ジ記載スベシ
3 獨立セル受電所アルトキハ變電所ニ準ジ記載スベシ
4 豫算額ニ比シ著シキ增減アル項目ニ付テハ其ノ事由ヲ附記スベシ
5 豫算額トノ比較增減額ノ減ハ朱書スベシ

（第六號樣式）

電氣事故届

第一表（電氣事業法施行規則第七十二條第一項ノ事項ニ該當スルモノ）　（　　年　　月分）

(一) 事故發生工作物ノ種類	
(二) 事故發生ノ日時及天候	
(三) 事故發生ノ場所	
(四) 事故ノ狀況	
(五) 事故ノ原因	
(六) 事故發生ノ際ニ於ケル各部保安裝置ノ指示又ハ狀況	
(七) 事故發生前ニ於ケル關係工作物ノ狀態	
(八) 事故發生工作物ノ應急修理	
(九) 復舊ノ日時又ハ其ノ見込	
(十) 事故ノ結果	
(1) 他ニ及ボシタル災害又ハ障害	
イ 災害又ハ障害ノ種類	
ロ 災害又ハ障害ノ狀況	
ハ 應急ノ處置	
(2) 供給支障	
イ 供給支障ノ種類	
ロ 供給支障ヲ及ボシタル區域又ハ需用者	
ハ 供給支障電力ノキロワット數	
ニ 供給支障繼續時間	
ホ 應急ノ處置	
(十一) 備　考	

注意

1 事故發生工作物ノ種類欄ニハ故障又ハ運轉使用ニ關スル事故ヲ生ジタル電氣工作物ヲ發電所ノ原動力設備(水力、汽力、內燃力ノ別)又ハ電氣設備、受電設備、送電線路(架空、地中、水底ノ別、特別高壓、高壓、低壓ノ別)、變電設備、配電線路(變壓器ヲ含ム)(架空、地中、水底ノ別、特別高壓、高壓、低壓ノ別)、饋電線路、架空、地中ノ別) 電車線路、需用者屋內電氣工作物、電車(電氣機關車ヲ含ム)ニ區別記載スベシ

2 電氣工作物ノ損害大ナルトキハ損害概算高ヲ事故ノ狀況欄ニ附記スベシ

3 電線ノ切斷セルトキハ其ノ電線ノ種類、太サ、支持物ノ徑間及切斷ノ直接原因等ヲ各相當欄ニ記載スベシ

4 電線ノ混觸又ハ他ノ工作物トノ接觸ヲ生ジタルトキハ電線ノ種類、太サ、支持物ノ徑間及兩電線間又ハ電線ト他ノ工作物トノ距離等ヲモ各相當欄ニ記載スベシ

5 特別高壓電線路ノ碍子損壞シタルトキハ其ノ種類及箇數等ヲ各相當欄ニ記載スベシ

6 事故ノ原因欄ニハ其ノ原因ガ機械、器具、電線、碍子其ノ他ノ不良又ハ施設方法ノ不完全ナルニ因ルヤ否、操業者又ハ其ノ他ノ者ノ過失若ハ故意、天災其ノ他不可抗力ニ因ルヤ否等ヲモ記載スベシ

7 死傷者ヲ生ジタルトキハ其ノ數、公衆又ハ操業者ノ別、致死又ハ負傷ノ原因ヲモ事故ノ結果欄ノ各相當欄ニ詳記シ且死傷者ニ對スル醫師ノ診斷書又ハ檢案書ノ寫ヲ添附スベシ

8 供給支障ノ種類ハ送電停止、電壓變動、周波數變動等ニ區別記載スベシ

9 說明上必要アル場合ハ圖面等ヲモ添附スベシ

第二表（送電線路又ハ配電線路變壓器ヲ含ム)ノ事故ニシテ第一表以外ノモノ）　（　　年　　月分）

事故發生工作物ノ種類	事故ノ種類	事故發生日時及天候	事故發生場所	送電停止區域又ハ需用者	送電停止電力ノキロワット數	送電停止時間	備考

電氣事業法施行規則 第一條 第一項 第二號 第三號 第四號 第五號 第六號 第七號 第八號 第九號 第十號 第十一號 第十二號 第十三號 第十四號 第十五號 第十六號 第十七號 第十八號 第十九號 第二十號 第二十一號 第二十二號 第二十三號 第二十四號 第二十五號 第二十六號 第二十七號 第二十八號 第二十九號 第三十號 第三十一號 第三十二號 第三十三號 第三十四號 第三十五號 第三十六號 第三十七號 第三十八號 第三十九號 第四十號 第四十一號 第四十二號 第四十三號 第四十四號 第四十五號 第四十六號 第四十七號 第四十八號 第四十九號 第五十號 第五十一號 第五十二號 第五十三號 第五十四號 第五十五號 第五十六號 第五十七號 第五十八號 第五十九號 第六十號 第六十一號 第六十二號 第六十三號 第六十四號 第六十五號 第六十六號 第六十七號 第六十八號 第六十九號 第七十號 第七十一號 第七十二號 第七十三號 第七十四號 第七十五號 第七十六號 第七十七號 第七十八號 第七十九號 第八十號 第八十一號 第八十二號 第八十三號 第八十四號 第八十五號 第八十六號 第八十七號 第八十八號 第八十九號 第九十號 第九十一號 第九十二號 第九十三號 第九十四號 第九十五號 第九十六號 第九十七號 第九十八號 第九十九號 第一百號 第一百一號 第一百二號 第一百三號 第一百四號 第一百五號 第一百六號 第一百七號 第一百八號 第一百九號 第一百十號 第一百十一號 第一百十二號 第一百十三號 第一百十四號 第一百十五號 第一百十六號 第一百十七號 第一百十八號 第一百十九號 第一百二十號 第一百二十一號 第一百二十二號 第一百二十三號 第一百二十四號 第一百二十五號 第一百二十六號 第一百二十七號 第一百二十八號 第一百二十九號 第一百三十號 第一百三十一號 第一百三十二號 第一百三十三號 第一百三十四號 第一百三十五號 第一百三十六號 第一百三十七號 第一百三十八號 第一百三十九號 第一百四十號 第一百四十一號 第一百四十二號 第一百四十三號 第一百四十四號 第一百四十五號 第一百四十六號 第一百四十七號 第一百四十八號 第一百四十九號 第一百五十號 第一百五十一號 第一百五十二號 第一百五十三號 第一百五十四號 第一百五十五號 第一百五十六號 第一百五十七號 第一百五十八號 第一百五十九號 第一百六十號 第一百六十一號 第一百六十二號 第一百六十三號 第一百六十四號 第一百六十五號 第一百六十六號 第一百六十七號 第一百六十八號 第一百六十九號 第一百七十號 第一百七十一號 第一百七十二號 第一百七十三號 第一百七十四號 第一百七十五號 第一百七十六號 第一百七十七號 第一百七十八號 第一百七十九號 第一百八十號 第一百八十一號 第一百八十二號 第一百八十三號 第一百八十四號 第一百八十五號 第一百八十六號 第一百八十七號 第一百八十八號 第一百八十九號 第一百九十號 第一百九十一號 第一百九十二號 第一百九十三號 第一百九十四號 第一百九十五號 第一百九十六號 第一百九十七號 第一百九十八號 第一百九十九號 第二百號 第二百一號 第二百二號 第二百三號 第二百四號 第二百五號 第二百六號 第二百七號 第二百八號 第二百九號 第二百十號 第二百十一號 第二百十二號 第二百十三號 第二百十四號 第二百十五號 第二百十六號 第二百十七號 第二百十八號 第二百十九號 第二百二十號 第二百二十一號 第二百二十二號 第二百二十三號 第二百二十四號 第二百二十五號 第二百二十六號 第二百二十七號 第二百二十八號 第二百二十九號 第二百三十號 第二百三十一號 第二百三十二號 第二百三十三號 第二百三十四號 第二百三十五號 第二百三十六號 第二百三十七號 第二百三十八號 第二百三十九號 第二百四十號 第二百四十一號 第二百四十二號 第二百四十三號 第二百四十四號 第二百四十五號 第二百四十六號 第二百四十七號 第二百四十八號 第二百四十九號 第二百五十號 第二百五十一號 第二百五十二號 第二百五十三號 第二百五十四號 第二百五十五號 第二百五十六號 第二百五十七號 第二百五十八號 第二百五十九號 第二百六十號 第二百六十一號 第二百六十二號 第二百六十三號 第二百六十四號 第二百六十五號 第二百六十六號 第二百六十七號 第二百六十八號 第二百六十九號 第二百七十號 第二百七十一號 第二百七十二號 第二百七十三號 第二百七十四號 第二百七十五號 第二百七十六號 第二百七十七號 第二百七十八號 第二百七十九號 第二百八十號 第二百八十一號 第二百八十二號 第二百八十三號 第二百八十四號 第二百八十五號 第二百八十六號 第二百八十七號 第二百八十八號 第二百八十九號 第二百九十號 第二百九十一號 第二百九十二號 第二百九十三號 第二百九十四號 第二百九十五號 第二百九十六號 第二百九十七號 第二百九十八號 第二百九十九號 第三百號 第三百一號 第三百二號 第三百三號 第三百四號 第三百五號 第三百六號 第三百七號 第三百八號 第三百九號 第三百十號 第三百十一號 第三百十二號 第三百十三號 第三百十四號 第三百十五號 第三百十六號 第三百十七號 第三百十八號 第三百十九號 第三百二十號 第三百二十一號 第三百二十二號 第三百二十三號 第三百二十四號 第三百二十五號 第三百二十六號 第三百二十七號 第三百二十八號 第三百二十九號 第三百三十號 第三百三十一號 第三百三十二號 第三百三十三號 第三百三十四號 第三百三十五號 第三百三十六號 第三百三十七號 第三百三十八號 第三百三十九號 第三百四十號 第三百四十一號 第三百四十二號 第三百四十三號 第三百四十四號 第三百四十五號 第三百四十六號 第三百四十七號 第三百四十八號 第三百四十九號 第三百五十號 第三百五十一號 第三百五十二號 第三百五十三號 第三百五十四號 第三百五十五號 第三百五十六號 第三百五十七號 第三百五十八號 第三百五十九號 第三百六十號 第三百六十一號 第三百六十二號 第三百六十三號 第三百六十四號 第三百六十五號 第三百六十六號 第三百六十七號 第三百六十八號 第三百六十九號 第三百七十號 第三百七十一號 第三百七十二號 第三百七十三號 第三百七十四號 第三百七十五號 第三百七十六號 第三百七十七號 第三百七十八號 第三百七十九號 第三百八十號 第三百八十一號 第三百八十二號 第三百八十三號 第三百八十四號 第三百八十五號 第三百八十六號 第三百八十七號 第三百八十八號 第三百八十九號 第三百九十號 第三百九十一號 第三百九十二號 第三百九十三號 第三百九十四號 第三百九十五號 第三百九十六號 第三百九十七號 第三百九十八號 第三百九十九號 第四百號 第四百一號 第四百二號 第四百三號 第四百四號 第四百五號 第四百六號 第四百七號 第四百八號 第四百九號 第四百十號 第四百十一號 第四百十二號 第四百十三號 第四百十四號 第四百十五號 第四百十六號 第四百十七號 第四百十八號 第四百十九號 第四百二十號 第四百二十一號 第四百二十二號 第四百二十三號 第四百二十四號 第四百二十五號 第四百二十六號 第四百二十七號 第四百二十八號 第四百二十九號 第四百三十號 第四百三十一號 第四百三十二號 第四百三十三號 第四百三十四號 第四百三十五號 第四百三十六號 第四百三十七號 第四百三十八號 第四百三十九號 第四百四十號 第四百四十一號 第四百四十二號 第四百四十三號 第四百四十四號 第四百四十五號 第四百四十六號 第四百四十七號 第四百四十八號 第四百四十九號 第四百五十號 第四百五十一號 第四百五十二號 第四百五十三號 第四百五十四號 第四百五十五號 第四百五十六號 第四百五十七號 第四百五十八號 第四百五十九號 第四百六十號 第四百六十一號 第四百六十二號 第四百六十三號 第四百六十四號 第四百六十五號 第四百六十六號 第四百六十七號 第四百六十八號 第四百六十九號 第四百七十號 第四百七十一號 第四百七十二號 第四百七十三號 第四百七十四號 第四百七十五號 第四百七十六號 第四百七十七號 第四百七十八號 第四百七十九號 第四百八十號 第四百八十一號 第四百八十二號 第四百八十三號 第四百八十四號 第四百八十五號 第四百八十六號 第四百八十七號 第四百八十八號 第四百八十九號 第四百九十號 第四百九十一號 第四百九十二號 第四百九十三號 第四百九十四號 第四百九十五號 第四百九十六號 第四百九十七號 第四百九十八號 第四百九十九號 第五百號 第五百一號 第五百二號 第五百三號 第五百四號 第五百五號 第五百六號 第五百七號 第五百八號 第五百九號 第五百十號 第五百十一號 第五百十二號 第五百十三號 第五百十四號 第五百十五號 第五百十六號 第五百十七號 第五百十八號 第五百十九號 第五百二十號 第五百二十一號 第五百二十二號 第五百二十三號 第五百二十四號 第五百二十五號 第五百二十六號 第五百二十七號 第五百二十八號 第五百二十九號 第五百三十號 第五百三十一號 第五百三十二號 第五百三十三號 第五百三十四號 第五百三十五號 第五百三十六號 第五百三十七號 第五百三十八號 第五百三十九號 第五百四十號 第五百四十一號 第五百四十二號 第五百四十三號 第五百四十四號 第五百四十五號 第五百四十六號 第五百四十七號 第五百四十八號 第五百四十九號 第五百五十號 第五百五十一號 第五百五十二號 第五百五十三號 第五百五十四號 第五百五十五號 第五百五十六號 第五百五十七號 第五百五十八號 第五百五十九號 第五百六十號 第五百六十一號 第五百六十二號 第五百六十三號 第五百六十四號 第五百六十五號 第五百六十六號 第五百六十七號 第五百六十八號 第五百六十九號 第五百七十號 第五百七十一號 第五百七十二號 第五百七十三號 第五百七十四號 第五百七十五號 第五百七十六號 第五百七十七號 第五百七十八號 第五百七十九號 第五百八十號 第五百八十一號 第五百八十二號 第五百八十三號 第五百八十四號 第五百八十五號 第五百八十六號 第五百八十七號 第五百八十八號 第五百八十九號 第五百九十號 第五百九十一號 第五百九十二號 第五百九十三號 第五百九十四號 第五百九十五號 第五百九十六號 第五百九十七號 第五百九十八號 第五百九十九號 第六百號 第六百一號 第六百二號 第六百三號 第六百四號 第六百五號 第六百六號 第六百七號 第六百八號 第六百九號 第六百十號 第六百十一號 第六百十二號 第六百十三號 第六百十四號 第六百十五號 第六百十六號 第六百十七號 第六百十八號 第六百十九號 第六百二十號 第六百二十一號 第六百二十二號 第六百二十三號 第六百二十四號 第六百二十五號 第六百二十六號 第六百二十七號 第六百二十八號 第六百二十九號 第六百三十號 第六百三十一號 第六百三十二號 第六百三十三號 第六百三十四號 第六百三十五號 第六百三十六號 第六百三十七號 第六百三十八號 第六百三十九號 第六百四十號 第六百四十一號 第六百四十二號 第六百四十三號 第六百四十四號 第六百四十五號 第六百四十六號 第六百四十七號 第六百四十八號 第六百四十九號 第六百五十號 第六百五十一號 第六百五十二號 第六百五十三號 第六百五十四號 第六百五十五號 第六百五十六號 第六百五十七號 第六百五十八號 第六百五十九號 第六百六十號 第六百六十一號 第六百六十二號 第六百六十三號 第六百六十四號 第六百六十五號 第六百六十六號 第六百六十七號 第六百六十八號 第六百六十九號 第六百七十號 第六百七十一號 第六百七十二號 第六百七十三號 第六百七十四號 第六百七十五號 第六百七十六號 第六百七十七號 第六百七十八號 第六百七十九號 第六百八十號 第六百八十一號 第六百八十二號 第六百八十三號 第六百八十四號 第六百八十五號 第六百八十六號 第六百八十七號 第六百八十八號 第六百八十九號 第六百九十號 第六百九十一號 第六百九十二號 第六百九十三號 第六百九十四號 第六百九十五號 第六百九十六號 第六百九十七號 第六百九十八號 第六百九十九號 第七百號 第七百一號 第七百二號 第七百三號 第七百四號 第七百五號 第七百六號 第七百七號 第七百八號 第七百九號 第七百十號 第七百十一號 第七百十二號 第七百十三號 第七百十四號 第七百十五號 第七百十六號 第七百十七號 第七百十八號 第七百十九號 第七百二十號 第七百二十一號 第七百二十二號 第七百二十三號 第七百二十四號 第七百二十五號 第七百二十六號 第七百二十七號 第七百二十八號 第七百二十九號 第七百三十號 第七百三十一號 第七百三十二號 第七百三十三號 第七百三十四號 第七百三十五號 第七百三十六號 第七百三十七號 第七百三十八號 第七百三十九號 第七百四十號 第七百四十一號 第七百四十二號 第七百四十三號 第七百四十四號 第七百四十五號 第七百四十六號 第七百四十七號 第七百四十八號 第七百四十九號 第七百五十號 第七百五十一號 第七百五十二號 第七百五十三號 第七百五十四號 第七百五十五號 第七百五十六號 第七百五十七號 第七百五十八號 第七百五十九號 第七百六十號 第七百六十一號 第七百六十二號 第七百六十三號 第七百六十四號 第七百六十五號 第七百六十六號 第七百六十七號 第七百六十八號 第七百六十九號 第七百七十號 第七百七十一號 第七百七十二號 第七百七十三號 第七百七十四號 第七百七十五號 第七百七十六號 第七百七十七號 第七百七十八號 第七百七十九號 第七百八十號 第七百八十一號 第七百八十二號 第七百八十三號 第七百八十四號 第七百八十五號 第七百八十六號 第七百八十七號 第七百八十八號 第七百八十九號 第七百九十號 第七百九十一號 第七百九十二號 第七百九十三號 第七百九十四號 第七百九十五號 第七百九十六號 第七百九十七號 第七百九十八號 第七百九十九號 第八百號 第八百一號 第八百二號 第八百三號 第八百四號 第八百五號 第八百六號 第八百七號 第八百八號 第八百九號 第八百十號 第八百十一號 第八百十二號 第八百十三號 第八百十四號 第八百十五號 第八百十六號 第八百十七號 第八百十八號 第八百十九號 第八百二十號 第八百二十一號 第八百二十二號 第八百二十三號 第八百二十四號 第八百二十五號 第八百二十六號 第八百二十七號 第八百二十八號 第八百二十九號 第八百三十號 第八百三十一號 第八百三十二號 第八百三十三號 第八百三十四號 第八百三十五號 第八百三十六號 第八百三十七號 第八百三十八號 第八百三十九號 第八百四十號 第八百四十一號 第八百四十二號 第八百四十三號 第八百四十四號 第八百四十五號 第八百四十六號 第八百四十七號 第八百四十八號 第八百四十九號 第八百五十號 第八百五十一號 第八百五十二號 第八百五十三號 第八百五十四號 第八百五十五號 第八百五十六號 第八百五十七號 第八百五十八號 第八百五十九號 第八百六十號 第八百六十一號 第八百六十二號 第八百六十三號 第八百六十四號 第八百六十五號 第八百六十六號 第八百六十七號 第八百六十八號 第八百六十九號 第八百七十號 第八百七十一號 第八百七十二號 第八百七十三號 第八百七十四號 第八百七十五號 第八百七十六號 第八百七十七號 第八百七十八號 第八百七十九號 第八百八十號 第八百八十一號 第八百八十二號 第八百八十三號 第八百八十四號 第八百八十五號 第八百八十六號 第八百八十七號 第八百八十八號 第八百八十九號 第八百九十號 第八百九十一號 第八百九十二號 第八百九十三號 第八百九十四號 第八百九十五號 第八百九十六號 第八百九十七號 第八百九十八號 第八百九十九號 第九百號 第九百一號 第九百二號 第九百三號 第九百四號 第九百五號 第九百六號 第九百七號 第九百八號 第九百九號 第九百十號 第九百十一號 第九百十二號 第九百十三號 第九百十四號 第九百十五號 第九百十六號 第九百十七號 第九百十八號 第九百十九號 第九百二十號 第九百二十一號 第九百二十二號 第九百二十三號 第九百二十四號 第九百二十五號 第九百二十六號 第九百二十七號 第九百二十八號 第九百二十九號 第九百三十號 第九百三十一號 第九百三十二號 第九百三十三號 第九百三十四號 第九百三十五號 第九百三十六號 第九百三十七號 第九百三十八號 第九百三十九號 第

注意

1 事故發生工作物ノ種類欄ニハ故障又ハ運轉使用ニ關スル事故ヲ生ジタル電線路ニ付架空、地中、水底ノ別及電壓ヲ記載スベシ
2 事故ノ種類欄ニハ電線接地、電線切斷、支持物倒壞、電纜破損、變壓器燒損等ノ種類ヲ記載スベシ
3 電線ノ切斷シタルトキハ其ノ電線ノ種類、太サ及碍子ノ種類(特別高壓ノモノニ限ル)ヲ備考欄ニ記載スベシ
4 支持物ノ倒壞シタルトキハ支持物ノ種類ヲ備考欄ニ記載スベシ

(第七號樣式)

收支實績書

利益ノ部

種別				自 年 月 日 至 年 月 日			自 年 月 日 至 年 月 日			自 年 月 日 至 年 月 日			備考
				金額	數量	單價	金額	數量	單價	金額	數量	單價	
電氣供給事業	電燈料	區域何店	定額料金	圓	取附數 燈	一燈一月 圓	圓		圓	圓		圓	
			從量料金		消費量 キロワット時	一キロワット時當							
			臨時料金										
			不定時料金		取附數 燈	一燈一月							
			計										
	電力料	區域何店	定額料金		取附數 キロワット	一キロワット一月							
			從量料金		消費量 キロワット時	一キロワット時當							
			臨時料金										
			不定時料金		取附數 キロワット	一キロワット一月							
			特約料金		取附數 キロワット	一キロワット一月							
			休止中料金		キロワット	一キロワット一月							
			計器損料		個	一箇一月							
			器具損料										
			小計										
			計										
	電熱	何	電熱料		取附數 キロワット	一キロワット一月							
			電扇料		取附數 臺	一臺一月							

種別				自年月日至年月日 金額	數量	單價	自年月日至年月日 金額	數量	單價	自年月日至年月日 金額	數量	單價	備考
業利益	其ノ他ノ供給料金	店區域	何々	圓		圓	圓		圓	圓		圓	
			休止中料金										
			計器損料										
			器具損料										
			小計										
		計											
	供給雜益	何店區域	諸工料										
			器具賣上益										
			雜收										
			送電線路使用料										
			配電線路使用料										
			小計										
		計											
	合計												

他事業利益	電氣鐵道收益												
	兼業收益	何業收益											
		何業收益											
		合計											
事業外經常利益	有價證券利息及配當金												
	受入利息												
	其ノ他												
	合計												
臨時利益													
總計													

損失ノ部

種別				自年月日至年月日 金額	數量	單價	自年月日至年月日 金額	數量	單價	自年月日至年月日 金額	數量	單價	備考
		（何）水	給料手當	圓	年延人員 人	一人一月 圓	圓		圓	圓		圓	
			油脂類費										

種別				自 年 月 日 至 年 月 日				自 年 月 日 至 年 月 日				自 年 月 日 至 年 月 日				備考
				金額	數量	單價		金額	數量	單價		金額	數量	單價		
電氣	發電費	水力發電所費	修繕費	圓	出力 キロワット	圓 一キロワット當		圓		圓		圓		圓		
			特別費													
			諸費													
			小計													
		(何)(貯水池)														
		(何)汽力發電所費	給料手當		年延人員 人	一人一月										
			燃料費		キログラム	一キログラム當										
			油脂類費及用水料													
			修繕費		出力 キロワット	一キロワット當										
			特別費													
			諸費													
			小計													
		(何)內燃	給料手當		年延人員 人	一人一月										
			燃料費		キログラム	一キログラム當										
供給	燃力發電所費		油脂類費													
			修繕費		出力 キロワット	一キロワット當										
			特別費													
			諸費													
			小計													
		計														
	送電費	(何)送電線路費	給料手當		年延人員 人	一人一月										
			修繕費		亘長 キロメートル	一キロメートル當										
			特別費													
			諸費													
			何々													
			小計													
		計														
	變電所	(何)變電所	給料手當		年延人員 人	一人一月										
			油脂類費													
			修繕費		出力 キロヴオルトアムペア	一キロヴオルトアムペア當										
			特別費													

種別				自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	備考
事業損益	諸費		諸費	圓		圓	圓		圓	圓		圓	
			小計										
			計										
	配電費	何店區域	給料手當		年延人員 人	一人一月							
			修繕費		延長 キロメートル	一キロメートル當							
			特別費										
			諸費										
			何々										
			小計										
			計										
	需用者屋內費	何店區域	給料手當		年延人員 人	一人一月							
			電球取換費		取換數 個	一個當							
			修繕費										
			諸費										
			小計										
			計										
	需用者屋業務費	何店區域	給料手當										
			需用開拓費										
			集金費		需用者 戶	一戶一月							
			修繕費										
			諸費										
			小計										
			計										
	以上合計												
	購入電力料	(何)受電地點			購入高キロワット(又ハ)キロワット時	一キロワット(又ハ)一キロワット時							
		(何)受電地點											
		計											
	減價	營業設備											
		發電設備											
		送電設備											
		變電設備											

種別			自 年 月 日 至 年 月 日 金額	数量	単価	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	数量	単価	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	数量	単価	備考
失	販却	配電設備	円		円	円		円	円		円	
		需用者屋内設備										
		建設利息										
		計										
	合計											
	電力費振替額(控除)											
	差引											

種別		自 年 月 日 至 年 月 日 金額	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	備考
他事業損失	電気鉄道費	円	円	円	
	兼業費 何業費				
	兼業費 何業費				
	兼業費 合計				

(中 中)

事業外・経常損	総係費	役員費							
		給料手当 金額							
		給料手当 数量	年延人員 人						
		給料手当 単価	一人一月						
		修繕費							
		保健費							
		諸費							
		減価償却							
		合計							
	営業収益税及所得税	所得税							
		営業収益税							
		合計							
	退職給与金引当								
	支払利息	社債利息							
		借入金利息							
		何々							
		合計							

種別		自至 年月日 金額	自至 年月日 金額	自至 年月日 金額	備考
失	社債発行差金及償却費				
失	雑損 電氣供給事業貸倒損				
失	雑損 其ノ他				
失	雑損 合計				
臨時損失	創業費償却				
臨時損失	固定資産偶発損				内容ヲ附記スルコト
臨時損失	何々				
臨時損失	合計				
総計					
差引純利益					
處分	法定積立金				
處分	別途積立金				
處分	何積立金				
處分	役員賞與金				
處分	配當金				拂込資本金ト ノ割合ヲ附記スルコト
處分	後期繰越利益				

注意

1 本表ノ項目ハ電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ記載スベシ

2 本表ノ「自年月日至年月日」トアルハ一年間ヲ示ス

3 金額、數量、單價ニシテ増減著シキモノハ其ノ事由ヲ附記スベシ

（第八號樣式）

電氣事業從業者職務別及兵役關係別數報告書

昭和　年十二月末日現在

事業者名													
職務		總人員數	兵役關係者										備考
			陸軍 既教育者							陸軍 未教育補充兵	海軍		
			飛行兵及氣球兵	鐵道兵	電信兵	戰車兵	自動車手	工長	其ノ他				
職員	事務												
職員	技術												
職工													
合計													

注意

1 發電所、變電所、開閉所及送電線ノ現業ニ從事スル者ニ限リ記載スベシ

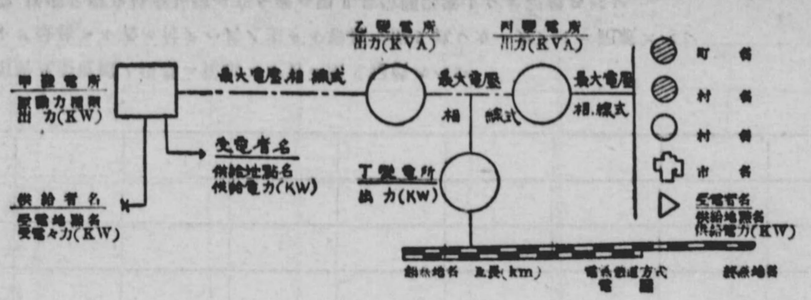
2 職員中事務ト技術トヲ兼務スル者ニ付テハ其ノ主タル職務ニ依リ執レカ一方ノミニ記載スベシ

3 歸休兵竝ニ豫備兵役、後備兵役及補充兵役ニ在ル者ニ限リ兵役關係者トシテ記載スベシ

4 各兵科ニ屬スル者ノ中自動車ノ運轉ニ關スル教育ヲ受ケタル者ハ自動車手トシテ記載スベシ

（第九號樣式）

送電系統圖



年　月　日

主任(擔當)技術者　氏　　名㊞

注意　既設又ハ工事施行認可申請中ノ事業アルトキハ第十號樣式ニ依ル圖面及附表ヲ調製シ之ニ新ニ申請セル送電系統ヲ此ノ方式ニ依リ記載スベシ

第九號樣式 第十號樣式　凡例	
記號	名稱
	交流發電機
	電動發電機
	廻轉變流機
	水銀整流器
	調相機
	變壓器バンク
	開閉器又ハ遮斷器
	蓄電池
	低壓又ハ高壓架空電線路
	低壓又ハ高壓地中(水底)電線路
	特別高壓架空電線路
	特別高壓地中(水底)電線路
	電燈電力供給區域(市)
	電燈電力供給區域(町村)
	電力供給區域(市)
	電力供給區域(町村)
	供給關係

注意

一　發電所、受電地點、變電所、供給區域等ノ關係位置ハ實際ト一致スル樣記載スベシ

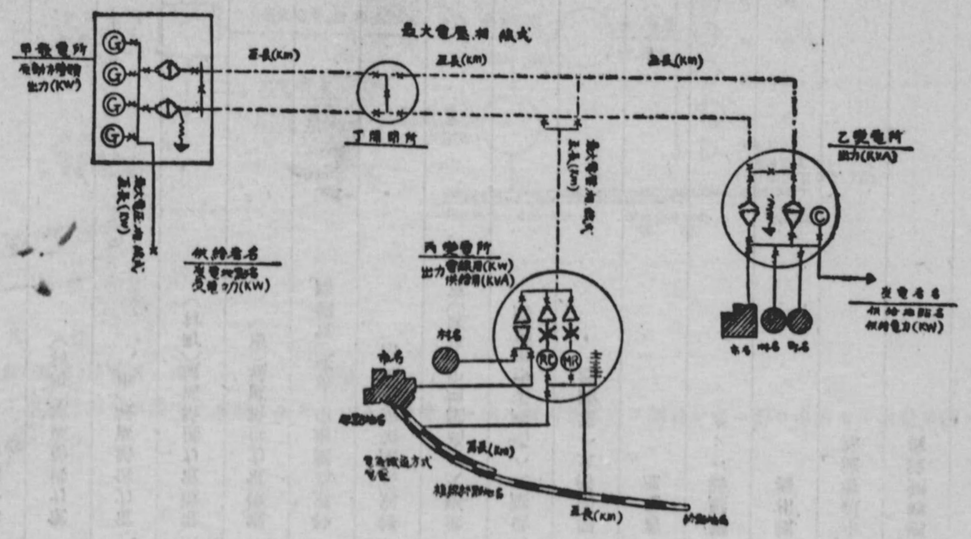
二　特別高壓電線路中三萬五千ヴォルトヲ超過スルモノハ太線、三萬五千ヴォルト以下ノモノハ細線ヲ以テ記載スベシ

三　申請又ハ屆出部分、既設部分、既許可又ハ既認可未落成部分及別途申請中部分ハ色別其ノ他ノ方法ニ依リ區別表示スベシ

（第十號様式）

送電關係一覽圖

事業者名



年　月　日

主任技術者

氏　　名　㊞

注意

別記樣式ニ依リ附表ヲ調製スベシ但シ本圖面中各設備ノ符ニ記載シ又ハ本圖面ノ餘白ニ記載シ本圖面ノ一部ヲ附表ト爲シ又ハ別ニ表ヲ附ル場合ニ於テハ其ノ事項ヲ分チ記載スルコトヲ妨ゲズ

（中　中）

送電關係一覽圖附表

發電所設備一覽

發電所名	原動力	水系及河川名	出力(KW) 最大尖頭	常時尖頭	常時	特殊	補給	豫備	發電機 種類	容量(KVA又ハkW)	電壓(V)	周波數	箇數 常用	豫備	變壓器 容量(kVA)	相	周波數	電壓(V) 一次	二次	三次	箇數 常用	豫備	備考

變電所設備一覽

變電所名	出力 供給用(kVA)	電鐵用(kW)	變壓器 容量(kVA)	相	周波數	電壓(V) 一次	二次	三次	箇數 常用	豫備	變流機又ハ電動發電機 種類	容量(kW)	電壓(V) 交流	直流	箇數 常用	豫備	調相機 種類	容量(kVA)	電壓(V)	箇數 常用	豫備	備考

送電線路一覽

送電線路名	區間	電壓(V)	亘長(km	電線又ハ電纜 種類	太サ	支持物種類	備考

注意　發電所設備又ハ變電所設備ニシテ本樣式ニ記載ナキ事項及其ノ他ノ設備ニシテ必要ト認メラルル事項ハ適宜別欄ヲ設ケ記載スベシ

受電關係一覽

供給者名	受電地點名及位置	受電電力(kW) 最大尖頭	常時尖頭	常時	特殊	補給	豫備	融通	受電時間	備考

供給關係一覽

第十一號様式 凡例

名称	記號	名称	記號
加圧給水加熱器		蒸気管	
開放式給水加熱器（水中噴気式）		復水管	
密閉式給水加熱器		水管	
蒸化器		空気管	
蒸気タービン		連結ヌ	
表面復水器		連結セズ	
蒸気噴射ポンプ		汽罐	
給水ポンプ		過熱器附汽罐	
汽罐給水予熱器		節炭器	

注意

一 蒸気管ニハ蒸気量、汽壓、汽温、蒸気ノ供給量ノ明ナルモノヲ記載スベシ

二 復水管及水管ニハ水量、水壓、水温ノ明ナルモノヲ記載スベシ

三 増設又ハ變更等ノ場合ニ於テハ其ノ部分ト既設ノ部分トヲ適宜ノ色分ヲ以テ表示スベシ

（第十一號様式）

受電者名	供給地點名及位置	供給電力 (kW) 最大尖頭	常時尖頭	常時	特殊	補給	予備	融通	供給時間	備考

発電所系統図

年 月 日

主任技術者 印 名◎

○電氣事業法第九條ニ依ル使用許可竝使用料決定申請規則

明治四十四年九月二十八日（内務大臣遞信省令第二十九號）

電氣事業法第九條ニ依ル使用許可竝使用料決定申請規則左ノ通定ム

電氣事業法第九條ニ依ル使用許可竝使用料決定申請規則

第一條 電氣事業法第九條第一項ニ依リ河川、橋梁、溝渠、道路、堤防其ノ他公共ノ用ニ供セラレタル土地使用ノ許可ヲ受ケムトスル電氣事業者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該管理者ニ提出スヘシ

一 電氣事業者名

二 使用ノ範圍（圖面添附）

三 電線路ノ種類及構造（圖面添附）

四 使用期間

五 工事ノ著手及落成期限

第二條 電氣事業法第九條第三項ニ依ル使用許可又ハ使用料決定ノ申請書ハ内務大臣及遞信大臣宛トシ地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ具備スヘシ

一 地方行政廳ニ提出セル申請書及其ノ指令書ノ謄本

二 使用ノ許可ヲ受ケムトスル場合ハ其ノ拒否處分ヲ不當トスル理由書

三 使用料ノ決定ヲ受ケムトスル場合ハ地方行政廳ノ指定シタル使用料ノ額ヲ記載セル書面竝之ヲ不當トスル理由書

本條ノ申請書ハ地方行政廳ニ於テ使用許可ノ拒否處分ヲ爲シ又ハ使用料ノ額ヲ指定シタル日ヨリ三月内ニ之ヲ提出スヘシ

○電氣事業法第十五條ニ依ル障害防止ノ施設ニ關スル件

大正八年十一月二十日（内務、農商務、遞信省令第九十一號）

電氣事業法第十五條ニ依ル障害防止ノ施設ニ關スル件左ノ通定ム

電氣事業法第十五條ニ依ル障害防止ノ施設ニ關スル件

第一條 電氣事業者及瓦斯供給事業者カ同一建造物内ニ設置スル電線ト瓦斯傳送用金屬管（以下瓦斯管ト稱ス）トハ五寸以上離隔スルコトヲ要ス

工事上前項ノ距離ヲ離隔スルコト能ハサル場合ニ於テハ電線ト瓦斯管トノ間ニ絶緣性ノ隔壁ヲ堅固ニ設クルカ又ハ一尺以上適當ノ長サヲ有スル碍管内ニ電線ヲ藏ムルコトヲ要ス

第一項ノ距離ヲ離隔シ又ハ前項ノ施設ヲ爲スハ後ニ工事ヲ爲ス者ノ義務トス其ノ同時ニ工事ヲ爲ス場合ニ於テハ當事者間ノ協議ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第二條 地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同シ）又ハ遞信局長ハ電氣事業者又ハ瓦斯供給事業者ニ對シ前條ノ規定ニ抵觸スル工作物ノ改修ヲ命スルコトヲ得

第三條 第一條第二項ノ施設及前條ノ改修工事ハ關係工作物設置者ニ通知シ其ノ立會ノ上之ヲ爲スコトヲ要ス

第一條第一項ニ依リ五寸以上三尺以内ノ距離ニ電線又ハ瓦斯管ヲ設置セムトスル工事ハ後ニ工事ヲ爲ス者ニ於テ工事著手ノ前日迄ニ工事ノ場所、日時及關係部分工事方法ノ概要ヲ關係工作物設置者ニ通知シテ之ヲ

爲スコトヲ要ス

前二項ノ施設又ハ工事ヲ爲シタル者ハ遲滯ナク其ノ旨地方長官及遞信局長ニ届出ツルコトヲ要ス

第四條 第一條第二項ノ施設及第二條ノ改修ニ要スル費用ハ後ニ工事ヲ爲シタル者ノ負擔トス其ノ同時ニ工事ヲ爲ス場合又ハ工事ノ前後不明ナル場合ニ於テハ當事者間ノ協議ニ依リ費用ヲ分擔スヘシ協議調ハサルトキハ之ヲ等分スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依ル通知若ハ届出ヲ怠リ又ハ地方長官若ハ遞信局長ノ發スル改修命令ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六條 本令ノ規定ハ建造物内ニ於テ電氣事業者以外ノ者カ强電流電線ヲ設置スル場合及瓦斯供給事業者以外ノ者カ瓦斯管ヲ設置スル場合ニ之ヲ準用ス

○電氣事業會計規程

昭和七年十一月二十一日　遞信省令第五十五號

第一條 電氣事業法第一條第一號及第三號ノ事業（以下電氣供給事業ト稱ス）ノ會計ハ本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ整理スヘシ但シ特別ノ事由アル場合ハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ本令ノ定ムル所ニ依ラザルコトヲ得

第二條 電氣供給事業ノ事業年度ハ一年又ハ六月トス

第三條 電氣供給事業ノ計算ハ別表ニ定ムル勘定科目ニ準ジテ之ヲ區分整理スヘシ

第四條 電氣供給事業者ハ別表ニ定ムル樣式ニ準ジ貸借對照表、損益計算書及利益處分書ヲ作成シテ遞信大臣ニ提出スヘシ

第五條 財產目錄ニ記載スル固定資產及貯藏品ノ價額ハ取得價額又ハ製作價額ヲ超ユルコトヲ得ズ

固定資產ノ減損額ハ之ヲ取得價額又ハ製作價額ヨリ控除スルコトヲ要ス但シ減損額ノ控除ニ代ヘテ之ニ相當スル銷却引當金ヲ計上スルコトヲ得

第六條 商法第百九十六條ノ規定ニ依リ配當シタル利息及事業擴張ノ場合ニ於ケル電氣工作物施設ノ費用ニ充テタル社債又ハ借入金ノ當該工作物ノ使用開始前ニ屬スル利息ハ建設利息トシテノミ之ヲ貸借對照表上資產ニ計上スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該資金ヲ以テ施設シタル工作物ノ耐用年限内ニ之ヲ銷却スルコトヲ要ス

第七條 電氣工作物使用開始前ニ於ケル雜收入ハ之ヲ前條ノ利息配當及社債又ハ借入金ノ利息支拂ニ充當スヘシ

前項ノ規定ニ依リ利息配當及利息支拂ニ充當シタル金額ハ之ヲ建設利息ニ算入スルコトヲ得ズ

第八條 資本減少ニ因リテ生ズル差益金ハ缺損ノ塡補又ハ資產價額ノ銷却ニ充當スルノ外之ヲ處分スルコトヲ得ズ

第九條 社債ヲ發行シタル場合ニ於テ社債總額ト會社ノ手取額トノ差額ハ之ヲ貸借對照表上資產ニ計上スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ差額ハ之ヲ當該社債ノ償還期限内ニ每決算期ニ於テ均等額以上ノ銷却ヲ爲スコトヲ要ス

第十條 電氣ノ需用者ヨリ工事ニ關スル寄附ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ハ利益トシテ之ヲ處分スルコトヲ得ズ

第十一條 建設及營業ニ關聯スル費用ハ當該事業年度ニ於ケル建設費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スヘシ但シ全部ヲ營業費ニ算入スルコトヲ妨ゲズ

第十二條 電氣供給事業者ガ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於テ電氣供給事業及他

ノ事業ニ關スル費用又ハ各事業費（繰延費ヲ除ク）ハ當該事業年度ニ於ケル事業費又ハ各事業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ

電氣供給事業及他ノ事業ノ兼業及各事業ニ關スル費用ハ當該事業年度ニ於ケル兼業費及各事業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ但シ全部ヲ各事業費ニ算入スルコトヲ妨ゲズ

他ノ事業ノ兼業及各事業ニ關スル費用ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和七年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和八年十一月三十日ヲ含ム事業年度ノ末日迄ハ第三條及第四條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

本令施行前ノ最終ノ財産目錄ニ掲ゲタル固定資産及貯藏品ニ附シタル價額ハ之ヲ取得價額又ハ製作價額トシ看做ス

別表第一

第三條ノ規定ニ依ル勘定科目

一　資　産　ノ　部

株式勘定

科目	款	項	目	摘要
未拂込資本金				種別整理

固定資産

科目	款	項	目	摘要
營業設備	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理
		用地		本店、支店、營業所、出張所、派出所、數宿所等各別整理 登錄稅、取得稅、周旋料、補償費、整地費等ヲ含ム
			事務所用地	倉庫、社宅、修繕工場、試驗所其ノ他ノ用地
			附屬用地	事務所用地ト區分シ難キ場合ハ「事務所用地」ニテ整理ス 倉庫、社宅等ノ用地ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
			雜係	
		建物		本店、支店、營業所、出張所、派出所、數宿所等各別整理 登錄稅、取得稅、基礎工事費、諸裝置費等ヲ含ム
			事務所建物	倉庫、社宅、修繕工場、試驗所其ノ他ノ建物
			附屬建物	事務所建物ト區分シ難キ場合ハ「事務所建物」ニテ整理ス
			雜係	倉庫、社宅等ノ建物ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
		備品		相當耐用年限ヲ有スルモノ但シ價額小ナルモノハ消耗品トス 本店、支店、營業所、出張所、派出所、數宿所等各別整理
			機器	
			電話機	
			工具	
			諸車	
			什器	
發電設備	（何）水力發電所			附屬變電設備ヲ含ム
		水利費		
			出願費	
			補償費	
		用地		登錄稅、取得稅、周旋料、補償費、整地費等ヲ含ム
			發電所用地	

科目	款	項	目	解疏
			附屬用地	事務所、社宅、倉庫其ノ他ノ用地 發電所用地ト區分シ難キ場合ハ「發電所用地」ニテ整理ス 事務所、社宅等ノ用地ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
			水路用地	水路附屬地ヲ含ム
			調整池又ハ貯水池用地	
			雜係	
		建物		登錄稅、取得稅、基礎工事費、諸裝置費等ヲ含ム
			發電所建物	建物基礎ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス 機械基礎ガ建物基礎ト區分シ難キ場合ハ建物基礎ニテ整理ス
			附屬建物	事務所、社宅、倉庫其ノ他ノ建物(水路、調整池又ハ貯水池用諸建物ヲ含ム) 發電所建物ト區分シ難キ場合ハ「發電所建物」ニテ整理ス 事務所、社宅等ノ建物ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
			屋外鐵構	
			雜係	
		水路		調整又ハ貯水ヲ爲ス堰堤(可動堰ヲ含ム)ハ「調整池又ハ貯水池」トシテ整理ス
			堰堤	附屬流木路、舟筏路、魚道等ヲ含ム、此等ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス

			可動堰	捲揚機、附屬機械器具等ヲ含ム
			取水口	
			開渠	
			蓋渠	
			隧道	
			水路橋	
			水路管	
			樋	
			沈砂池	
			水槽	
			餘水路	
			水壓管路	制水瓣ヲ含ム
			放水路	
			土捨場	用地ヲ含マズ
			雜工事	
			雜係	
		調整池又ハ貯水池		各別整理 一發電所ニ隷屬セザルモノハ「款」ニテ整理ス
			堰堤	
			可動堰	捲揚機、附屬機械器具等ヲ含ム

科目	款	項	目	解疏
			魚道	
			流木路	
			舟筏路	
			側面及底面工事	
			雜工事	
			雜係	
		機械器具		
			水車	調速機、水壓調整機、勵磁機用水車等ヲ含ム
			發電機	勵磁機ヲ含ム
			主要變壓器	
			配電盤及開閉裝置	母線、電纜等ヲ含ム
			諸機械器具	起重機、避雷器、變壓器、蓄電池、「パイピング」類等
			基礎	機械基礎
			運搬費	
			据附費	
			雜係	
		雜設備		

			通信及電燈電力設備	發電所、事務所、社宅、水路、調整池又ハ貯水池用
			運材設備	「堰堤」「流木路」又ハ「舟筏路」ニテ整理シ得ザルモノ
			何々	
		備品		「營業設備」ノ「備品」ニ準ズ
		總係費		
			測量費	設計費ヲ含ム
			監督費	
			補償費	「水利費」及「用地」ニ含マレザルモノ
			假設備費	工事用動力及運搬設備、「セメント」小屋其ノ他一時的ノモノ
			雜係	
	（何） （貯水池） （何） 汽力發電所			內譯ハ「水力發電所」ノ「項、目」ニ準ズ
				附屬變電設備ヲ含ム
		用地		登錄稅、取得稅、周旋料、補償費、整地費等ヲ含ム
			發電所用地	事務所、社宅、倉庫其ノ他ノ用地
			附屬用地	發電所用地ト區分シ難キ場合ハ「發電所用地」ニテ整理ス
			雜係	事務所、社宅等ノ用地ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
		建物		登錄稅、取得稅、基礎工事費、諸裝置費等ヲ含ム
			發電所建物	建物基礎ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス 汽罐及機械ノ基礎ガ建物基礎ト區分シ難キ場合ハ建物基礎ニテ整理ス
			附屬建物	事務所、社宅、倉庫其ノ他ノ建物 發電所建物ト區分シ難キ場合ハ「發電所建物」ニテ整理ス

科目	款	項	目	解疏
				事務所、社宅等ノ建物ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
			屋外鐵構	運炭裝置ニ屬スル鐵構ヲ含マズ
			雜係	
		蒸汽發生設備		
			汽罐	火爐、過熱器等ヲ含ム
			給炭機	自動燃燒制御裝置ヲ含ム
			微粉炭燃燒裝置	同
			節炭器	
			空氣豫熱器	
			溫水及淨水裝置	
			汽罐給水「ポンプ」	原動機、「タンク」、附屬機器等ヲ含ム
			汽管及水管	「バルブ」及附屬機器ヲ含ム
			通風裝置	
			煙突及煙道	集塵裝置ヲ含ム
			運炭及灰捨裝置	岸壁工事ヲ含ム
			諸機械器具	
			基礎	汽罐及機械基礎
			運搬費	
			据附費	
			雜係	
		電氣發生設備		電氣鐵道用電動發電機、迴轉變流機、水銀整流器等アラバ夫々「目」ヲ設ケ整理ス
			汽機	
			發電機	勵磁機ヲ含ム
			復水器	附屬機器及管類ヲ含ム
			所內用汽機發電機及復水器	勵磁機及復水器附屬機器ヲ含ム
			主要變壓器	
			配電盤及開閉裝置	母線、電纜等ヲ含ム
			諸機械器具	起重機、避雷器、變壓器、蓄電池等
			基礎	機械基礎
			運搬費	
			据附費	
			雜係	
		冷却及水道設備		
			冷却用水設備	取水口、水路、冷却池、冷却塔、除芥機、鐵管、附屬機器等
			貯水池	
			水道	井戶、附屬機器等ヲ含ム
			雜係	
		雜設備		

科目	款	項	目	摘要
			運搬設備	鐵道、船舶等 此等ハ必要ニ應ジ「項」ヲ設ケ整理ス
			修繕及試驗裝置	
			何々	
		備品		「營業設備」ノ「備品」ニ準ズ
		總係費		
			測量費	設計費ヲ含ム
			監督費	
			假設備費	工事用動力及運搬設備其ノ他一時的ノモノ
			雜係	
	(何) 內燃力發電所			附屬變電設備ヲ含ム
		用地		登錄稅、取得稅、周旋料、補償費、整地費等ヲ含ム
			發電所用地	
			附屬用地	事務所、社宅、倉庫其ノ他ノ用地 發電所用地ト區分シ難キ場合ハ「發電所用地」ニテ整理ス
			雜係	事務所、社宅等ノ用地ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
		建物		登錄稅、取得稅、基礎工事費、諸裝置費等ヲ含ム
			發電所建物	
			附屬建物	事務所、社宅、倉庫其ノ他ノ建物 發電所建物ト區分シ難キ場合ハ「發電所建物」ニテ整理ス
			屋外鐵構	事務所、社宅等ノ建物ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
			雜係	
		機械器具		電氣鐵道用電動發電機、廻轉變流機、水銀整流器等アラバ夫々「目」ヲ設ケ整理ス
			瓦斯發生器	瓦斯洗滌裝置ヲ含ム
			瓦斯溜又ハ貯油槽	
			內燃機	消音器、煙突等ヲ含ム
			發電機	勵磁機ヲ含ム
			主要變壓器	
			配電盤及開閉裝置	母線、電纜等ヲ含ム
			冷却用水設備	貯水池、冷却池、冷却塔、水道、井戸等
			諸機械器具	起重機、避雷器、變壓器、蓄電池、「ポンプ」類等
			基礎	機械基礎
			運搬費	
			据附費	
			雜係	
		雜設備		
		備品		「營業設備」ノ「備品」ニ準ズ
		總係費		
送電設備				
	(何) 送電線路 何……何間			
		用地		登錄稅、取得稅、周旋料、補償費、整地費等ヲ含ム

科目	款	項	目	解疏
			線路用地	
			開閉所用地	
			附屬用地	保線所(散宿所又ハ監守所)其ノ他ノ送電關係ノ用地
			雜係	
		建物		登錄稅、取得稅、基礎工事費、諸裝置費等ヲ含ム
			諸建物	開閉所、保線所(散宿所又ハ監守所)其ノ他ノ送電關係ノ建物
			雜係	
		架空電線路		基礎工事費、建柱費、裝柱費、架線費、伐採及踏荒補償費等ヲ含ム但シ架線費ハ別ニ「目」ヲ設ケ整理スルモ可ナリ
			鐵塔	
			鐵柱	支線ヲ含ム
			鐵筋「コンクリート」柱	腕木、腕金、支線等ヲ含ム
			木柱	同
			碍子	
			電線	
			地線	
			保安及開閉裝置	保護線、開閉器等
			添架電話線	
			(架線費)	伐採及踏荒補償費ヲ含ム

			補償費	前各「目」ニ屬セザル補償費
			雜係	
		地中電線路		水底電線路ヲ含ム
			管路	「マンホール」ヲ含ム
			電纜	
			電話電纜	
			雜係	
		開閉所		各別整理
			屋外鐵構	
			開閉裝置	配電盤、母線等ヲ含ム
			諸機械器具	
			雜係	
		獨立電話線路		
			支持物	腕木、腕金、碍子等ヲ含ム
			電線	
			電纜	
			雜係	
		備品		「營業設備」ノ「備品」ニ準ズ
		總係費		
			測量費	設計費ヲ含ム

科目	款	項	目	解疏
			監督費	
			何々	
			雜係	
變電設備	(何)變電所			
		用地		登錄稅、取得稅、周旋料、補償費、整地費等ヲ合ム
			變電所用地	事務所、社宅、倉庫其ノ他ノ用地 變電所用地ト區分シ難キ場合ハ「變電所用地」ニテ整理ス 事務所、社宅等ノ用地ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
			附屬用地	
			雜係	
		建物		登錄稅、取得稅、基礎工事費、諸裝置費等ヲ合ム
			變電所建物	事務所、社宅、倉庫其ノ他ノ建物 變電所建物ト區分シ難キ場合ハ「變電所建物」ニテ整理ス 事務所、社宅等ノ建物ハ必要ニ應ジ「目」ヲ設ケ整理ス
			附屬建物	
			屋外鐵構	
			雜係	
		機械器具		
			主要變壓器	
			調相機	
			周波數變換機	

(七七)

(七七)

科目	款	項	目	解疏
			電壓調整器	
			電動發電機	電氣鐵道用
			廻轉變流機	專用變壓器及電壓調整器ヲ合ム
			水銀整流器	同
			冷却用水設備	
			配電盤及開閉裝置	母線、電纜等ヲ合ム
			諸機械器具	起重機、避雷器、變壓器、蓄電池等
			基礎	機械基礎
			運搬費	
			据附費	
			雜係	
		備品		「營業設備」ノ「備品」ニ準ズ
		總係費		
	(何)受電所			獨立セルモノ 內譯ハ「變電所」ノ「項、目」ニ準ズ
配電設備				
	本何支店(又ハ何所)			本店、支店等營業單位別整理
		架空配電線路		建柱費、裝柱費、架線費、伐採及踏荒補償費等ヲ合ム但シ架線費ハ別ニ「目」ヲ設ケ整理スルモ可ナリ 電線、變壓器、引込線ニシテ電力用ノモノヲ區分シ難キ場合ハ電線、變壓器、引込線ニ夫々併合整理ス
			支持物	腕木、腕金、碍子等ヲ合ム
			電線	

科目	款	項	目	解疏
			電力用電線	
			變壓器	
			電力用變壓器	
			保安及開閉裝置	避雷器、「ケツチホルダー」、接地裝置、保護線、開閉器等
			引込線	
			電力用引込線	
			添架電話線	獨立電話線アル場合ハ「送電線路」ノ「獨立電話線路」ニ準ズ
			(架線費)	伐採及路荒補償費ヲ含ム
			雜係	
		地中配電線路		水底配電線路ヲ含ム
			電纜	電纜、變壓器、引込線ニシテ電力用ノモノヲ區分シ難キ場合ハ電纜、變壓器、引込線ニ夫々併合整理ス
			電力用電纜	
			變壓器	
			電力用變壓器	
			保安及開閉裝置	變壓塔、接地裝置等ヲ含ム
			引込線	
			電力用引込線	

(中略)

			雜係	
		特約供給配電線路		特約電力專用線(變電設備所アラバ之ヲ含ム) 各別整理
需用者屋內設備				內譯ハ「送電線路」ニ準ズ
	本店(又ハ何所) 何支店			本店、支店等營業單位別整理
		配線		電燈、電力、電熱用配線ニシテ各ニ區分シ難キ場合ハ夫々併合整理ス
			電燈用配線	「ソケツト」、反射笠等ヲ含ム
			電力用配線	
			電熱用配線	
		器具		
			電球	
			計器	
			電熱器	
			扇風機	
			電動機	
			諸機械器具	變壓器其ノ他
電氣鐵道設備				電氣鐵道用ノ固定資產
何業設備				當該事業用ノ固定資產
建設工事假勘定				建設又ハ改良工事ニ對スル假勘定ニシテ費額確定セバ各相當科目ニ振替整理ス
	工事別			工事別ノ單位ハ固定資產ノ「款」ニ準ズ 內譯ハ固定資產ノ「項、目」ニ準ズ

科目	款	項	目	解疏
建設利息				商法第百九十六條ノ規定ニ依リ配當シタル利息及事業ノ擴張工事ニ充テタル社債又ハ借入金ノ當該工作物使用開始前ニ屬スル利息 內譯ハ固定資產ノ「科目、款」ニ準ズ

投資

科目	款	項	目	解疏
關係會社有價證券				資本ノ大部分ノ所有ニ依リ支配シ得ル關係ニアルモノハ勿論其ノ投資ガ事業經營ニ緊密ナル關係ニアルモノヲ含ム 有價證券中貸付、保證差入レ等ノモノアル場合ハ之ヲ明カナラシムルコト
	會社別			
		株式		種別整理
		社債		同
關係會社貸付金				
	會社別			
		證書貸付		
		手形貸付		
不動產				事業本來ノ目的ヲ以テ所有スルモノニ非ザルモノ 種別整理

特定資產（事業ノ所有ニ屬スルモ直接營業ニ使用セズシテ特殊ノ目的ニノミ利用スベク區別シタル場合ニ設定スベキモノトス　共ノ科目ハ用途別及投資別ヲ示スコト）

科目	款	項	目	解疏
何見返預金				內譯ハ流動資產ノ「預金」ニ準ズ
何見返有價證券				內譯ハ流動資產ノ「有價證券」ニ準ズ

流動資產

科目	款	項	目	解疏
貯藏品				工事用品若ハ事務用品タルヲ問ハズ又賣却セラルル物品ヲモ含ム 附帶業務トシテ大規模ニ電氣器具ノ販賣ヲ爲ス場合ノ賣店商品ハ別ニ「項」ヲ設ケ整理ス
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理
		供給事業用		品別整理
		（賣店商品）		同
		電氣鐵道事業用		
		何事業用		
事業未收入金	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理

科目	款	項	目	解疏
		電燈料		
		電力料		
		電熱其ノ他ノ供給料金		
		供給雜益		
		電氣鐵道收益		
		何業收益		
諸未收入金				事業外ノモノ 件名別整理
有價證券				所有有價證券、但シ關係會社投資及確定資產ハ之ヲ除ク 貸付、保證差入レ等ノモノアル場合ハ之ヲ明カナラシムルコト
	公債			種別整理
	社債			同
	株式			同
貸付金				關係會社貸付金及社內貸付金ハ之ヲ除ク
	證書貸付			人名別整理
	手形貸付			同
受取手形				
預金	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理 人名別整理
				特定資產ヲ除ク
				本店、支店等營業單位別整理
現金	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理

繰延勘定

科目	款	項	目	解疏
社內貸付金				役員又ハ職員ニ對スル貸付金ニシテ立替金ヲモ含ム 人名別整理
假拂金				歸屬スル勘定又ハ金額ノ確定セザル支拂額
前拂金	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理 件名別整理
	本何支店（又ハ何所）			次事業年度以降ノ損失トシテ繰延タルモノ 本店、支店等營業單位別整理 件名別整理
社債差金及發行費				社債總額ト手取額トノ差額 發行別整理
創業費				會社設立ノ爲ニ支出シタル稅額ヲ含ム
假受有價證券	借入有價證券			
	預リ有價證券			

附則 第四條 第五條 第六條 第七條 第八條 第九條 第十條 第十一條 第十二條 第十三條 第十四條 第十五條 第十六條 第十七條 第十八條 第十九條 第二十條 第二十一條 第二十二條 第二十三條 第二十四條 第二十五條 第二十六條 第二十七條 第二十八條 第二十九條 第三十條 第三十一條 第三十二條 第三十三條 第三十四條 第三十五條 第三十六條 第三十七條 第三十八條 第三十九條 第四十條 第四十一條 第四十二條 第四十三條 第四十四條 第四十五條 第四十六條 第四十七條 第四十八條 第四十九條 第五十條 第五十一條 第五十二條 第五十三條 第五十四條 第五十五條 第五十六條 第五十七條 第五十八條 第五十九條 第六十條 第六十一條 第六十二條 第六十三條 第六十四條 第六十五條 第六十六條 第六十七條 第六十八條 第六十九條 第七十條 第七十一條 第七十二條 第七十三條 第七十四條 第七十五條 第七十六條 第七十七條 第七十八條 第七十九條 第八十條 第八十一條 第八十二條 第八十三條 第八十四條 第八十五條 第八十六條 第八十七條 第八十八條 第八十九條 第九十條 第九十一條 第九十二條 第九十三條 第九十四條 第九十五條 第九十六條 第九十七條 第九十八條 第九十九條 第百條 第百一條 第百二條 第百三條 第百四條 第百五條 第百六條 第百七條 第百八條 第百九條 第百十條 第百十一條 第百十二條 第百十三條 第百十四條 第百十五條 第百十六條 第百十七條 第百十八條 第百十九條 第百二十條 第百二十一條 第百二十二條 第百二十三條 第百二十四條 第百二十五條 第百二十六條 第百二十七條 第百二十八條 第百二十九條 第百三十條 第百三十一條 第百三十二條 第百三十三條 第百三十四條 第百三十五條 第百三十六條 第百三十七條 第百三十八條 第百三十九條 第百四十條 第百四十一條 第百四十二條 第百四十三條 第百四十四條 第百四十五條 第百四十六條 第百四十七條 第百四十八條 第百四十九條 第百五十條 第百五十一條 第百五十二條 第百五十三條 第百五十四條 第百五十五條 第百五十六條 第百五十七條 第百五十八條 第百五十九條 第百六十條 第百六十一條 第百六十二條 第百六十三條 第百六十四條 第百六十五條 第百六十六條 第百六十七條 第百六十八條 第百六十九條 第百七十條 第百七十一條 第百七十二條 第百七十三條 第百七十四條 第百七十五條 第百七十六條 第百七十七條 第百七十八條 第百七十九條 第百八十條 第百八十一條 第百八十二條 第百八十三條 第百八十四條 第百八十五條 第百八十六條 第百八十七條 第百八十八條 第百八十九條 第百九十條 第百九十一條 第百九十二條 第百九十三條 第百九十四條 第百九十五條 第百九十六條 第百九十七條 第百九十八條 第百九十九條 第二百條 第二百一條 第二百二條 第二百三條 第二百四條 第二百五條 第二百六條 第二百七條 第二百八條 第二百九條 第二百十條 第二百十一條 第二百十二條 第二百十三條 第二百十四條 第二百十五條 第二百十六條 第二百十七條 第二百十八條 第二百十九條 第二百二十條 第二百二十一條 第二百二十二條 第二百二十三條 第二百二十四條 第二百二十五條 第二百二十六條 第二百二十七條 第二百二十八條 第二百二十九條 第二百三十條 第二百三十一條 第二百三十二條 第二百三十三條 第二百三十四條 第二百三十五條 第二百三十六條 第二百三十七條 第二百三十八條 第二百三十九條 第二百四十條 第二百四十一條 第二百四十二條 第二百四十三條 第二百四十四條 第二百四十五條 第二百四十六條 第二百四十七條 第二百四十八條 第二百四十九條 第二百五十條 第二百五十一條 第二百五十二條 第二百五十三條 第二百五十四條 第二百五十五條 第二百五十六條 第二百五十七條 第二百五十八條 第二百五十九條 第二百六十條 第二百六十一條 第二百六十二條 第二百六十三條 第二百六十四條 第二百六十五條 第二百六十六條 第二百六十七條 第二百六十八條 第二百六十九條 第二百七十條 第二百七十一條 第二百七十二條 第二百七十三條 第二百七十四條 第二百七十五條 第二百七十六條 第二百七十七條 第二百七十八條 第二百七十九條 第二百八十條 第二百八十一條 第二百八十二條 第二百八十三條 第二百八十四條 第二百八十五條 第二百八十六條 第二百八十七條 第二百八十八條 第二百八十九條 第二百九十條 第二百九十一條 第二百九十二條 第二百九十三條 第二百九十四條 第二百九十五條 第二百九十六條 第二百九十七條 第二百九十八條 第二百九十九條 第三百條 第三百一條 第三百二條 第三百三條 第三百四條 第三百五條 第三百六條 第三百七條 第三百八條 第三百九條 第三百十條 第三百十一條 第三百十二條 第三百十三條 第三百十四條 第三百十五條 第三百十六條 第三百十七條 第三百十八條 第三百十九條 第三百二十條 第三百二十一條 第三百二十二條 第三百二十三條 第三百二十四條 第三百二十五條 第三百二十六條 第三百二十七條 第三百二十八條 第三百二十九條 第三百三十條 第三百三十一條 第三百三十二條 第三百三十三條 第三百三十四條 第三百三十五條 第三百三十六條 第三百三十七條 第三百三十八條 第三百三十九條 第三百四十條 第三百四十一條 第三百四十二條 第三百四十三條 第三百四十四條 第三百四十五條 第三百四十六條 第三百四十七條 第三百四十八條 第三百四十九條 第三百五十條 第三百五十一條 第三百五十二條 第三百五十三條 第三百五十四條 第三百五十五條 第三百五十六條 第三百五十七條 第三百五十八條 第三百五十九條 第三百六十條 第三百六十一條 第三百六十二條 第三百六十三條 第三百六十四條 第三百六十五條 第三百六十六條 第三百六十七條 第三百六十八條 第三百六十九條 第三百七十條 第三百七十一條 第三百七十二條 第三百七十三條 第三百七十四條 第三百七十五條 第三百七十六條 第三百七十七條 第三百七十八條 第三百七十九條 第三百八十條 第三百八十一條 第三百八十二條 第三百八十三條 第三百八十四條 第三百八十五條 第三百八十六條 第三百八十七條 第三百八十八條 第三百八十九條 第三百九十條 第三百九十一條 第三百九十二條 第三百九十三條 第三百九十四條 第三百九十五條 第三百九十六條 第三百九十七條 第三百九十八條 第三百九十九條 第四百條 第四百一條 第四百二條 第四百三條 第四百四條 第四百五條 第四百六條 第四百七條 第四百八條 第四百九條 第四百十條 第四百十一條 第四百十二條 第四百十三條 第四百十四條 第四百十五條 第四百十六條 第四百十七條 第四百十八條 第四百十九條 第四百二十條 第四百二十一條 第四百二十二條 第四百二十三條 第四百二十四條 第四百二十五條 第四百二十六條 第四百二十七條 第四百二十八條 第四百二十九條 第四百三十條 第四百三十一條 第四百三十二條 第四百三十三條 第四百三十四條 第四百三十五條 第四百三十六條 第四百三十七條 第四百三十八條 第四百三十九條 第四百四十條 第四百四十一條 第四百四十二條 第四百四十三條 第四百四十四條 第四百四十五條 第四百四十六條 第四百四十七條 第四百四十八條 第四百四十九條 第四百五十條 第四百五十一條 第四百五十二條 第四百五十三條 第四百五十四條 第四百五十五條 第四百五十六條 第四百五十七條 第四百五十八條 第四百五十九條 第四百六十條 第四百六十一條 第四百六十二條 第四百六十三條 第四百六十四條 第四百六十五條 第四百六十六條 第四百六十七條 第四百六十八條 第四百六十九條 第四百七十條 第四百七十一條 第四百七十二條 第四百七十三條 第四百七十四條 第四百七十五條 第四百七十六條 第四百七十七條 第四百七十八條 第四百七十九條 第四百八十條 第四百八十一條 第四百八十二條 第四百八十三條 第四百八十四條 第四百八十五條 第四百八十六條 第四百八十七條 第四百八十八條 第四百八十九條 第四百九十條 第四百九十一條 第四百九十二條 第四百九十三條 第四百九十四條 第四百九十五條 第四百九十六條 第四百九十七條 第四百九十八條 第四百九十九條 第五百條 第五百一條 第五百二條 第五百三條 第五百四條 第五百五條 第五百六條 第五百七條 第五百八條 第五百九條 第五百十條 第五百十一條 第五百十二條 第五百十三條 第五百十四條 第五百十五條 第五百十六條 第五百十七條 第五百十八條 第五百十九條 第五百二十條 第五百二十一條 第五百二十二條 第五百二十三條 第五百二十四條 第五百二十五條 第五百二十六條 第五百二十七條 第五百二十八條 第五百二十九條 第五百三十條 第五百三十一條 第五百三十二條 第五百三十三條 第五百三十四條 第五百三十五條 第五百三十六條 第五百三十七條 第五百三十八條 第五百三十九條 第五百四十條 第五百四十一條 第五百四十二條 第五百四十三條 第五百四十四條 第五百四十五條 第五百四十六條 第五百四十七條 第五百四十八條 第五百四十九條 第五百五十條 第五百五十一條 第五百五十二條 第五百五十三條 第五百五十四條 第五百五十五條 第五百五十六條 第五百五十七條 第五百五十八條 第五百五十九條 第五百六十條 第五百六十一條 第五百六十二條 第五百六十三條 第五百六十四條 第五百六十五條 第五百六十六條 第五百六十七條 第五百六十八條 第五百六十九條 第五百七十條 第五百七十一條 第五百七十二條 第五百七十三條 第五百七十四條 第五百七十五條 第五百七十六條 第五百七十七條 第五百七十八條 第五百七十九條 第五百八十條 第五百八十一條 第五百八十二條 第五百八十三條 第五百八十四條 第五百八十五條 第五百八十六條 第五百八十七條 第五百八十八條 第五百八十九條 第五百九十條 第五百九十一條 第五百九十二條 第五百九十三條 第五百九十四條 第五百九十五條 第五百九十六條 第五百九十七條 第五百九十八條 第五百九十九條 第六百條 第六百一條 第六百二條 第六百三條 第六百四條 第六百五條 第六百六條 第六百七條 第六百八條 第六百九條 第六百十條 第六百十一條 第六百十二條 第六百十三條 第六百十四條 第六百十五條 第六百十六條 第六百十七條 第六百十八條 第六百十九條 第六百二十條 第六百二十一條 第六百二十二條 第六百二十三條 第六百二十四條 第六百二十五條 第六百二十六條 第六百二十七條 第六百二十八條 第六百二十九條 第六百三十條 第六百三十一條 第六百三十二條 第六百三十三條 第六百三十四條 第六百三十五條 第六百三十六條 第六百三十七條 第六百三十八條 第六百三十九條 第六百四十條 第六百四十一條 第六百四十二條 第六百四十三條 第六百四十四條 第六百四十五條 第六百四十六條 第六百四十七條 第六百四十八條 第六百四十九條 第六百五十條 第六百五十一條 第六百五十二條 第六百五十三條 第六百五十四條 第六百五十五條 第六百五十六條 第六百五十七條 第六百五十八條 第六百五十九條 第六百六十條 第六百六十一條 第六百六十二條 第六百六十三條 第六百六十四條 第六百六十五條 第六百六十六條 第六百六十七條 第六百六十八條 第六百六十九條 第六百七十條 第六百七十一條 第六百七十二條 第六百七十三條 第六百七十四條 第六百七十五條 第六百七十六條 第六百七十七條 第六百七十八條 第六百七十九條 第六百八十條 第六百八十一條 第六百八十二條 第六百八十三條 第六百八十四條 第六百八十五條 第六百八十六條 第六百八十七條 第六百八十八條 第六百八十九條 第六百九十條 第六百九十一條 第六百九十二條 第六百九十三條 第六百九十四條 第六百九十五條 第六百九十六條 第六百九十七條 第六百九十八條 第六百九十九條 第七百條 第七百一條 第七百二條 第七百三條 第七百四條 第七百五條 第七百六條 第七百七條 第七百八條 第七百九條 第七百十條 第七百十一條 第七百十二條 第七百十三條 第七百十四條 第七百十五條 第七百十六條 第七百十七條 第七百十八條 第七百十九條 第七百二十條 第七百二十一條 第七百二十二條 第七百二十三條 第七百二十四條 第七百二十五條 第七百二十六條 第七百二十七條 第七百二十八條 第七百二十九條 第七百三十條 第七百三十一條 第七百三十二條 第七百三十三條 第七百三十四條 第七百三十五條 第七百三十六條 第七百三十七條 第七百三十八條 第七百三十九條 第七百四十條 第七百四十一條 第七百四十二條 第七百四十三條 第七百四十四條 第七百四十五條 第七百四十六條 第七百四十七條 第七百四十八條 第七百四十九條 第七百五十條 第七百五十一條 第七百五十二條 第七百五十三條 第七百五十四條 第七百五十五條 第七百五十六條 第七百五十七條 第七百五十八條 第七百五十九條 第七百六十條 第七百六十一條 第七百六十二條 第七百六十三條 第七百六十四條 第七百六十五條 第七百六十六條 第七百六十七條 第七百六十八條 第七百六十九條 第七百七十條 第七百七十一條 第七百七十二條 第七百七十三條 第七百七十四條 第七百七十五條 第七百七十六條 第七百七十七條 第七百七十八條 第七百七十九條 第七百八十條 第七百八十一條 第七百八十二條 第七百八十三條 第七百八十四條 第七百八十五條 第七百八十六條 第七百八十七條 第七百八十八條 第七百八十九條 第七百九十條 第七百九十一條 第七百九十二條 第七百九十三條 第七百九十四條 第七百九十五條 第七百九十六條 第七百九十七條 第七百九十八條 第七百九十九條 第八百條 第八百一條 第八百二條 第八百三條 第八百四條 第八百五條 第八百六條 第八百七條 第八百八條 第八百九條 第八百十條 第八百十一條 第八百十二條 第八百十三條 第八百十四條 第八百十五條 第八百十六條 第八百十七條 第八百十八條 第八百十九條 第八百二十條 第八百二十一條 第八百二十二條 第八百二十三條 第八百二十四條 第八百二十五條 第八百二十六條 第八百二十七條 第八百二十八條 第八百二十九條 第八百三十條 第八百三十一條 第八百三十二條 第八百三十三條 第八百三十四條 第八百三十五條 第八百三十六條 第八百三十七條 第八百三十八條 第八百三十九條 第八百四十條 第八百四十一條 第八百四十二條 第八百四十三條 第八百四十四條 第八百四十五條 第八百四十六條 第八百四十七條 第八百四十八條 第八百四十九條 第八百五十條 第八百五十一條 第八百五十二條 第八百五十三條 第八百五十四條 第八百五十五條 第八百五十六條 第八百五十七條 第八百五十八條 第八百五十九條 第八百六十條 第八百六十一條 第八百六十二條 第八百六十三條 第八百六十四條 第八百六十五條 第八百六十六條 第八百六十七條 第八百六十八條 第八百六十九條 第八百七十條 第八百七十一條 第八百七十二條 第八百七十三條 第八百七十四條 第八百七十五條 第八百七十六條 第八百七十七條 第八百七十八條 第八百七十九條 第八百八十條 第八百八十一條 第八百八十二條 第八百八十三條 第八百八十四條 第八百八十五條 第八百八十六條 第八百八十七條 第八百八十八條 第八百八十九條 第八百九十條 第八百九十一條 第八百九十二條 第八百九十三條 第八百九十四條 第八百九十五條 第八百九十六條 第八百九十七條 第八百九十八條 第八百九十九條 第九百條 第九百一條 第九百二條 第九百三條 第九百四條 第九百五條 第九百六條 第九百七條 第九百八條 第九百九條 第九百十條 第九百十一條 第九百十二條 第九百十三條 第九百十四條 第九百十五條 第九百十六條 第九百十七條 第九百十八條 第九百十九條 第九百二十條 第九百二十一條 第九百二十二條 第九百二十三條 第九百二十四條 第九百二十五條 第九百二十六條 第九百二十七條 第九百二十八條 第九百二十九條 第九百三十條 第九百三十一條 第九百三十二條 第九百三十三條 第九百三十四條 第九百三十五條 第九百三十六條 第九百三十七條 第九百三十八條 第九百三十九條 第九百四十條 第九百四十一條 第九百四十二條 第九百四十三條 第九百四十四條 第九百四十五條 第九百四十六條 第九百四十七條 第九百四十八條 第九百四十九條 第九百五十條 第九百五十一條 第九百五十二條 第九百五十三條 第九百五十四條 第九百五十五條 第九百五十六條 第九百五十七條 第九百五十八條 第九百五十九條 第九百六十條 第九百六十一條 第九百六十二條 第九百六十三條 第九百六十四條 第九百六十五條 第九百六十六條 第九百六十七條 第九百六十八條 第九百六十九條 第九百七十條 第九百七十一條 第九百七十二條 第九百七十三條 第九百七十四條 第九百七十五條 第九百七十六條 第九百七十七條 第九百七十八條 第九百七十九條 第九百八十條 第九百八十一條 第九百八十二條 第九百八十三條 第九百八十四條 第九百八十五條 第九百八十六條 第九百八十七條 第九百八十八條 第九百八十九條 第九百九十條 第九百九十一條 第九百九十二條 第九百九十三條 第九百九十四條 第九百九十五條 第九百九十六條 第九百九十七條 第九百九十八條 第九百九十九條 第千條 第千一條 第千二條 第千三條 第千四條 第千五條 第千六條 第千七條 第千八條 第千九條 第千十條 第千十一條 第千十二條 第千十三條 第千十四條 第千十五條 第千十六條 第千十七條 第千十八條 第千十九條 第千二十條 第千二十一條 第千二十二條 第千二十三條 第千二十四條 第千二十五條 第千二十六條 第千二十七條 第千二十八條 第千二十九條 第千三十條 第千三十一條 第千三十二條 第千三十三條 第千三十四條 第千三十五條 第千三十六條 第千三十七條 第千三十八條 第千三十九條 第千四十條 第千四十一條 第千四十二條 第千四十三條 第千四十四條 第千四十五條 第千四十六條 第千四十七條 第千四十八條 第千四十九條 第千五十條 第千五十一條 第千五十二條 第千五十三條 第千五十四條 第千五十五條 第千五十六條 第千五十七條 第千五十八條 第千五十九條 第千六十條 第千六十一條 第千六十二條 第千六十三條 第千六十四條 第千六十五條 第千六十六條 第千六十七條 第千六十八條 第千六十九條 第千七十條 第千七十一條 第千七十二條 第千七十三條 第千七十四條 第千七十五條 第千七十六條 第千七十七條 第千七十八條 第千七十九條 第千八十條 第千八十一條 第千八十二條 第千八十三條 第千八十四條 第千八十五條 第千八十六條 第千八十七條 第千八十八條 第千八十九條 第千九十條 第千九十一條 第千九十二條 第千九十三條 第千九十四條 第千九十五條 第千九十六條 第千九十七條 第千九十八條 第千九十九條 第千百條 第千百一條 第千百二條 第千百三條 第千百四條 第千百五條 第千百六條 第千百七條 第千百八條 第千百九條 第千百十條 第千百十一條 第千百十二條 第千百十三條 第千百十四條 第千百十五條 第千百十六條 第千百十七條 第千百十八條 第千百十九條 第千百二十條 第千百二十一條 第千百二十二條 第千百二十三條 第千百二十四條 第千百二十五條 第千百二十六條 第千百二十七條 第千百二十八條 第千百二十九條 第千百三十條 第千百三十一條 第千百三十二條 第千百三十三條 第千百三十四條 第千百三十五條 第千百三十六條 第千百三十七條 第千百三十八條 第千百三十九條 第千百四十條 第千百四十一條 第千百四十二條 第千百四十三條 第千百四十四條 第千百四十五條 第千百四十六條 第千百四十七條 第千百四十八條 第千百四十九條 第千百五十條 第千百五十一條 第千百五十二條 第千百五十三條 第千百五十四條 第千百五十五條 第千百五十六條 第千百五十七條 第千百五十八條 第千百五十九條 第千百六十條 第千百六十一條 第千百六十二條 第千百六十三條 第千百六十四條 第千百六十五條 第千百六十六條 第千百六十七條 第千百六十八條 第千百六十九條 第千百七十條 第千百七十一條 第千百七十二條 第千百七十三條 第千百七十四條 第千百七十五條 第千百七十六條 第千百七十七條 第千百七十八條 第千百七十九條 第千百八十條 第千百八十一條 第千百八十二條 第千百八十三條 第千百八十四條 第千百八十五條 第千百八十六條 第千百八十七條 第千百八十八條 第千百八十九條 第千百九十條 第千百九十一條 第千百九十二條 第千百九十三條 第千百九十四條 第千百九十五條 第千百九十六條 第千百九十七條 第千百九十八條 第千百九十九條 第二千條 第二千一條 第二千二條 第二千三條 第二千四條 第二千五條 第二千六條 第二千七條 第二千八條 第二千九條 第二千十條 第二千十一條 第二千十二條 第二千十三條 第二千十四條 第二千十五條 第二千十六條 第二千十七條 第二千十八條 第二千十九條 第二千二十條 第二千二十一條 第二千二十二條 第二千二十三條 第二千二十四條 第二千二十五條 第二千二十六條 第二千二十七條 第二千二十八條 第二千二十九條 第二千三十條 第二千三十一條 第二千三十二條 第二千三十三條 第二千三十四條 第二千三十五條 第二千三十六條 第二千三十七條 第二千三十八條 第二千三十九條 第二千四十條 第二千四十一條 第二千四十二條 第二千四十三條 第二千四十四條 第二千四十五條 第二千四十六條 第二千四十七條 第二千四十八條 第二千四十九條 第二千五十條 第二千五十一條 第二千五十二條 第二千五十三條 第二千五十四條 第二千五十五條 第二千五十六條 第二千五十七條 第二千五十八條 第二千五十九條 第二千六十條 第二千六十一條 第二千六十二條 第二千六十三條 第二千六十四條 第二千六十五條 第二千六十六條 第二千六十七條 第二千六十八條 第二千六十九條 第二千七十條 第二千七十一條 第二千七十二條 第二千七十三條 第二千七十四條 第二千七十五條 第二千七十六條 第二千七十七條 第二千七十八條 第二千七十九條 第二千八十條 第二千八十一條 第二千八十二條 第二千八十三條 第二千八十四條 第二千八十五條 第二千八十六條 第二千八十七條 第二千八十八條 第二千八十九條 第二千九十條 第二千九十一條 第二千九十二條 第二千九十三條 第二千九十四條 第二千九十五條 第二千九十六條 第二千九十七條 第二千九十八條 第二千九十九條 第三千條 第三千一條 第三千二條 第三千三條 第三千四條 第三千五條 第三千六條 第三千七條 第三千八條 第三千九條 第三千十條 第三千十一條 第三千十二條 第三千十三條 第三千十四條 第三千十五條 第三千十六條 第三千十七條 第三千十八條 第三千十九條 第三千二十條 第三千二十一條 第三千二十二條 第三千二十三條 第三千二十四條 第三千二十五條 第三千二十六條 第三千二十七條 第三千二十八條 第三千二十九條 第三千三十條 第三千三十一條 第三千三十二條 第三千三十三條 第三千三十四條 第三千三十五條 第三千三十六條 第三千三十七條 第三千三十八條 第三千三十九條 第三千四十條 第三千四十一條 第三千四十二條 第三千四十三條 第三千四十四條 第三千四十五條 第三千四十六條 第三千四十七條 第三千四十八條 第三千四十九條 第三千五十條 第三千五十一條 第三千五十二條 第三千五十三條 第三千五十四條 第三千五十五條 第三千五十六條 第三千五十七條 第三千五十八條 第三千五十九條 第三千六十條 第三千六十一條 第三千六十二條 第三千六十三條 第三千六十四條 第三千六十五條 第三千六十六條 第三千六十七條 第三千六十八條 第三千六十九條 第三千七十條 第三千七十一條 第三千七十二條 第三千七十三條 第三千七十四條 第三千七十五條 第三千七十六條 第三千七十七條 第三千七十八條 第三千七十九條 第三千八十條 第三千八十一條 第三千八十二條 第三千八十三條 第三千八十四條 第三千八十五條 第三千八十六條 第三千八十七條 第三千八十八條 第三千八十九條 第三千九十條 第三千九十一條 第三千九十二條 第三千九十三條 第三千九十四條 第三千九十五條 第三千九十六條 第三千九十七條 第三千九十八條 第三千九十九條 第四千條 第四千一條 第四千二條 第四千三條 第四千四條 第四千五條 第四千六條 第四千七條 第四千八條 第四千九條 第四千十條 第四千十一條 第四千十二條 第四千十三條 第四千十四條 第四千十五條 第四千十六條 第四千十七條 第四千十八條 第四千十九條 第四千二十條 第四千二十一條 第四千二十二條 第四千二十三條 第四千二十四條 第四千二十五條 第四千二十六條 第四千二十七條 第四千二十八條 第四千二十九條 第四千三十條 第四千三十一條 第四千三十二條 第四千三十三條 第四千三十四條 第四千三十五條 第四千三十六條 第四千三十七條 第四千三十八條 第四千三十九條 第四千四十條 第四千四十一條 第四千四十二條 第四千四十三條 第四千四十四條 第四千四十五條 第四千四十六條 第四千四十七條 第四千四十八條 第四千四十九條 第四千五十條 第四千五十一條 第四千五十二條 第四千五十三條 第四千五十四條 第四千五十五條 第四千五十六條 第四千五十七條 第四千五十八條 第四千五十九條 第四千六十條 第四千六十一條 第四千六十二條 第四千六十三條 第四千六十四條 第四千六十五條 第四千六十六條 第四千六十七條 第四千六十八條 第四千六十九條 第四千七十條 第四千七十一條 第四千七十二條 第四千七十三條 第四千七十四條 第四千七十五條 第四千七十六條 第四千七十七條 第四千七十八條 第四千七十九條 第四千八十條 第四千八十一條 第四千八十二條 第四千八十三條 第四千八十四條 第四千八十五條 第四千八十六條 第四千八十七條 第四千八十八條 第四千八十九條 第四千九十條 第四千九十一條 第四千九十二條 第四千九十三條 第四千九十四條 第四千九十五條 第四千九十六條 第四千九十七條 第四千九十八條 第四千九十九條 第五千條 第五千一條 第五千二條 第五千三條 第五千四條 第五千五條 第五千六條 第五千七條 第五千八條 第五千九條 第五千十條 第五千十一條 第五千十二條 第五千十三條 第五千十四條 第五千十五條 第五千十六條 第五千十七條 第五千十八條 第五千十九條 第五千二十條 第五千二十一條 第五千二十二條 第五千二十三條 第五千二十四條 第五千二十五條 第五千二十六條 第五千二十七條 第五千二十八條 第五千二十九條 第五千三十條 第五千三十一條 第五千三十二條 第五千三十三條 第五千三十四條 第五千三十五條 第五千三十六條 第五千三十七條 第五千三十八條 第五千三十九條 第五千四十條 第五千四十一條 第五千四十二條 第五千四十三條 第五千四十四條 第五千四十五條 第五千四十六條 第五千四十七條 第五千四十八條 第五千四十九條 第五千五十條 第五千五十一條 第五千五十二條 第五千五十三條 第五千五十四條 第五千五十五條 第五千五十六條 第五千五十七條 第五千五十八條 第五千五十九條 第五千六十條 第五千六十一條 第五千六十二條 第五千六十三條 第五千六十四條 第五千六十五條 第五千六十六條 第五千六十七條 第五千六十八條 第五千六十九條 第五千七十條 第五千七十一條 第五千七十二條 第五千七十三條 第五千七十四條 第五千七十五條 第五千七十六條 第五千七十七條 第五千七十八條 第五千七十九條 第五千八十條 第五千八十一條 第五千八十二條 第五千八十三條 第五千八十四條 第五千八十五條 第五千八十六條 第五千八十七條 第五千八十八條 第五千八十九條 第五千九十條 第五千九十一條 第五千九十二條 第五千九十三條 第五千九十四條 第五千九十五條 第五千九十六條 第五千九十七條 第五千九十八條 第五千九十九條 第六千條 第六千一條 第六千二條 第六千三條 第六千四條 第六千五條 第六千六條 第六千七條 第六千八條 第六千九條 第六千十條 第六千十一條 第六千十二條 第六千十三條 第六千十四條 第六千十五條 第六千十六條 第六千十七條 第六千十八條 第六千十九條 第六千二十條 第六千二十一條 第六千二十二條 第六千二十三條 第六千二十四條 第六千二十五條 第六千二十六條 第六千二十七條 第六千二十八條 第六千二十九條 第六千三十條 第六千三十一條 第六千三十二條 第六千三十三條 第六千三十四條 第六千三十五條 第六千三十六條 第六千三十七條 第六千三十八條 第六千三十九條 第六千四十條 第六千四十一條 第六千四十二條 第六千四十三條 第六千四十四條 第六千四十五條 第六千四十六條 第六千四十七條 第六千四十八條 第六千四十九條 第六千五十條 第六千五十一條 第六千五十二條 第六千五十三條 第六千五十四條 第六千五十五條 第六千五十六條 第六千五十七條 第六千五十八條 第六千五十九條 第六千六十條 第六千六十一條 第六千六十二條 第六千六十三條 第六千六十四條 第六千六十五條 第六千六十六條 第六千六十七條 第六千六十八條 第六千六十九條 第六千七十條 第六千七十一條 第六千七十二條 第六千七十三條 第六千七十四條 第六千七十五條 第六千七十六條 第六千七十七條 第六千七十八條 第六千七十九條 第六千八十條 第六千八十一條 第六千八十二條 第六千八十三條 第六千八十四條 第六千八十五條 第六千八十六條 第六千八十七條 第六千八十八條 第六千八十九條 第六千九十條 第六千九十一條 第六千九十二條 第六千九十三條 第六千九十四條 第六千九十五條 第六千九十六條 第六千九十七條 第六千九十八條 第六千九十九條 第七千條 第七千一條 第七千二條 第七千三條 第七千四條 第七千五條 第七千六條 第七千七條 第七千八條 第七千九條 第七千十條 第七千十一條 第七千十二條 第七千十三條 第七千十四條 第七千十五條 第七千十六條 第七千十七條 第七千十八條 第七千十九條 第七千二十條 第七千二十一條 第七千二十二條 第七千二十三條 第七千二十四條 第七千二十五條 第七千二十六條 第七千二十七條 第七千二十八條 第七千二十九條 第七千三十條 第七千三十一條 第七千三十二條 第七千三十三條 第七千三十四條 第七千三十五條 第七千三十六條 第七千三十七條 第七千三十八條 第七千三十九條 第七千四十條 第七千四十一條 第七千四十二條 第七千四十三條 第七千四十四條 第七千四十五條 第七千四十六條 第七千四十七條 第七千四十八條 第七千四十九條 第七千五十條 第七千五十一條 第七千五十二條 第七千五十三條 第七千五十四條 第七千五十五條 第七千五十六條 第七千五十七條 第七千五十八條 第七千五十九條 第七千六十條 第七千六十一條 第七千六十二條 第七千六十三條 第七千六十四條 第七千六十五條 第七千六十六條 第七千六十七條 第七千六十八條 第七千六十九條 第七千七十條 第七千七十一條 第七千七十二條 第七千七十三條 第七千七十四條 第七千七十五條 第七千七十六條 第七千七十七條 第七千七十八條 第七千七十九條 第七千八十條 第七千八十一條 第七千八十二條 第七千八十三條 第七千八十四條 第七千八十五條 第七千八十六條 第七千八十七條 第七千八十八條 第七千八十九條 第七千九十條 第七千九十一條 第七千九十二條 第七千九十三條 第七千九十四條 第七千九十五條 第七千九十六條 第七千九十七條 第七千九十八條 第七千九十九條 第八千條 第八千一條 第八千二條 第八千三條 第八千四條 第八千五條 第八千六條 第八千七條 第八千八條 第八千九條 第八千十條 第八千十一條 第八千十二條 第八千十三條 第八千十四條 第八千十五條 第八千十六條 第八千十七條 第八千十八條 第八千十九條 第八千二十條 第八千二十一條 第八千二十二條 第八千二十三條 第八千二十四條 第八千二十五條 第八千二十六條 第八千二十七條 第八千二十八條 第八千二十九條 第八千三十條 第八千三十一條 第八千三十二條 第八千三十三條 第八千三十四條 第八千三十五條 第八千三十六條 第八千三十七條 第八千三十八條 第八千三十九條 第八千四十條 第八千四十一條 第八千四十二條 第八千四十三條 第八千四十四條 第八千四十五條 第八千四十六條 第八千四十七條 第八千四十八條 第八千四十九條 第八千五十條 第八千五十一條 第八千五十二條 第八千五十三條 第八千五十四條 第八千五十五條 第八千五十六條 第八千五十七條 第八千五十八條 第八千五十九條 第八千六十條 第八千六十一條 第八千六十二條 第八千六十三條 第八千六十四條 第八千六十五條 第八千六十六條 第八千六十七條 第八千六十八條 第八千六十九條 第八千七十條 第八千七十一條 第八千七十二條 第八千七十三條 第八千七十四條 第八千七十五條 第八千七十六條 第八千七十七條 第八千七十八條 第八千七十九條 第八千八十條 第八千八十一條 第八千八十二條 第八千八十三條 第八千八十四條 第八千八十五條 第八千八十六條 第八千八十七條 第八千八十八條 第八千八十九條 第八千九十條 第八千九十一條 第八千九十二條 第八千九十三條 第八千九十四條 第八千九十五條 第八千九十六條 第八千九十七條 第八千九十八條 第八千九十九條 第九千條 第九千一條 第九千二條 第九千三條 第九千四條 第九千五條 第九千六條 第九千七條 第九千八條 第九千九條 第九千十條 第九千十一條 第九千十二條 第九千十三條 第九千十四條 第九千十五條 第九千十六條 第九千十七條 第九千十八條 第九千十九條 第九千二十條 第九千二十一條 第九千二十二條 第九千二十三條 第九千二十四條 第九千二十五條 第九千二十六條 第九千二十七條 第九千二十八條 第九千二十九條 第九千三十條 第九千三十一條 第九千三十二條 第九千三十三條 第九千三十四條 第九千三十五條 第九千三十六條 第九千三十七條 第九千三十八條 第九千三十九條 第九千四十條 第九千四十一條 第九千四十二條 第九千四十三條 第九千四十四條 第九千四十五條 第九千四十六條 第九千四十七條 第九千四十八條 第九千四十九條 第九千五十條 第九千五十一條 第九千五十二條 第九千五十三條 第九千五十四條 第九千五十五條 第九千五十六條 第九千五十七條 第九千五十八條 第九千五十九條 第九千六十條 第九千六十一條 第九千六十二條 第九千六十三條 第九千六十四條 第九千六十五條 第九千六十六條 第九千六十七條 第九千六十八條 第九千六十九條 第九千七十條 第九千七十一條 第九千七十二條 第九千七十三條 第九千七十四條 第九千七十五條 第九千七十六條 第九千七十七條 第九千七十八條 第九千七十九條 第九千八十條 第九千八十一條 第九千八十二條 第九千八十三條 第九千八十四條 第九千八十五條 第九千八十六條 第九千八十七條 第九千八十八條 第九千八十九條 第九千九十條 第九千九十一條 第九千九十二條 第九千九十三條 第九千九十四條 第九千九十五條 第九千九十六條 第九千九十七條 第九千九十八條 第九千九十九條 第萬條 第萬一條 第萬二條 第萬三條 第萬四條 第萬五條 第萬六條 第萬七條 第萬八條 第萬九條 第萬十條 第萬十一條 第萬十二條 第萬十三條 第萬十四條 第萬十五條 第萬十六條 第萬十七條 第萬十八條 第萬十九條 第萬二十條 第萬二十一條 第萬二十二條 第萬二十三條 第萬二十四條 第萬二十五條 第萬二十六條 第萬二十七條 第萬二十八條 第萬二十九條 第萬三十條 第萬三十一條 第萬三十二條 第萬三十三條 第萬三十四條 第萬三十五條 第萬三十六條 第萬三十七條 第萬三十八條 第萬三十九條 第萬四十條 第萬四十一條 第萬四十二條 第萬四十三條 第萬四十四條 第萬四十五條 第萬四十六條 第萬四十七條 第萬四十八條 第萬四十九條 第萬五十條 第萬五十一條 第萬五十二條 第萬五十三條 第萬五十四條 第萬五十五條 第萬五十六條 第萬五十七條 第萬五十八條 第萬五十九條 第萬六十條 第萬六十一條 第萬六十二條 第萬六十三條 第萬六十四條 第萬六十五條 第萬六十六條 第萬六十七條 第萬六十八條 第萬六十九條 第萬七十條 第萬七十一條 第萬七十二條 第萬七十三條 第萬七十四條 第萬七十五條 第萬七十六條 第萬七十七條 第萬七十八條 第萬七十九條 第萬八十條 第萬八十一條 第萬八十二條 第萬八十三條 第萬八十四條 第萬八十五條 第萬八十六條 第萬八十七條 第萬八十八條 第萬八十九條 第萬九十條 第萬九十一條 第萬九十二條 第萬九十三條 第萬九十四條 第萬九十五條 第萬九十六條 第萬九十七條 第萬九十八條 第萬九十九條 第萬百條 第萬百一條 第萬百二條 第萬百三條 第萬百四條 第萬百五條 第萬百六條 第萬百七條 第萬百八條 第萬百九條 第萬百十條 第萬百十一條 第萬百十二條 第萬百十三條 第萬百十四條 第萬百十五條 第萬百十六條 第萬百十七條 第萬百十八條 第萬百十九條 第萬百二十條 第萬百二十一條 第萬百二十二條 第萬百二十三條 第萬百二十四條 第萬百二十五條 第萬百二十六條 第萬百二十七條 第萬百二十八條 第萬百二十九條 第萬百三十條 第萬百三十一條 第萬百三十二條 第萬百三十三條 第萬百三十四條 第萬百三十五條 第萬百三十六條 第萬百三十七條 第萬百三十八條 第萬百三十九條 第萬百四十條 第萬百四十一條 第萬百四十二條 第萬百四十三條 第萬百四十四條 第萬百四十五條 第萬百四十六條 第萬百四十七條 第萬百四十八條 第萬百四十九條 第萬百五十條 第萬百五十一條 第萬百五

科目	款	項	目	解疏
未拂利息				
	未支拂利息			支拂期日到來セルモ之ガ支拂ニ至ラザルモノ 支拂期日別整理
	既經過利息			未ダ支拂期日到來セザルモ之ヲ當該期ノ損失ニ屬セシメタル場合ニ設定スベキモノトス
未拂社債元金				償還期別整理
未拂配當金				支拂期別整理
諸未拂金				種別整理
短期借入金				償還期ノ負債成立後一年以内ニ到來スルモノ
	手形借入			人名別整理
	證書借入			同
支拂手形				人名別整理
從業員預リ金				從業員ヨリ受入レタル貯金、積金等
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理 人名別整理
預リ保證金				
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理
		身元保證金		人名別整理
		契約保證金		同
		何々		

雜勘定

科目	款	項	目	解疏
假受金				歸屬スル勘定又ハ金額ノ確定セザル受入金
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理 件名別整理
前受金				次事業年度以降ノ利益トシテ繰延タルモノ
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理 件名別整理
外債爲替差金				外債手取額ニ對スル法定平價ト爲替相場トノ差額 發行別整理
借入有價證券				人名別種別整理
預リ有價證券				
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理 人名別種別整理

利益

科目	款	項	目	解疏
前期繰越利益				
當期純利益				

三　損失ノ部

供給事業損失

科目	款	項	目	解疏
發電費	(何) 水力發電所費			
		給料手當		
			俸給	社員及準社員ノ給料
			雇傭給	雇員以下ノ給料
			賞與及手當	諸賞與金及在勤、特別勤務、時間外勤務、公休日出勤、宿直等ニ對スル諸手當
		油脂類費		
			油脂費	
			揮撥費	
		修繕費		修繕專屬從事員ノ給料手當及修繕ノ爲ニ要スル人夫賃、旅費、運搬費其ノ他ノ諸費ヲ含ム
			建物修繕費	
			水路修繕費	
			調整池又ハ貯水池修繕費	各別整理
			機械器具修繕費	
			雜設備修繕費	
			備品修繕費	
		特別費		
			諸稅	地租、水車稅、家屋稅、車稅等 附加稅ヲ含ム
			公物使用料	水利使用料、水面使用料、河敷料等
			借地及借家料	
			火災保險料	
		諸費		
			健康保險料	
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
			被服費	
			消耗品費	
			通信運搬費	荷造費ヲ含ム
			雜費	
	(何) (貯水池費) (何) 汽力發電所費			一發電所ニ隷屬セザル場合ノ整理 內譯ハ「水力發電所費」ノ「項、目」ニ準ズ
		給料手當		
			俸給	社員及準社員ノ給料
			雇傭給	雇員以下ノ給料
			賞與及手當	諸賞與金及在勤、特別勤務、時間外勤務、公休日出勤、宿直等ニ對スル諸手當
		燃料費		運搬費ヲ含ム

科目	款	項	目	解疏
			石炭費	
			燃料油費	
		油脂類費及用水料		
			油脂費	
			襤褸費	
			汽罐用水料	
		修繕費		修繕專屬從事員ノ給料手當及修繕ノ爲ニ要スル人夫賃、旅費、運搬費其ノ他ノ諸費ヲ含ム
			建物修繕費	
			蒸汽發生設備修繕費	
			電氣發生設備修繕費	
			冷却及水道設備修繕費	
			雜設備修繕費	
			備品修繕費	
		特別費	諸稅	地租、家屋稅、車稅等附加稅ヲ含ム
			借地及借家料	
			火災保險料	

		諸費		
			健康保險料	
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
			被服費	
			消耗品費	
			通信運搬費	荷造費ヲ含ム
	（何）內燃力發電所費		雜費	
		給料手當		
			俸給	社員及準社員ノ給料
			雇傭給	雇員以下ノ給料
			賞與及手當	諸賞與金及在勤、特別勤務、時間外勤務、公休日出勤、宿直等ニ對スル諸手當
		燃料費		運搬費ヲ含ム
			燃料油費	
			石炭費	
		油脂類費		
			油脂費	
			襤褸費	
		修繕費		修繕專屬從事員ノ給料手當及修繕ノ爲ニ要スル人夫賃、旅費、運搬費其ノ他ノ諸費ヲ含ム

科目	款	項	目	解説
			建物修繕費	
			機械器具修繕費	
			雑設備修繕費	
			備品修繕費	
		特別費		
			諸税	地租、家屋税、車税等 附加税ヲ含ム
			借地及借家料	
			火災保険料	
		諸費		
			健康保険料	
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
			被服費	
			消耗品費	
			通信運搬費	荷造費ヲ含ム
			雑費	
購入電力料				受電地點別整理
送電費				

科目	款	項	目	解説
（何）送電線路費 何……何間				
		給料手當		
			俸給	社員及準社員ノ給料
			雇傭給	雇員以下ノ給料
			賞與及手當	諸賞與金及在勤、特別勤務、時間外勤務、公休日出勤、宿直等ニ對スル諸手當
		修繕費		修繕專屬從事員ノ給料手當及修繕ノ爲ニ要スル人夫賃、旅費、運搬費其ノ他ノ諸費ヲ含ム
			建物修繕費	
			架空電線路修繕費	
			地中電線路修繕費	
			開閉所修繕費	
			獨立電話線路修繕費	
			備品修繕費	
		特別費		
			諸税	地租、電柱税、家屋税、車税等 附加税ヲ含ム
			公物使用料	道路占用料其ノ他
			借地及借家料	電柱敷地料、線下借地料、線下補償料其ノ他ノ借地及借家料
			火災保険料	
		諸費		
			健康保険料	

科目	款	項	目	解疏
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
			被服費	
			消耗品費	
			通信運搬費	荷造費ヲ含ム
			雜費	
		線路使用料		他事業者ノ電線路ニ自己ノ送電線ヲ添架シタル場合等ノ使用料
變電費				
	(何)變電所費			
		給料手當		
			俸給	社員及準社員ノ給料
			雇傭給	雇員以下ノ給料
			賞與及手當	諸賞與金及在勤、特別勤務、時間外勤務、公休日出勤、宿直等ニ對スル諸手當
		油脂類費		
			油脂費	
			襤褸費	
		修繕費		修繕專屬從事員ノ給料手當及修繕ノ爲ニ要スル人夫賃、旅費、運搬費其ノ他ノ諸費ヲ含ム
			建物修繕費	

			機械器具修繕費	
			備品修繕費	
		特別費		
			諸稅	地租、家屋稅、車稅等附加稅ヲ含ム
			借地及借家料	
			火災保險料	
		諸費		
			健康保險料	
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
			被服費	
			消耗品費	
			通信運搬費	荷造費ヲ含ム
			雜費	
	(何)受電所費			獨立セル場合ノ整理 內譯ハ「變電所費」ノ「項、目」ニ準ズ
配電費				
	本何支店(又ハ何所)			本店、支店等營業單位別整理
		給料手當		
			俸給	社員及準社員ノ給料
			雇傭給	雇員以下ノ給料

科目	款	項	目	解説
			賞與及手當	諸賞與金及在勤、特別勤務、時間外勤務、公休日出勤、宿直等ニ對スル諸手當
		修繕費		修繕專屬從事員ノ給料手當及修繕ノ爲ニ要スル人夫賃、旅費、運搬費其ノ他ノ諸費ヲ含ム
			架空配電線路修繕費	
			地中配電線路修繕費	
			特約供給配電線路修繕費	特約電力專用線ニ對スルモノ
		特別費		
			諸稅	地租、電柱稅、家屋稅、車稅等附加稅ヲ含ム
			公物使用料	道路占用料、報償金等
			借地及借家料	電柱敷地料、線下借地料等
		諸費		
			健康保險料	
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
			被服費	
			消耗品費	
			通信運搬費	荷造費ヲ含ム
			雜費	
		線路使用料		他事業者ノ電線路ニ自己ノ配電線ヲ添架シタル場合等ノ使用料

需用者屋內費				
	本店支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理
		給料手當		
			俸給	社員及準社員ノ給料
			雇傭給	雇員以下ノ給料
			賞與及手當	諸賞與金及在勤、特別勤務、時間外勤務、公休日出勤、宿直等ニ對スル諸手當
		電球取換費		
			電球費	
			委託取換手數料	
		修繕費		修繕專屬從事員ノ給料手當及修繕ノ爲ニ要スル人夫賃、旅費、運搬費其ノ他ノ諸費ヲ含ム
			配線修繕費	
			貸付器具修繕費	
		諸費		
			健康保險料	
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
			被服費	
			消耗品費	
			通信運搬費	荷造費ヲ含ム
			雜費	

科目	款	項	目	解疏
業務費				「配電費」又ハ「需用者屋內費」中ニ屬セシムベキ費用ト區別シ難キモノハ便宜本科目中ニ合マシムルモ可ナリ
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理
		給料手當		
			俸給	社員及準社員ノ給料
			雇傭給	雇員以下ノ給料
			賞與及手當	諸賞與金及在勤、特別勤務、時間外勤務、公休日出勤、宿直等ニ對スル諸手當
		需用開拓費		
			勸誘費	勸誘手當、特別奬勵金等
			廣告費	印刷費ヲ含ム
		集金費		
			直接集金費	集金手當、特別奬勵金、專屬集金人ノ給料手當等
			委託集金手數料	
		修繕費		修繕專屬從事員ノ給料手當及修繕ノ爲ニ要スル人夫賃、旅費、運搬費其ノ他ノ諸費ヲ含ム
			建物修繕費	
			備品修繕費	
		諸費		
			諸税	地租、家屋税、車税、印紙税等附加税ヲ含ム

科目	款	項	目	解疏
			借地及借家料	
			火災保險料	
			健康保險料	
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
			被服費	
			消耗品費	
			通信運搬費	荷造費ヲ含ム
			雜費	
減價銷却				
	營業設備			「營業設備」中業務設備ニ對スルモノ「項」ハ資產勘定ノ「款」ヲ單位トス
	發電設備			「項」ハ資產勘定ノ「款」ヲ單位トス
	送電設備			同
	變電設備			同
	配電設備			同
	需用者屋內設備			同
	建設利息銷却			同
電力費振替勘定（貸方）				電氣鐵道又ハ他事業部門ニ電力ヲ使用セシメタル場合ニ其ノ振替分擔セシムベキ金額ヲ貸方記入スベキ科目ニシテ其ノ金額ハ同時ニ「電氣鐵道費」又ハ「何業費」中ニ借方記入スベキモノトス
	電氣鐵道			
	何業			

他事業損失

科目	款	項	目	解疏
電氣鐵道費				
何業費				

事業外經常損失

科目	款	項	目	解疏
總係費				
		役員費		
			報酬	賞與金ヲ含マズ
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
		給料手當		
			俸給	社員及準社員ノ給料
			雇傭給	雇員以下ノ給料
			賞與及手當	諸賞與金及特別勤務、時間外勤務、公休日出勤、宿直等ニ對スル諸手當
		修繕費		修繕專屬從事員ノ給料手當及修繕ノ爲ニ要スル人夫賃、旅費、運搬費其ノ他ノ諸費ヲ含ム
			建物修繕費	

			備品修繕費	
		保健費		
			保健費	慰安費ヲ含ム
			扶助費	業務災害ニ因ル從業員療養費、扶助料、葬祭料等
		諸費		
			諸稅	地租、家屋稅、車稅、印紙稅等 附加稅ヲ含ム
			借地及借家料	
			火災保險料	
			交際費	
			旅費	日當、宿泊料、船車馬賃等
			被服費	
			消耗品費	
			通信運搬費	荷造費ヲ含ム
			委託諸手數料	配當金支拂、社債元金償還及利拂、送金等ノ委託諸手數料
			廣告料	決算公告料其ノ他一般廣告料
			賠償費	從業員ニ非ザル人命傷害、財產損害等ニ對スル賠償金
			雜費	
		減價銷却		「營業設備」中總係設備ニ對スルモノ
所得稅及營業收益稅				附加稅ヲ含ム

科目	款	項	目	解疏
	所得税			
	營業收益税			社則其ノ他ニ依リ退職手當又ハ年金ヲ支給スベキコトヲ定メ一定ノ計算ニ基キ其ノ支拂ニ備フルガ如キ場合ニ設定スベキモノトス
退職給與金引當				
支拂利息				
	社債利息			
	借入金利息			割引料ヲ含ム
	從業員預リ金利息			
	受取手形割引料			
社債差金及發行費銷却				
雜損失				
	事業貸倒損			內譯ハ流動資產「事業未收入金」ノ「款、項」ニ準ズ
	雜口			

臨時損失

科目	款	項	目	解疏
創業費銷却				

（七 中）

固定資產偶發損				
有價證券評價損				
何損				

四　利益ノ部

供給事業利益

科目	款	項	目	解疏
電燈料				
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理
		定額電燈料		
		從量電燈料		
		臨時電燈料		
		不定時電燈料		養蠶燈、漁季燈等
		休止中料金		
		計器損料		
		器具損料		
電力料				
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理

科目	款	項	目	解疏
		定額電力料		
		従量電力料		
		臨時電力料		
		不定時電力料		灌漑用排水用電力、製鹽用電力、製茶用電力等
		特約電力料		特殊契約ニ依ルモノ
		休止中料金		
		計器損料		
		器具損料		電動機、變壓器等ノ損料
電熱其ノ他ノ供給料金				電熱供給制、電扇供給制等ニ依リ徴スルモノ
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理
				定額、従量別整理
		電熱料		
		電扇料		
		何々		
		休止中料金		
		計器損料		
		器具損料		

（中　止）

科目	款	項	目	解疏
供給雜益				
	本何支店（又ハ何所）			本店、支店等營業單位別整理
		諸工料		取附、位置變更、撤去等屋内工事ニ關スル諸工料
		器具賣上益		取附材料賣上益ヲ含ム
		雜收		試驗料、掃除料、擅用料、器具破損辨償代等
		送電線路使用料		自己ノ送電線路ノ支持物ニ他事業者ノ電線ヲ添架セシメタル場合等ノ受入使用料
		配電線路使用料		線路別整理

他事業利益

科目	款	項	目	解疏
電氣鐵道收益				
何業收益				

事業外經常利益

科目	款	項	目	解疏
有價證券利息及配當金				
	公社債利息			

科目	款	項	目	解疏
受入利息	株式配當金			
	貸付金利息			
	預金利息			割引料ヲ含ム
雜收益				株式名義書換料、株金拂込延滯利息、違約金、電柱廣告料、不用品賣却代、關係會社ニ對スル購買品取扱手數料等

關聯利益

科目	款	項	目	解疏
銷却債權取立益				
有價證券償還益				
何益				
何積立金戻入				積立金ヲ利益處分ニ依ラズ特殊ノ損失填補ノ爲處分シタル場合ニ設定スベキモノトス

備考

一　企業形態ノ相違ニ依リ本表掲載名稱ノ適合セザルモノアルトキハ之ヲ改ムベシ
二　本表掲載外ノ事項アルトキハ本表ノ趣旨ニ則リ「科目」「款」「項」「目」ヲ追加設定スベシ
三　固定資產中電氣鐵道其ノ他ノ事業ニ共用セラルルモノアルトキハ其ノ關係ヲ明記シ置クベシ
四　電氣鐵道其ノ他ノ事業部門ニ電力ヲ使用セシメタルトキハ電力費ノ振替計算ヲ爲シ其ノ內容ヲ明記シ置クベシ
五　分割スベキ關聯費ハ別ニ中間假勘定ヲ設ケ整理シ置キ每決算期末ニ各相應科目ニ決算スベシ

別表第二

第四條ノ規定ニ依ル貸借對照表、損益計算書及利益處分書樣式

第何期末　昭和　年　月　日　貸借對照表

何株式會社

借方 科目	金額	貸方 科目	金額
	円		円
株主勘定		**株主勘定**	
未拂込資本金		資本金	
固定資產		法定準備金	
營業設備		別途積立金	
發電設備		何積立金	
送電設備		**引當勘定**	
變電設備		減價銷却引當金	
配電設備		退職給與引當金	
需用者屋內設備		何引當金	
電氣鐵道設備		**長期負債**	
何業設備		社債	
建設工事假勘定		長期借入金	
建設利息		**短期負債**	
投資		買掛金	
關係會社有價證券		未拂利息	
關係會社貸付金		未拂社債元金	
不動產		未拂配當金	
特定資產		諸未拂金	
何見返預金		短期借入金	
何見返有價證券		支拂手形	
流動資產		從業員預リ金	
貯藏品		預リ保證金	
事業未收入金		**雜勘定**	
諸未收入金		假受金	
有價證券		前受金	
貸付金		外債爲替差金	
受取手形		借入有價證券	
預金		預リ有價證券	
現金		**偶發債務（××××）**	
雜勘定		**利益**	
社內貸付金		前期繰越利益	
假拂金		當期純利益	
前拂金			
社債差金及發行費			
創業費			
假受有價證券			
偶發債務見返（××××）			
（損失）			
前期繰越損失			
當期純損失			
合計		合計	

備考

一　企業形態ノ相違ニ依リ本樣式掲載名稱ノ適合セザルモノアルトキハ之ヲ改ムベシ
二　本樣式掲載外ノ事項アルトキハ本樣式ノ趣旨ニ則リ科目ヲ追加設定スベシ
三　本樣式ハ之ヲ縱書シ日本數字ヲ用フルコトヲ得此ノ場合ハ上段又ハ前部ヲ「借方」トシ下段又ハ後部ヲ「貸方」トス尙「借方」ニ「資產ノ部」、「貸方」ニ「負債及資本ノ部」ト附記スルモ可ナリ
四　綜合科目名及其ノ金額ハ別種字體ヲ用フル等識別シ易キ方法ニ依リ之ヲ記載スベシ
五　優先株アルトキハ其ノ金額ヲ普通株ニ依ルモノト區別表示スベシ

書算計益損

自昭和　年　月　日
至昭和　年　月　日　第何期

社會式株何

損失		利益	
科目	金額	科目	金額
	円		円
發電費 購入電力 送電費 變電費 配電費 需用者屋內工事費 減價償却		電燈料 電力料 供給雜收益 其ノ他ノ附帶事業利益 熱供給料金	
控除 電力費振替勘定			
供給事業利益			
電氣鐵道費 何鐵道業費		電氣鐵道收益 何鐵道業收益	
他事業利益			
營業費 稅金 利息 利子割引料 收入金利息 事業債券發行費 及損 係替與 給拂金及 職員給與 差引得 雜支出		利益金 配當金及利息 利息收入 事業債券利子 供給事業雜收入 其ノ他附帶事業收益	
營業利益			
損却 損失 發行費償却 償却積立金 評價損 債權償却 貸倒損 證券償却 固定資產除却損		利益 積立金戻入 償却債權取立益 證券償還益 何ノ其ノ他營業外利益	
當期純利益			

備考

一　企業形態ノ相違ニ依リ本樣式揭載名稱ノ適合セザルモノアルトキハ之ヲ改ムシベシ

二　本樣式揭載外ノ事項アルトキハ本樣式ノ趣旨ニ則リ科目ヲ追加設定スベシ

三　本樣式ハ縱書日本數字ヲ用ヒ上段又ハ前部ニ利益ノ科目ヲ、下段又ハ後部ニ損失ノ科目ヲ記載スルヲ妨ゲズ

四　各區分計算ノ結果生ジタル「供給事業利益(又ハ損失)」「他事業利益(又ハ損失)」「營業利益(又ハ損失)」及「當期純利益(又ハ損失)」ハ別種字體ヲ用フル等識別シ易キ方法ニ依リ之ヲ記載スベシ

書分區益利　自昭和　年　月　日　第何期
至昭和　年　月　日

社會式株何

	金額
	円
當期純利益	
前期繰越利益	
何積立金戻入	
合計	
之ヲ處分スルコトヲ如シ	
法定準備金	
別途積立金	
何積立金	
役員賞與金	
配當金	
年分 { 舊株一株ニ付 新株一株ニ付	圓
後期繰越利益	

備考

一　企業形態ノ適合セザルモノ等名稱ノ揭載樣式本樣ニ依リ何ノ如キ區分處分又ハ內容ノ一部ヲ改ムベシ

二　本樣式ハ縱書日本數字ヲ用フルコトヲ得

三　優先株アルトキハ普通株ニ依ルモノト區別表示スベシ

○發電水力調査申請規則

明治四十三年九月二十八日
遞信省令第八十八號

第一條 電氣事業經營ノ目的ヲ以テ水力ヲ使用セムトスル者ハ本規則ニ依リ其ノ發電水力ノ實地調査ヲ遞信大臣ニ申請スルコトヲ得但シ實施設計ニ關スル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 前條ノ調査ヲ申請セムトスル者ハ左記ノ事項ヲ具備シタル申請書ヲ提出スヘシ

一 起業ノ目的
二 調査地點
三 概定馬力數

前項ノ申請書ニハ左記ノ書類ヲ添付スヘシ

一 水力使用許可書又ハ承諾書ノ謄本
二 其他參考トナルヘキ書類及圖面（縮尺二十萬分ノ一町村名ヲ記シタルモノ）

第三條 遞信大臣ニ於テ申請ヲ許可シタルトキハ調査著手ノ期日ヲ定メ之ヲ申請者ニ通知スルモノトス

第四條 調査費用ハ總テ申請者ノ負擔トス其ノ納付ニ關シテハ臨時發電水力調査局長官ノ指示スル所ニ依ルヘシ

第五條 申請者ハ調査費用ノ擔保トシテ臨時發電水力調査局長官ノ指示スル所ニ依リ有價證券ヲ提供スヘシ

第六條 申請者ニ於テ調査費用ヲ納付セサルトキハ相當ト認ムル價格ヲ以テ前條ノ有價證券ヲ賣却シ其ノ代價ヨリ賣却費用ヲ控除シタル殘額ヲ以テ之ニ充當シ過剩額ハ之ヲ還付シ不足額ハ之ヲ追徵ス

第七條 調査ヲ終了シタルトキハ費用計算書及發電水力調査書ヲ調製シ申請者ニ交付ス

第八條 遞信大臣ニ於テ起業不確實ト認メタル場合ニ於テハ調査ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第九條 申請者ニ於テ調査ノ廢止ヲ求メムトスルトキハ事由ヲ具シ遞信大臣ニ申請スヘシ

第十條 前二條ニ依リ調査ヲ廢止シタル場合ト雖既ニ調査ニ要シタル費用ハ之ヲ免除セス

第七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 本規則ニ依リ遞信大臣ニ提出スル書類ハ總テ所轄臨時發電水力調査局支局ヲ經由スヘシ

附 則

本令ハ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○發電水力調査圖表類交付規則

大正三年五月六日
遞信省令第十一號

改正 大正一〇年第二〇號、一四年第九號

第一條 遞信省ニ於テ調査シタル發電水力調査圖表類ハ其ノ副本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

第二條 調査圖表類ノ交付ヲ申請セムトスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ第二號書式ノ企業概要書ヲ添附スヘシ

第三條 調査圖表類ノ交付ヲ申請セムトスル者ハ左ノ區別ニ依リ手數料ヲ納付スヘシ

一 流量ニ關スル調査圖表類
（一ノ測水所）

一 曆年分ニ付　金五十圓
一 曆年ニ於ケル調査期間一年未滿ノモノニ付　金二十五圓
二 地形ニ關スル調査圖表類
一 水力地點又ハ一水力地點トシテ利用セムトスル區間ニ付　金百圓

前項第一號ノ場合ニ於テ每日ノ流量ニ關スル圖表ノ交付ヲ受ケサルモノノ手數料ハ各其ノ半額トス

手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ申請書ニ貼付シテ納付スヘシ

前項ノ收入印紙ハ遞信省ニ於テ之ヲ消印ス

第四條 遞信省ニ於テ調査シタル流量測定地點（又ハ測水所）及發電水力地點ハ地方廳又ハ遞信局ニ就キ承合スヘシ

第一號書式

收入印紙ヲ貼附スヘシ
但シ消印スヘカラス

發電水力地點調査圖表類副本交付申請書

貴省ニ於テ調査相成候左記圖表類ノ副本交付相成度企業概要書添附此段申請候也

年 月 日　住所　申請者 氏　名㊞

遞信大臣殿

記

一 流量圖表（自何年何月 至何年何月）

但シ何々水系何々川筋何縣何郡何村何字流量測定地點（又ハ測水所）

第二號書式

企業概要書

一、企業者名
二、利用何川及地點

河川名	何水系	何	川
地點	取入口	何縣何郡何村字何	
	放水口	何縣何郡何村字何	

三、水力利用ノ目的
四、動力利用區域

○發電ノ原動力ニ供スル水力發生ノ爲出願セル水ノ使用許可稟伺方

明治四十二年八月七日
遞信省訓令第一號

北海道廳府縣

發電ノ原動力ニ供スル水力發生ノ爲出願セル水ノ使用ヲ許可セントスルトキハ水力百馬力未滿ノモノヲ除ク外電氣起業ノ目的竝水力ニ關スル設計ノ大要及圖面ヲ具シ豫メ本大臣ニ稟伺スヘシ

使用權ノ讓渡其ノ他事業ニ著シキ變更ヲ許可セントスルトキ亦同シ

○電氣事業主任技術者資格檢定規則

昭和七年十一月二十一日
遞信省令第五十四號

第一條　電氣事業主任技術者ノ資格ハ第一種、第二種及第三種ニ區別シテ之ヲ檢定ス

第二條　檢定ハ試驗又ハ銓衡ニ依リ遞信大臣ノ命ジタル檢定委員之ヲ行フ

第三條　前條ノ試驗ヲ分チテ第一次試驗及第二次試驗トス

第一次試驗ニ合格シタル者ニ非ザレバ第二次試驗ヲ受クルコトヲ得ズ

第四條　第一次試驗ハ一般電氣學術及其ノ應用ニ就キ之ヲ行フ

第一次試驗ニ合格シタル者ニハ翌年及翌翌年ニ限リ第一次試驗ヲ免ズ

第五條　第二次試驗ハ筆記及口述トス但シ第三種ノ試驗ニ付テハ口述試驗ヲ行ハズ

筆記試驗ニ合格シタル者ニ非ザレバ口述試驗ヲ受クルコトヲ得ズ

第六條　第二次試驗ハ左ノ科目ニ就キ之ヲ行フ但シ第三種ノ試驗ニ在リテハ電氣理論、電力傳送及電氣鐵道ヲ除ク

一　電氣理論及電氣磁氣測定
二　電氣機器及附屬器具
三　電力傳送、配電及蓄電池
四　電燈、照明及電熱
五　電氣鐵道
六　發電所設計及原動力設備

第七條　大學令ニ依ル大學ノ工學部又ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ電氣工學ヲ專修シ之ヲ修得シタル者ハ第一種ノ銓衡檢定ヲ受クルコトヲ得

前項ノ檢定ハ受驗者ノ修得セル學科目中ニ前條ニ揭グル科目ニ該當スル學科目ノ有無竝ニ之ニ關スル實驗及實習ノ有無ニ付之ヲ行フモノトス但シ該學科目ノ一部ヲ修得セザル者ニ付テハ其ノ科目ノミニ就キ試驗ヲ行フコトアルベシ

大學令ニ依ル大學ノ工學部又ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ專門學校令ニ依ル實業專門學校ト同等以上ノ程度ニ於テ電氣工學ヲ修得シタル者ハ第二種ノ銓衡檢定ヲ受クルコトヲ得

外國ノ學校ニ於テ大學令ニ依ル大學ノ工學部又ハ專門學校令ニ依ル實業專門學校ト同等以上ノ程度ニ於テ電氣工學ヲ專修シ之ヲ修得シタル者ハ第一種又ハ第二種ノ銓衡檢定ヲ受クルコトヲ得但シ必要アルトキハ前條ニ定ムル試驗科目ノ一部ニ就キ試驗ヲ行フコトアルベシ

第八條　第二種ノ資格ヲ有スル者滿四年以上電氣技術ノ實務ニ從事シ責任アル地位ニ在リタルトキハ第一種ノ銓衡檢定ヲ受クルコトヲ得

第九條　試驗檢定ハ每年一回之ヲ行ヒ其ノ期日及場所ハ豫メ之ヲ官報ニ公告ス但シ遞信大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時ニ之ヲ行フコトアルベシ

銓衡檢定ハ隨時之ヲ行フ

第十條　試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ指定ノ期日迄ニ履歷書第二號、戶籍ノ抄本及寫眞ヲ添ヘ檢定申請書第一號ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

銓衡試驗ヲ受ケントスル者ハ隨時ニ履歷書第二號及戶籍ノ抄本ヲ添ヘ檢定申請書第一號ヲ遞信大臣ニ提出スベシ但シ第七條ニ依リ銓衡檢定ヲ受ケントスル者ハ其ノ修得セル學科ニ關スル證明書及必要アルトキハ說明書ヲ添附スベシ

外國人ニ在リテハ身分ニ關シ本國領事ノ證明アル書面ヲ以テ戶籍ノ抄本

ニ代フルコトヲ得

第十一條　檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ檢定手數料ヲ納ムベシ但シ第七條第一項又ハ同條第三項ニ依リ檢定ヲ受ケントスル者ノ當該大學又ハ學校ノ課程修了後二年內ニ檢定ヲ申請スル場合ニ於ケル檢定手數料ハ二圓トス

第一種	十圓
第二種	六圓
第三種	四圓

前項ノ手數料ハ收入印紙ヲ檢定申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

既納ノ手數料ハ檢定ヲ受ケザル場合ト雖モ之ヲ還付セズ

第十二條　檢定委員ニ於テ檢定申請者ガ其ノ資格若ハ履歷ヲ僞リ又ハ試驗ニ際シテ不正ノ行爲アリタリト認メタルトキハ之ニ對スル檢定ヲ行ハズ

檢定合格決定ノ後前項ノ事實アリタルコト判明シタルトキハ其ノ檢定ハ之ヲ無效トス

第十三條　檢定合格者ニハ合格證書第三號樣式ヲ附與ス

第十四條　檢定合格者ハ之ヲ官報ニ公告ス

第十五條　專門學校令ニ依ル實業專門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニシテ遞信大臣ノ認定ヲ受ケタルモノニ於テ電氣工學ヲ專修シ其ノ學校ヲ卒業シタル者ハ第二種ノ資格ヲ有スルモノトス

實業學校令ニ依ル實業學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニシテ遞信大臣ノ認定ヲ受ケタルモノニ於テ電氣工學ヲ專修シ其ノ學校ヲ卒業シタル者ハ第三種ノ資格ヲ有スルモノトス

遞信大臣前二項ノ認定ヲ爲スニ當リテハ學科目、程度、設備其ノ他必要ナル事項ニ關スル檢定委員ノ審查ヲ經ルモノトス

第十六條　前條ノ認定ヲ受ケントスル者ハ指定ノ期日迄ニ履歷書第二號樣式、戶籍ノ抄本及寫眞ヲ添ヘ檢定申請書第一號樣式ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

前二項ニ依リ認定シ又ハ認定ヲ取消シタル學校及資格ハ之ヲ告示ス

第十七條　前條ノ認定ヲ受ケントスルモノハ申請書第四號樣式及認定ニ必要ナル書類ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

認定ヲ受ケタル後前項ノ規定ニ依リ提出セル書類ニ記載セル事項ヲ變更セントスルトキハ遞信大臣ニ屆出ヅベシ

附　則

本令ハ昭和七年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

三年以上電氣技術ノ實務ニ從事シ且電氣事業取締規則ニ依ル主任技術者タリシ者ハ本令ニ依ル主任技術者ノ詮衡檢定ヲ受クルコトヲ得

大正十年五月九日以前ノ規定ニ依リ第一級ノ資格ヲ有スル者ハ第一種、第二級又ハ第三級ノ資格ヲ有スル者ハ第二種、第四級又ハ第五級ノ資格ヲ有スル者ハ第三種ノ資格ヲ有スルモノト看做ス

本令施行前ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當シ第一種ノ資格ヲ有シタル者ハ本令施行後ト雖モ其ノ資格ヲ有スルモノトス

一　大學令ニ依ル大學ノ工學部又ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ電氣工學ヲ專修シ其ノ卒業證書ヲ有スル者若ハ之ニ相當スル學士試驗ニ合格シタル者

二　電氣工學ニ關シ工學博士ノ學位ヲ有スル者

（第一號樣式）（用紙美濃紙）

收入印紙

電氣事業主任技術者資格檢定申請書

族籍

（振假名ヲ附スルコト）

申請人 氏名

年月日生

檢定ノ種別 第何種

受驗地 何々

第一次試驗合格年月 何年何月

（括弧内ハ朱書ノコト）

私儀電氣事業主任技術者資格檢定規則（ニ依リ前記種別ノ試驗）（第七條ニ依リ前記種別ノ銓衡）檢定相受度同規則第十條ニ依ル書類相添ヘ申請候也

年月日

現住所

右

氏名㊞

逓信大臣 氏名殿

（第二號樣式）（用紙美濃紙）

履歷書

族籍

氏名

年月日生

學業

一、何年何月何日　何學校何科ニ入學

一、何年何月何日　何學校何科修業、卒業又ハ退學（銓衡檢定ノ場合ニ限リ卒業又ハ修業證書ノ寫添附ノコト）

一、何年何月何日　電氣事業主任技術者資格第何種若ハ第何級ノ（試驗檢定）（銓衡檢定）ニ合格

一、〃〃〃〃　何々

職務

一、何年何月何日　何官廳（官職名記載）、何會社又ハ何商店ニ於テ何々ノ職務ニ從事

一、〃〃〃〃　何々（銓衡檢定ノ場合ニ限リ現ニ在職ノ者ハ其ノ證明書添附ノコト）

賞罰

一、何年何月何日、何々

右之通相違無之候也

年月日

現住所

氏名㊞

逓信大臣 氏名殿

（第三號樣式）

第　號

電氣事業主任技術者資格檢定合格證書

族籍

氏名

年月日生

檢定ノ種別 第何種

右電氣事業主任技術者資格檢定規則ニ依リ（成規ノ試驗ヲ經テ前記種別ノ資格ニ合格シタリ）（檢定委員ノ銓衡ヲ經テ前記種別ノ資格ヲ有スル者ト檢定ス）仍テ之ヲ證ス

年月日

電氣事業主任技術者資格檢定委員長 氏名㊞

電氣事業主任技術者資格檢定委員長ノ證明ヲ認了シ玆ニ合格證書ヲ附與ス

年月日

逓信大臣 氏名㊞

（第四號樣式）（用紙美濃紙）

電氣事業主任技術者資格ニ關スル認定申請書

認定ノ種別 第何種　何々學校

電氣事業主任技術者資格檢定規則第十五條ニ依ル認定相受度別紙必要書類相添ヘ申請候也

年月日

申請者 何某㊞

逓信大臣 氏名殿

○汽機汽罐主任者技能認定ニ關スル件

昭和十年五月一日
逓信省告示第千百五十三號

發電用汽機汽罐取締規則第十條ノ規定ニ依リ汽機汽罐主任者技能認定ニ關スル件左ノ通定メ本日ヨリ之ヲ施行ス

（第一號樣式）

汽機汽罐主任者技能認定ニ關スル件

第一條 汽壓十五瓩毎平方糎未滿ニシテ發電所出力三千キロワット未滿ノ電氣事業用發電所又ハ汽壓十五瓩毎平方糎未滿ニシテ發電所出力五千キロワット未滿ノ自家用發電所ノ汽機汽罐主任者ノ技能認定ハ實業學校令ニ依ル實業學校若ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ機械工學ヲ專修シ其ノ學校ヲ卒業シタル者又ハ機械技術ニ關シ相當ノ學識經驗ヲ有スル者ニ就キ之ヲ行フ

第二條 汽壓三十瓩毎平方糎未滿ニシテ發電所出力五萬キロワット未滿ノ電氣事業用發電所又ハ汽壓三十瓩毎平方糎未滿ノ自家用發電所ノ汽機汽罐主任者ノ技能認定ハ專門學校令ニ依ル實業專門學校若ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ機械工學ヲ專修シ之ヲ修得シタル者又ハ前條ニ該當スル者ニシテ滿四年以上汽壓十五瓩毎平方糎以上ノ汽機汽罐取扱ノ實務ニ從事シタル者ニ就キ之ヲ行フ

第三條 汽壓三十瓩毎平方糎以上若ハ發電所出力五萬キロワット以上ノ電氣事業用發電所又ハ汽壓三十瓩毎平方糎以上ノ自家用發電所ノ汽機汽罐主任者ノ技能認定ハ大學令ニ依ル大學ノ工學部若ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ機械工學ヲ專修シ之ヲ修得シタル者又ハ前條ニ該當スル者ニシテ滿三年以上汽壓二十五瓩毎平方糎以上ノ汽機汽罐取扱ノ實務ニ從事シタル者ニ就キ之ヲ行フ

第四條 發電用汽機汽罐取締規則第十條ノ規定ニ依ル技能認定ヲ受ケントスルトキハ履歷書第二號樣式、修得シタル學科ニ關スル證明書必要アルトキハ說明書ヲモ添附スベシ、汽機汽罐取扱ノ實務ニ從事シタルコトヲ證スルニ足ル書面及戸籍ノ抄本ヲ添ヘ申請書第一號樣式ヲ逓信大臣ニ提出スベシ

汽機汽罐主任者技能認定申請書

一　技能認定ヲ必要トスル者ノ氏名
二　所屬發電所名、出力及汽壓

右發電用汽機汽罐取締規則第十條ニ依ル認定相受度申請候也

年　月　日

住所
申請者　名㊞
主任技術者名㊞

遞信大臣　氏　名殿

（第二號樣式）

履歷書

族籍
氏　名
年月日生

學業

一、何年何月何日　何學校何科ニ入學
一、〃〃〃〃〃　何學校何科修業、卒業又ハ退學
一、〃〃〃〃〃　何々

職務

一、何年何月何日　何官廳、何會社ノ何發電所又ハ何工場ニ於テ汽壓何瓩毎平方糎ノ汽機汽罐ノ取扱ニ從事
一、〃〃〃〃〃　何々

賞罰

一、何年何月何日　何々

○堰堤主任者技能認定ニ關スル件

昭和十年六月十五日
遞信省告示第千六百二十一號

發電用高堰堤規則第八條ノ規定ニ依リ堰堤主任者技能認定ニ關スル件左ノ通定メ本日ヨリ之ヲ施行ス

堰堤主任者技能認定ニ關スル件

第一條　堰堤ノ工事、操作及保守ニ關スル事項ヲ擔任スル堰堤主任者ノ技能認定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ之ヲ行フ

一　專門學校令ニ依ル實業專門學校若ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ土木工學ヲ專修シ之ヲ修得シタル者ニシテ高サ十五米以上ノ堰堤工事ニ關スル實務經驗ヲ有スル者
二　第二條ニ該當スル者ニシテ三回以上高サ十五米以上ノ堰堤工事ノ實務ニ從事シタル者

第二條　專ラ堰堤ノ操作及保守ニ關スル事項ヲ擔任スル堰堤主任者ノ技能認定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ之ヲ行フ

一　實業學校令ニ依ル實業學校若ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ土木工學ヲ專修シ其ノ學校ヲ卒業シタル者ニシテ堰堤工事ニ關スル實務經驗ヲ有スル者
二　土木技術ニ關シ相當ノ學識經驗ヲ有スル者

右之通相違無之候也

年　月　日

現住所
氏　名㊞

遞信大臣　氏　名殿

（第二號樣式）

履歷書

族籍
氏　名
年月日生

學業

一、何年何月何日　何學校何科ニ入學
一、〃〃〃〃〃　何學校何科修業、卒業又ハ退學
一、〃〃〃〃〃　何々

職務

一、何年何月何日　何官廳、何會社ノ何發電所ニ於テ高サ何米以上ノ堰堤工事又ハ操作ニ從事
一、〃〃〃〃〃　何々

賞罰

一、何年何月何日　何々

右ノ通相違無之候也

年　月　日

現住所
氏　名㊞

○電氣ニ關スル注意心得

大正二年六月二十七日
遞信省告示第五百三十五號

明治三十一年六月遞信省告示第百七十號ヲ左ノ通改正ス

電氣ニ關スル注意心得

電柱及電線ニ關スル注意

一　電柱及電線ニハ成ルヘク接觸セサルヲ良トス殊ニ暴風雨、雪、雷鳴ノ際ニハ最モ注意スヘシ、低壓電燈、電力線及電信電話線ハ通常危險ナシト雖モ暴風雨、雪、雷鳴竝ニ事變ノ際ニハ電燈、電力用高壓電線又ハ電氣鐵道用電線ト混觸スルノ虞アレハ右等ノ場合ニハ總テ電柱、電線類ニ身體ヲ觸レサル樣注意スヘシ、電線ヲ支持スル碍子、脫木又ハ電柱ノ金部若ハ一部ヲ赤色ニ塗リタルモノ又ハ左ノ標示アルモノハ高壓又ハ特別高壓電氣ノ通スルモノナレハ特ニ注意スヘシ

第三條　發電用高堰堤規則第八條ノ規定ニ依ル技能認定ヲ受ケントスルトキハ履歷書（第二號樣式）、修得シタル學科ニ關スル證明書必要アルトキハ說明書ヲモ添附ス、堰堤工事ノ實務ニ從事シタルコトヲ證スルニ足ル書面及戶籍ノ抄本ヲ添ヘ申請書（第一號樣式）ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

（第一號樣式）

堰堤主任者技能認定申請書

一　技能認定ヲ必要トスル者ノ氏名
二　所屬堰堤ノ名稱及高サ　河川名及關係發電所名ヲ附記スヘシ
三　擔任事項　工事、操作及保守ニ關スル事項又ハ操作及保守ニ關スル事項ノ別ヲ記載スヘシ

右發電用高堰堤規則第八條ニ依ル認定相受度申請候也

年　月　日

住所
申請者　名㊞
主任技術者名㊞

遞信大臣　氏　名殿

（第二號樣式）

履歷書

族籍
氏　名
年月日生

學業

一、何年何月何日　何學校何科ニ入學
一、〃〃〃〃〃　何學校何科修業、卒業又ハ退學
一、〃〃〃〃〃　何々

二尺
注意
一尺

二　電柱、電線ノ近傍ニ出火アリテ電柱類燒ノ虞アリトモ妄リニ刃物ヲ以テ電線ヲ切斷シ又ハ電柱ヲ倒ス等ノコトアルヘカラス此ノ道ニ心得ナクシテ之ヲ試ムルトキハ意外ノ危險ニ陷ルコトアリ注意スヘシ

三　電柱、腕木、電線又ハ之ニ接續スル物品ニ火花ヲ發シ又ハ異狀アルトキハ速ニ警察官又ハ電氣事業者ニ報知スヘシ但シ電氣鐵道ニ於テ電車通行ノ際火花ヲ發スルハ通常ナレハ之等ハ別段トス

四　電線ノ切斷垂下セルモノアルモ妄リニ之ニ觸ル可ラス萬一已ムヲ得スシテ切斷垂下線ヲ動カストキハ乾キタル布ニテ厚ク手ヲ包ミ乾燥シタル長キ竹木ノ類ヲ以テ間接ニ之ニ觸ルヘシ其ノ間乾キタル靴若ハ下駄類ヲ穿ツヲ良トス若シ跣足又ハ草鞋ノ儘ニテ刃物又ハ金棒類ヲ以テ電線ニ觸ルルトキハ電撃ヲ受クルコトアルヘシ

室內用電力電燈線ニ關スル注意

五　室內用電線ハ電氣ノ漏泄ヲ防ク爲メ絲「ゴム」又ハ布ニテ包ミアルモ若シ缺損ノ箇所アルトキハ危險ノ虞アリ然ルニ往々電線ヲ戸障子間ノ如キ開閉ノ爲メ摩擦セラルル所ニ挾ミ又ハ電燈球ヲ疎漏ニ上下ニ動カシ之カ爲メ線ノ外包ヲ破損シ其ノ儘ニ放棄シ置クコトアリ此ノ如キハ不時ニ發火スル危險ノ虞アルモノナレハ室內用電線ハ決シテ損傷セサル樣注意シ若シ損傷ノ箇所アラハ速ニ電氣事業者ニ報知シ修補セシムヘシ

六　電線ヲ瓦斯管、水道管其ノ他ノ金屬體ニ接セシメ又ハ釘ニ懸クル等ハ其ノ外包ノ損傷ヲ來シ易ク電氣ノ漏洩ヲ惹キ起ス虞アルモノナレハ必ス之ヲ避クヘシ

七　電燈ノ點滅ハ電燈點滅器ニ依リテ之ヲ爲シ其ノ際成ルヘク電線電氣器具等ニ手ヲ觸ルヘカラス、電線其ノ他電氣器具ヲ濕ラストキハ電氣ノ漏泄ヲ導キ易ク危害ヲ招クノ虞アリ故ニ室內用電線電球其ノ他電氣器具ハ成ルヘク濕ラサル樣注意シ且ツ決シテ濡手ニテ取扱フ可カラス電氣器具及室內電線等ヲ玩弄シ又ハ水氣アル手指ニテ扱ヒ或ハ跣足ノ儘土間ニ在リテ之ニ觸ルル等ハ電氣ニ感シ易ク危險ナレハ電氣需用者ハ篤ク使用人等ニ教ヘ常ニ注意スヘシ

八　室內電線其ノ他之ニ接續セル電氣器具ニ火花ヲ發シ或ハ其ノ他異狀アリト認メタルトキハ引込口開閉器ヲ遮斷スヘシ引込口開閉器ニハ麻繩ノ類ヲ付シ之ニヨリ容易ニ開閉器ヲ遮斷シ得ル樣ニ裝置スヘシ

觸電者ニ對スル應急取扱法

九　若シ電氣ノ爲ニ氣絕シタルモノアラハ直ニ被害者ヲ其ノ電線ヨリ取離スカ又ハ電氣ノ傳ハラサル樣便宜ノ方法ヲ施スヘシ

十　電氣ノ傳ハラサル樣ニナスニハ電氣事業者ヲシテ適當ナル方法ヲ採ラシムヘキハ勿論ナルモ第八ニ記載セル方法ニ依リ引込口開閉器ヲ遮斷スルカ或ハ乾キタル竹木ノ長キ柄ヲ有スル刃物ニテ電線ヲ斷チ截ルヘシ(注意ノ標示アル電線ヲ除ク)被害者ヲ電線ヨリ取離ス場合ハ勿論此ノ場合ニ於テモ素手ニテ爲ササル樣注意シ必ス乾キタル竹木或ハ布片類ノ如キ電氣ノ傳ハリ難キモノヲ用井テ之ヲ行フヘシ

十一　人工呼吸ヲナスニハ被害者ノ類及胸部ノ衣類ヲ弛メ且ツ其ノ上衣ヲ脫シテ之ヲ疊ミ肩ノ下ニ敷キ類ヲ後方ニ垂レシメ左記二法ノ一ニ依ルヘシ、縱令蘇生ノ見込ナキ樣見ユルトモ醫師ノ來ル迄ハ之ヲ

機續スヘシ

甲法　手術者ハ假死者ノ頭ノ上方ニ於テ跪キ其ノ腕ヲ握リ第一圖ニ示ス如ク之ヲ頸ノ上方ニ充分引伸ハシ(斯クスルトキハ胸部擴大セラレ空氣ハ肺中ニ進入ス)斯クシテ三四秒ノ後(一、二、三ト數フル時間ノ後)第二圖ニ示ス如ク引伸ハシタル兩腕ヲ前方ニ曲ケ胸部ヲ强ク壓迫スヘシ(斯クスルトキハ肺中ノ空氣體外ニ排出サル)此ノ方法ハ一分時間十五六回ノ割合ヲ以テ之ヲ繰返スヘシ

乙法　手術者ハ第三圖ニ示ス如ク假死者ノ上ニ跨リ左右兩掌ヲ胸壁ノ下部ニ當テ(其ノ拇指ヲ鳩尾(ミヅオチ)ノ邊ニ置ク樣當カフヘシ)肺中ノ空氣ヲ排出スル爲メ其ノ部分ヲ緊縮シツツ前下方ニ向テ强ク壓迫ヲ加フヘシ此ノ時手術者ハ第四圖ニ示ス如ク自己ノ身體ノ重ミヲ利用スヘシ斯クシテ三四秒ノ後急ニ手ヲ離スヘシ此ノ方法モ亦一分時間十五六回ノ割合ヲ以テ之ヲ繰返スコトヲ要ス

十二　人工呼吸法ヲ行フ間ニ他ノ一人ハ舌挾ミヲ用キテ(若シ舌挾ミノ用意ナキ時ハ布片ノ類ニテ)氣絕シタル者ノ舌ヲ摘ミ空氣ヲ肺中ニ吸込マシムル際ハ之ヲ引出シテ空氣ノ肺ニ進入スルコトヲ容易ナラシメ又空氣ヲ肺ヨリ排出スル際ハ舌ヲ元ニ戻スヘシ斯クシテ之ヲ繰返シ行フコトハ人工呼吸法ニ最モ必要ナルコトニシテ決シテ之ヲ怠ニスヘカラス故ニ若シ氣絕シタル者カ堅クロヲ閉チテ舌ヲ挾ミ出スコト能ハサル時ハ棒、木片或ハ小刀ノ柄等ニテ强テロヲ開カシメタル上之ヲ行フヘキモノトス又假死者ニ水其ノ他ノ飲料ヲ飲マシメント試ムヘカラサルハ勿論苟且ニモ水ヲ吹掛クル等ノコトヲナスヘカラス是流動物ハ呼吸器ヲ閉鎖セシムルノ虞アルカ故ナリ尙手助ケアラハ「ガーゼ」又ハ綿ニ「アムモニア」水ヲ含マセ之ヲ氣絕シタル者ノ鼻ノ附近ニ置キ其ノ呼吸機能ニ刺戟ヲ與フルヲ可トス

十三　電氣事業者ハ常ニ發電所、變電所、蓄電所、開閉所及工夫散宿所等ニ人工呼吸法ニ必要ナル舌挾ミ竝ニ「アムモニア」水等ヲ備ヘ尙從事員ニ常時人工呼吸法ヲ習得セシメ置クヲ可トス

十四　本告示中電氣需用者ニ知悉セシムルノ必要アル事項ハ電氣事業者ニ於テ之カ周知ノ方法ヲ講スヘシ

第一圖

第二圖

第三圖

第四圖

○東北振興電力株式會社法

昭和十一年五月二十七日　（總理、大藏、內務、農林、逓信、商工大臣副署）
法律第十六號

第一條　東北振興電力株式會社ハ東北地方ノ振興ヲ圖ル爲同地方ニ於ケル電氣事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社トス

東北振興電力株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ前項ノ事業ニ附帶スル業務ヲ營ミ又ハ東北地方ニ於ケル他ノ電氣事業ニ投資スルコトヲ得

第二條　東北振興電力株式會社ノ資本ハ三千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ增加スルコトヲ得

第三條　東北振興電力株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

第四條　東北振興電力株式會社ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ五十年トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第五條　東北振興電力株式會社ニ社長副社長各一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

第六條　社長ハ東北振興電力株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副社長ハ社長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ社長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副社長及理事ハ社長ヲ補助シ東北振興電力株式會社ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ東北振興電力株式會社ノ業務ヲ監査ス

第七條　社長及副社長ハ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ株主中ヨリ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選擧シ政府其ノ中ヨリ

之ヲ命ジ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三年トス

第八條 社長、副社長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 政府ハ東北振興電力株式會社ノ業務ヲ監督ス

第十條 東北振興電力株式會社社債ヲ募集セントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第十一條 定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十二條 東北振興電力株式會社ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第十三條 東北振興電力株式會社事業計畫ヲ設定シ又ハ變更セントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第十四條 政府ハ東北振興電力株式會社ノ業務ニ關シ監督上又ハ東北地方振興上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十五條 政府ハ東北振興電力株式會社監理官ヲ置キ東北振興電力株式會社ノ業務ヲ監視セシム

第十六條 東北振興電力株式會社監理官ハ何時ニテモ東北振興電力株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査スルコトヲ得

東北振興電力株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ東北振興電力株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

東北振興電力株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第十七條 政府ハ東北振興電力株式會社ノ決議又ハ社長、副社長、理事若ハ監事ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ社長、副社長、理事若ハ監事ヲ解任スルコトヲ得

第十八條 東北振興電力株式會社ノ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ拂込ミタル株金額ニ對シ第三營業年度迄ニ在リテハ年百分ノ六ノ割合ニ達セザルトキハ政府ハ第四營業年度以降ニ在リテハ年百分ノ六ノ割合ニ達セシムベキ金額ヲ補給スベシ但シ其ノ額ハ每營業年度ニ於テハ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合、各營業年度ヲ通ジテハ五百五十萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ハ先ヅ前項ノ規定ニ依ル補給金ノ償還ニ充ツベシ

第十營業年度迄每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ノ割合ヲ超過スルトキハ年百分ノ六ヲ超ユル金額ニ付テハ其ノ全額ヲ配當準備ノ爲別ニ積立ツベシ

第二項ノ規定ニ依リ補給金ヲ償還シ尙殘餘アリタルトキハ之ヲ前項ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ノ割合ヲ超過シタル當該營業年度ノ利益金ト看做ス

前二項ノ規定ニ依ル積立金ハ後營業年度ニ於ケル第一項ノ規定ニ依ル補給金ノ計算ニ付テハ之ヲ配當シ得ベキ利益金ト看做ス

第十九條 東北振興電力株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ社長又ハ社長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副社長ヲ百圓以上二千圓以下ノ過料ニ處ス

ルコト亦同ジ

一 本法ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 第十四條ノ規定ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

第二十條 東北振興電力株式會社ノ社長、副社長及理事第八條ノ規定ニ違反シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十一條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

第二十二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十一年勅令第八十二號ヲ以テ同年六月一日ヨリ施行）

第二十三條 政府ハ設立委員ヲ命ジ東北振興電力株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第二十四條 設立委員ハ定款ヲ作成シ政府ノ認可ヲ受ケタル後株主ヲ募集スベシ

第二十五條 株式申込書ニハ定款認可ノ年月日竝ニ商法第百二十六條第二項第二號、第四號及第五號ニ規定スル事項ヲ記載スベシ

第二十六條 設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ政府ニ提出シ其ノ檢査ヲ受クベシ

第二十七條 設立委員ハ前條ノ檢査ヲ受ケタル後遲滯ナク各株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

第二十八條 創立總會ニ於テハ第七條ノ規定ニ準ジ理事候補者ノ選擧及監事ノ選任ヲ行フベシ

第二十九條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ東北振興電力株式會社社長ニ引渡スベシ

第二節 工事 工作

○電氣工作物規程

昭和七年十一月二十一日
遞信省令第五十三號

改正 昭和一〇年第二〇號

目 次

第一編 本 則
第一章 總 則
第一節 通 則
第二節 機械及器具
第三節 電線、電路及附屬設備
第二章 送電線路、配電線路及饋電線路
第一節 通 則
第二節 低壓及高壓架空電線路
第三節 特別高壓架空電線路
第四節 地中電線路
第五節 隧道其ノ他之ニ類スル場所ヲ通過スル電線路
第六節 保安通信設備
第三章 電氣使用場所ニ於ケル工事
第一節 屋外工事
第二節 屋内工事

第二編 電氣 瓦斯　第一章 電氣　電氣工作物規程
第三節 隧道、坑道其ノ他之ニ類スル場所ノ工事
第四節 臨時工事
第四章 電氣鐵道
第一節 通則
第二節 電車線路及第三軌條
第三節 歸線
第四節 電車
第二編 細則
第一章 總則
第一節 機械及器具
第二節 電線、電路及附屬設備
第二章 送電線路、配電線路及饋電線路
第一節 通則
第二節 低壓及高壓架空電線路
第三節 特別高壓架空電線路
第四節 保安通信設備
第三章 電氣使用場所ニ於ケル工事
第一節 屋外工事
第二節 屋內工事
第四章 電氣鐵道
第一節 通則
第二節 電車線路及第三軌條
第三節 歸線
附則

電氣工作物規程

第一編 本則

第一章 總則

第一節 通則

第一條 電氣工作物ノ施設及電氣工作物ト其ノ他ノ工作物トノ間ニ於ケル障害ヲ防止スルニ必要ナル施設ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於ケル用語ハ左ノ例ニ依ル

一 發電所トハ發電機、原動機其ノ他ノ機械器具ヲ設備シ電氣ヲ發生スル所ヲ謂フ

二 變電所トハ構外ヨリ送電セラルル電氣ヲ更ニ構外ニ送電又ハ配電スル爲構內ニ設備シタル變壓器、電動發電機、廻轉變流機其ノ他ノ機械器具ニ依リ構成スル所ヲ謂フ

三 開閉所トハ發電所、變電所、需用場所以外ノ場所ニ於テ送電又ハ配電ノ爲構內ニ設備シタル開閉器其ノ他ノ裝置ニ依リ電路ヲ開閉スル所ヲ謂フ

四 電線トハ强電流電氣傳送ニ用フル電氣導體ヲ謂フ

五 電線路トハ電線及之ヲ支持シ又ハ保藏スル工作物ヲ謂フ

六 送電線路トハ發電所又ハ變電所相互間ヲ連絡スル電線絡ヲ謂フ

七 配電線路トハ發電所、變電所又ハ送電線路ヨリ他ノ發電所又ハ變電所ヲ經過セズシテ需用場所ニ至ル電線路ニシテ引込線以外ノモノヲ謂フ

八 引込線トハ配電線路ヨリ分岐シテ需用場所ノ引込口ニ至ル部分ノ電線ヲ謂フ

九 架空引込線トハ配電線路ノ支持物ヨリ他ノ支持物ヲ經過セズシテ需用場所ノ取付點ニ至ル架空電線ヲ謂フ

十 饋電線路トハ發電所又ハ變電所ヨリ他ノ發電所又ハ變電所ヲ經過セズシテ電車線又ハ第三軌條ニ至ル電線路ヲ謂フ

十一 電車線路トハ電車線及之ヲ支持スル工作物ヲ謂フ

十二 電車線トハ電車ニ其ノ動力タル電氣ヲ供給スルニ用フル架空接觸電線ヲ謂フ

十三 支持物トハ電線路ニ使用スル木柱、鐵柱、鐵塔及鐵筋「コンクリート」柱ヲ謂フ

十四 弱電流電線トハ電信線、電話線、電氣信號線其ノ他弱電流電氣傳送ニ用フル電氣導體ヲ謂フ

十五 地中管路トハ地中ニ施設シタル電線路、弱電流電線及之ヲ保藏スル管、瓦斯管、水道管、下水管、空氣管竝ニ之ニ附屬スル地中函及接續函等ヲ謂フ

第三條 電壓ハ左ノ區別ニ依リ低壓、高壓及特別高壓ノ三種トス

一 低壓トハ直流ニ在リテハ六百ヴオルト、交流ニ在リテハ三百ヴオルトヲ超過セザルモノヲ謂フ

二 高壓トハ低壓ノ限度ヲ超過シ三千五百ヴオルトヲ超過セザルモノヲ謂フ

三 特別高壓トハ高壓ノ限度ヲ超過スルモノヲ謂フ

第四條 本令ニ明文ナキ施設ニ關シテハ其ノ設計ニ付遞信大臣ニ認可ヲ申請スベシ

第五條 本令ニ依リ遞信大臣又ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由、工事方法及關係圖面ヲ具シ申請スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ遞信大臣ニ認可ヲ申請スルモノナルトキハ申請書ノ副本ヲ所轄遞信局長ニ提出スベシ

第六條 電氣事業法施行規則ニ依リ遞信大臣又ハ遞信局長ニ認可ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ申請事項中本令ニ依リ遞信大臣又ハ遞信局長ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ施設シ得ザル事項又ハ之ニ關係スルモノアルトキハ其ノ申請書中ニ特ニ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ本令ニ依リ別ニ認可ヲ受クルコトヲ要セズ但シ遞信局長ニ認可ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ申請事項中本令ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ施設シ得ザル事項又ハ之ニ關係スルモノアルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 電氣事業者ハ三年間本令ノ規定ニ依ル記錄書類ヲ保存スルコトヲ要ス

第二節 機械及器具

第八條 發電機、電動機、調相機等ハ其ノ最大使用電壓ノ一・五倍ノ電壓ヲ以テ其ノ捲線ト大地トノ間ノ絕緣耐力ヲ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコトヲ要ス

前項ノ機械ヲ一定限度ヲ超過セザル「インピーダンス」消弧線輪ノヲ通ジテ中性點ヲ接地シタル電路ニ接續スル場合ハ特別高壓ノモノニ限リ前項ノ試驗電壓ヲ最大使用電壓ノ一・二五倍迄ニ輕減スルコトヲ得

廻轉變流機ハ其ノ直流側ノ最大使用電壓ノ一倍ノ交流電壓ヲ以テ其ノ捲線ト大地トノ間ノ絕緣耐力ヲ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコトヲ要ス

水銀整流器ハ其ノ直流側ノ最大使用電壓ノ二倍ノ交流電壓ヲ以テ主陽極ト外函トノ間ノ絕緣耐力ヲ試驗シ且直流側ノ最大使用電壓ノ一倍ノ交流電壓ヲ以テ陰極及外函ト大地トノ間ノ絕緣耐力ヲ試驗シ各十分間以上之ニ耐フルコトヲ要ス

第一項、第三項及前項ノ試驗電壓ハ最低五百ヴオルトトス

第九條　變壓器計器用變成ハ特殊ノモノ（細則第五條參照以下細則參照ノ場合ハ細第何條ト記載ス）ヲ除クノ外其ノ最大使用電壓ニ從ヒ左ノ區別ニ依ル絕緣耐力試驗ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　低壓ノモノニ在リテハ其ノ捲線ト他ノ捲線、鐵心及外函トノ間ノ絕緣耐力ヲ交流千ヴオルトニテ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト但シ二十五ヴオルト以下ノ低壓ノモノニ在リテハ交流五百ヴオルトニテ試驗スルモノトス

二　高壓ノモノニ在リテハ其ノ捲線ト他ノ捲線、鐵心及外函トノ間ノ絕緣耐力ヲ最大使用電壓ノ二倍ノ電壓ヲ以テ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト但シ五百ヴオルト以下ノ高壓ノモノニ在リテハ交流千ヴオルトニテ試驗スルモノトス

三　特別高壓ノモノニ在リテハ左ノ區別ニ依ル試驗電壓ヲ以テ其ノ捲線ト他ノ捲線、鐵心及外函トノ間ノ絕緣耐力ヲ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト

	最大使用電壓	試驗電壓
(イ)	五千ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ二倍
(ロ)	五千ヴオルト以上一萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ニ五千ヴオルトヲ加ヘタルモノ
(ハ)	一萬ヴオルト以上五萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・五倍
(ニ)	五萬ヴオルト以上	最大使用電壓ニ二萬五千ヴオルトヲ加ヘタルモノ

特殊ノ設計ニ依ル變壓器ニシテ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前二項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第十條　特別高壓用變壓器其ノ他ノ機械器具ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外發電所、變電所其ノ他之ニ準ズル場所ニシテ取扱者ノ外出入シ得ザル樣設備シタル場所ニ裝置スルコトヲ要ス

第十一條　市街地外ニ於テ特別高壓電線路ニ接續スル配電變壓器ニシテ屋外ニ設置スルモノハ左ノ各號ニ依リ且危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第六條）

一　一次電壓ハ三萬五千ヴオルト以下、二次電壓ハ高壓ナルコト但シ第十三條但書ノ規定ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

二　總出力ハ百五十キロヴオルトアムペア以下ナルコト但シ特殊ノ事由ニ依リ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

三　變壓器及特別高壓電氣ヲ以テ充電スル電線其ノ他ノ器具ハ地表上六米以上ノ高サニ施設スルコト但シ其ノ周圍ニ落離ヲ設ケ落離ノ高サ及落離ヨリ充電部分ニ至ル距離ノ和ヲ六米以上ニ保持スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

市街地ニ於テハ前項ノ配電變壓器ヲ施設スルコトヲ得ズ但シ土地ノ狀況ニ依リ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條　高壓架空電線路ニ接續スル配電變壓器ニシテ屋外ニ設置スルモノハ地表上四・五米以上ノ高サニ於テ支持物ニ堅牢ニ取付クルコトヲ要ス

高壓地中電線路ニ接續スル配電變壓器ハ地中ニ適當ニ施設シ又ハ第三種地線工事ニ依リ接地シタル金屬製變壓塔內又ハ石造、煉瓦造若ハ「コンクリート」造ノ變壓塔內ニ裝置スルコトヲ要ス

危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設シタル場合（細第七條）又ハ特殊ノ設計ニ依リ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前二項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第十三條　特別高壓ヲ直ニ低壓ニ變成スル變壓器ハ特殊ノ場合（細第八條第一項）又ハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ一萬五千ヴオルト以下ノモノニシテ危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設スル場合（細第八條第二項）ハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條　發電機、電動機、廻轉變流機、調相機等ノ鐵臺及變壓器ノ外函（外函ナキ場合ハ鐵心）ハ左ノ各號ニ依リ接地スルコトヲ要ス但シ危險ノ虞ナキ樣適當ノ施設ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ（細第九條）

一　特別高壓及高壓ノモノ　第一種地線工事

二　低壓ノモノ　第三種地線工事

乾燥シタル場所ニ施設スル交流百五十ヴオルト、直流三百ヴオルト以下ノモノニ限リ前項ノ接地ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第十五條　高壓又ハ特別高壓用開閉器、自動遮斷器、避雷器其ノ他之ニ類シ弧光ヲ發スル器具ト木製ノ壁、天井其ノ他ノ可燃質物トハ高壓用ノモノニ在リテハ一米以上、特別高壓用ノモノニ在リテハ二米以上離隔スルコトヲ要ス但シ耐火質物ヲ以テ兩者間ヲ隔離シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條　高壓又ハ特別高壓電氣ヲ以テ充電スル器具及電線ハ人ノ容易ニ觸ルル虞ナキ樣適當ニ裝置スルコトヲ要ス但シ取扱者ノ外出入シ得ザル樣設備シタル場所ニ裝置スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條　非包裝可熔片ハ定格電流ノ一・二五倍ノ電流ニ耐ヘ一定時間內ニ一定電流ニ依リ確實ニ熔斷スルモノナルコトヲ要ス（細第十條）

非包裝可熔片ハ特殊ノモノ（細第十一條）ヲ除クノ外硬キ金屬製ノ端片ヲ附着シタルモノヲ使用スルコトヲ要ス

第三節　電線、電路及附屬設備

第十八條　絕緣電線ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外使用ノ目的ニ依リ第一種絕緣電線、第二種絕緣電線、第三種絕緣電線又ハ第四種絕緣電線ヲ使用スルコトヲ要ス（細第十二條乃至第十六條）但シ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條　可撓紐線ニハ使用ノ目的ニ依リ第一種可撓紐線、第二種可撓紐線、第三種甲可撓紐線、第三種乙可撓紐線又ハ第四種可撓紐線ヲ使用スルコトヲ要ス（細第十七條乃至第二十二條）但シ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　絕緣電線及可撓紐線ハ使用電流ニ因ル溫度上昇ノ爲絕緣物ヲ損傷セザルモノナルコトヲ要ス（細第二十三條）

第二十一條　電路中必要ナル箇所ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ各極ニ適當ナル開閉器ヲ裝置スルコトヲ要ス

第二十二條　機械器具及電線ヲ保護スル爲電路中必要ナル箇所ニ適當ナル

自動遮斷器ヲ裝置スルコトヲ要ス

地線工事ノ接地線、多線式電路ノ中性線及變壓器ノ低壓側ノ一端子ヲ接地シタル場合ニ於ケル接地側ノ低壓架空電線ニハ自動遮斷器ヲ裝置スルコトヲ得ズ

第二十三條　高壓及一萬五千ヴオルト以下ノ特別高壓電路中必要ナル箇所ニハ適當ナル檢漏器ヲ裝置スルコトヲ要ス（細第二十五條）

第二十四條　高壓及特別高壓電路中必要ナル箇所（細第二十六條）ニハ避雷器ヲ適當ニ裝置スルコトヲ要ス

避雷器ノ接地ハ第一種地線工事ニ依リ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十五條　電路ニ裝置シタル開閉器、自動遮斷器、誘導調整器、計器用變成器等ノ器具ハ其ノ最大使用電壓ニ從ヒ左ノ區別ニ依ル電壓ヲ以テ其ノ電氣ヲ通ズル部分ト大地トノ間ノ絕緣耐力ヲ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコトヲ要ス

最大使用電壓	試驗電壓
一　五萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・五倍但シ最低五百ヴオルトトス
二　五萬ヴオルト以上	最大使用電壓ニ二萬五千ヴオルトヲ加ヘタルモノ

前項ノ器具ヲ一定限度ヲ超過セザル「インピーダンス」消弧線輪ノ類ヲ除ク）ヲ通ジテ中性點ヲ接地シタル電路ニ接續スル場合ハ特別高壓ノモノニ限リ前項ノ試驗電壓ヲ左ノ區別ニ依リ輕減スルコトヲ得

最大使用電壓	試驗電壓
一　五萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・二五倍
二　五萬ヴオルト以上	最大使用電壓ニ一萬三千ヴオルトヲ加ヘタルモノ

變電所、變電所又ハ開閉所內ニ施設シタル機械器具ノ接續線及母線ノ絕緣耐力ニ關シテハ前二項ノ規定ヲ準用ス但シ多心電纜ニ在リテハ心線相互間及心線ト大地トノ間ノ絕緣耐力ヲモ試驗スルモノトス

特殊ノ設計ニ依ル器具ニシテ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ第一項及第二項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第二十六條　變壓器ニ依リ高壓電路ニ結合セラルル低壓電路ニハ其ノ變壓器ノ中性點ニ於テ第二種地線工事ヲ施スコトヲ要ス但シ變壓器ノ構造又ハ配電方法ニ依リ其ノ中性點ヲ接地シ難キトキハ低壓側ノ電壓二百五十ヴオルト以下ノモノニ限リ其ノ一端子ヲ接地スルコトヲ得（細第二十七條）

特殊ノ場合（細第二十八條）又ハ特ニ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第一項ノ地線工事ノ接地線ト大地トノ間ノ電氣抵抗ハ每年一回以上之ヲ試驗シ其ノ成績ヲ記錄スルコトヲ要ス

高壓計器用變成器ノ二次側電路ニハ第三種地線工事ヲ施スコトヲ要ス

第二十七條　變壓器ニ依リ特別高壓電路ニ結合セラルル高壓電路ニハ特殊ノ場合（細第二十九條ノヲ除クノ外變壓器ノ端子ニ近ク其ノ最大使用電壓ニ從ヒ左ノ區別ニ依ル電壓ヲ以テ放電スベキ適當ナル裝置ヲ一極ニ施スコトヲ要ス

最大使用電壓	放電電壓
一　千ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ約二倍以下
二　千ヴオルト以上四百ヴオルト未滿	約二千ヴオルト以下
三　千四百ヴオルト以上	最大使用電壓ノ約一・五倍以下

變壓器ニ依リ特別高壓電路ニ結合セラルル低壓電路ニハ特殊ノ場合（細第二十八條）ヲ除クノ外前條第一項ノ場合ニ準ジ其ノ變壓器ノ中性點又

ハ一端子ニ於テ第二種地線工事ヲ施スコトヲ要ス但シ接地線ト大地トノ間ノ電氣抵抗ハ十オームヲ超過セシムルコトヲ得ズ

前項ノ地線工事ノ接地線ト大地トノ間ノ電氣抵抗ハ每年一回以上之ヲ試驗シ其ノ成績ヲ記錄スルコトヲ要ス

特別高壓計器用變成器ノ二次側電路ニハ第一種地線工事ヲ施スコトヲ要ス

第二十八條　電路ハ左ノ部分ヲ除クノ外其ノ全部ヲ充分大地ヨリ絕緣スルコトヲ要ス但シ遞信大臣ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　前二條ノ規定ニ依リ變壓器ノ低壓側ヲ接地スル場合ニ於ケル接地點

二　電路ノ保安ノ目的ヲ以テ其ノ中性點ヲ接地スル場合ニ於ケル接地點

三　特殊ノ事由ニ依リ電路ノ一部ヲ大地ヨリ絕緣セザル場合（細第三十條）ニ於ケル不絕緣部分

第二十九條　特別高壓電路ニ於テ保安ノ目的ヲ以テ其ノ中性點ヲ接地スル爲使用スル抵抗器又ハ「リアクトル」ハ地絡電流ヲ安全ニ通ジ得ルモノナルコトヲ要ス

高壓電路ノ保安ノ目的ヲ以テ其ノ中性點ヲ接地スル場合ニ於テハ其ノ接地點ハ一箇ニ限リ且該電路ノ一部ニ地氣ヲ生ジタルトキ中性點ヨリ大地ニ通ズル電流ハ五百ミリアムペア以下ナルコトヲ要ス但シ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第三十條　地線工事ハ左ノ三種トシ適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第三十一條）

一　第一種地線工事　接地線ト大地トノ間ノ電氣抵抗ヲ十オーム以下ニ保持スルモノ

二　第二種地線工事　接地線ト大地トノ間ノ電氣抵抗ヲ其ノオーム數ニ變壓器一次側ニ於ケル自動遮斷器ノ動作電流非包裝可熔片ニ在リテハ其ノ定格電流ノ二倍アムペア數ヲ乘ジタル積ガ百五十以下ナル樣保持スルモノ但シ接地線ト大地トノ間ノ電氣抵抗ハ五オーム以下ナルコトヲ要セズ

三　第三種地線工事　接地線ト大地トノ間ノ電氣抵抗ヲ百オーム以下ニ保持スルモノ

地線工事ヲ施スベキ場合ニ於テ工事上已ムヲ得ザルトキハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケテ本條ノ制限ヲ輕減スルコトヲ得

第二章　送電線路、配電線路及饋電線路

第一節　通則

第三十一條　架空電線路ノ支持物ハ他ノ架空電線路又ハ架空弱電流電線路ニ屬スル電線ノ間ヲ貫通シテ之ヲ建設スルコトヲ得ズ

架空電線ハ添架ノ場合ヲ除クノ外他ノ架空電線路電車線路又ハ架空弱電流電線路ニ屬スル支持物ヲ挾ミテ之ヲ架渉スルコトヲ得ズ

第三十二條　架空電線ノ分岐ハ其ノ電線ノ支持點ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條　架空電線路用支持物強度ノ計算ニ適用スベキ風壓荷重ハ甲種風壓荷重、乙種風壓荷重及丙種風壓荷重ノ三種トス

一　甲種風壓荷重　風壓ヲ垂直面ニ對シ一平方米ニ付二百瓩、圓壔面ニ對シ其ノ垂直投影面積一平方米ニ付電線共ノ他ノ架渉線ニ在リテハ百瓩、支持物ニ在リテハ百二十瓩トシテ計算シタルモノ

二　乙種風壓荷重　電線其ノ他ノ架渉線ノ周圍ニ厚サ六粍比重〇・九ノ氷雪附着シタルトキ風壓ヲ前號ノ二分ノ一トシテ計算シタルモノ

三　丙種風壓荷重　風壓ヲ第一號ノ二分ノ一トシテ計算シタルモノ

前項各號ノ風壓ハ支持物ノ種類ニ依リ左ノ如ク加ハルモノトシテ計算ス

ルモノトス

一　木柱、鐵柱及鐵筋「コンクリート」柱

特殊ノモノヲ除クノ外電線路ト直角ノ方向ニ於テ架渉線及支持物ニ前項風壓ノ一倍

二　鐵塔　左記ノ場合ヲ各別ニ計算スルモノトス

(イ)　電線路ト直角ノ方向ニ於テ架渉線ニハ前項風壓ノ一倍、鐵塔ニハ其ノ前面ニ前項風壓ノ一・五倍

(ロ)　電線路ノ方向ニ於テ鐵塔可撓鐵塔ニハ其ノ前面ニ前項風壓ノ一・五倍ヲ除ク

第三十四條　架空電線路ニ用フル鐵柱、鐵塔及鐵筋「コンクリート」柱ノ强度ハ甲種風壓荷重及乙種風壓荷重氷雪多キ地方（細第三十二條）ノ場合ニ限ルノ外レニ對シテモ適當ニ計算シタルモノナルコトヲ要ス但シ人家連檐ノ場所ニ施設スル低壓若ハ高壓架空電線路ノ支持物ニ在リテハ丙種風壓荷重ニ依リ計算スルコトヲ得（細第三十三條、第三十四條及第三十五條）

前項ノ場合ニ於テ支持物基礎ノ强度ハ安全係數ヲ二以上トシテ計算シタルモノナルコトヲ要ス

第三十五條　木柱、鐵柱及鐵筋「コンクリート」柱ニ在リテハ支線ヲ用ヒテ其ノ强度ノ一部ヲ分擔セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ支線ニハ四耗以上ノ亞鉛鍍鐵線五條以上ヨリ成ルモノヲ使用シ且其ノ强度ハ安全係數ヲ三以上トシテ計算シタルモノナルコトヲ要ス（細第三十三條、第三十六條及第三十八條）

第三十六條　架空電線路ノ支持物ニハ事業者名又ハ略稱、支持物番號及建設年月ヲ表示スルコトヲ要ス

高壓又ハ特別高壓架空電線路鐵電線路ヲ除クニハ公衆ヲシテ注意ヲ爲サシムル爲適當ナル表示ヲ爲スコトヲ要ス（細第三十九條）

第三十七條　架空電線ヲ他ノ架空電線電車線ヲ含ム若ハ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ二・五米以内ノ距離ニ接近シテ施設セントスル場合又ハ地中電線路ヲ他ノ地中電線路若ハ地中管路ニ交叉シ又ハ二米以内ノ距離ニ接近シテ施設セントスル場合ハ其ノ工事着手ノ前日迄ニ建設ノ場所及日時ヲ關係管理者ニ通知シ立會ヲ求ムベシ其ノ旣ニ施設シタルモノヲ修理又ハ撤去セントスルトキ亦同ジ但シ關係管理者ニ於テ豫定ノ日時ニ立會ヲ爲サザルトキハ直ニ工事ヲ施行スルコトヲ得

第二節　低壓及高壓架空電線路

第三十八條　市街地ノ道路ニハ二箇以上ノ架空電線路ヲ建設スルコトヲ得ズ

土地ノ狀況ニ依リ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第三十九條　市街地ニ於テ道路ニ沿ヒ道路外ニ架空電線路ヲ建設スルトキハ左ノ制限ニ依ルコトヲ要ス但シ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　道路ノ一側ニ架空弱電流電線路アルトキハ其ノ側ニ於テ道路ヨリ二・五米以内ニ接近シテ建設セザルコト

二　道路及其ノ兩外側二・五米ヲ含ム地帶內ニ道路ニ並行スル架空電線路アルトキハ其ノ地帶內ニ建設セザルコト

第四十條　市街地ノ道路上ニ電線ヲ架設スル架空電線路ハ左ノ制限ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ工事上若ハ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得ザルトキ又ハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得（細第四十一條）

一　架空弱電流電線路トノ交叉數ヲ最小ナラシムルコト

二　道路ノ兩側ニ跨ラズシテ其ノ一側ノミニ施設スルコト但シ交通ニ支障ナキ樣施設シタル水平支線ハ此ノ限ニ在ラズ

三　道路ノ一側ニ架空弱電流電線路アルトキハ他ノ一側ニ施設スルコト

四　電線ハ道路交通頻繁ナラザル道路ノ交叉點以外ノ場所ニ於テ道路ヲ橫斷セザルコト但シ左ニ揭グルモノハ此ノ限ニ在ラズ

(イ)　道路上ニ於ケル配電線路ヨリ分岐シテ一ノ需用場所ノ構外ニ於ケル支持物ヲ經過セズシテ其ノ構內專用配電線路ニ達スル一徑間ノ電線

(ロ)　低壓架空電線ノ架空引込線ニ隣接スル部分（細第四十二條第一項第二號）ガ道路上ニ於ケル配電線路ニ達スル場合ニ於テ其ノ線路ヨリ分岐スル一徑間ノ電線

五　一電線路ノ幅員幅員ニハ支線、支柱ヲハ二・七米ヲ超過セシメザルコト

六　支持物ハ八十度以下ニ傾斜セシメザルコト

前項第四號但書(ロ)ノ場合ニ於テハ道路ノ對側ニ於テ道路上ニ支持物ヲ建設スルコトヲ得ズ

第四十一條　架空電線路ト架空弱電流電線路單線式電話線路ヲ除クト竝行スル場合ハ誘導作用ニ因ル通信上ノ障害ヲ及ボサザル樣電線相互間ノ距離ヲ左ノ各號ニ依リ離隔スルコトヲ要ス

一　交流ノ低壓若ハ高壓電線又ハ直流複線式饋電線ニ在リテハ二米以上

二　直流單線式饋電線ニ在リテハ四米以上

鬲電流電線路管理者ノ承諾ヲ得タルトキハ前項ノ離隔距離ヲ六十糎迄ニ短縮スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ施設スルモ猶旣設架空弱電流電線路ニ對シ障害ヲ及ボス虞アルトキハ更ニ適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第四十三條及第九十一條）

第四十二條　架空電線ニハ其ノ使用電壓ニ從ヒ左ノ電線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコトヲ要ス（細第三十三條）但シ低壓架空電線ノ架空引込線ニ隣接スル部分（細第四十二條）ニシテ徑間二十米以下ナル場合ニ限リ二耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコトヲ得

使用電壓	電線
一　低壓	二・六耗ノ硬銅線
二　高壓	四耗ノ硬銅線

前項ノ電線ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ使用電壓ニ從ヒ左ニ揭グル絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

使用電壓	絕緣電線
一　三百ヴオルト以下	第一種絕緣電線
二　三百ヴオルトヲ超過スル直流低壓	第二種絕緣電線
三　高壓	第三種絕緣電線

第四十三條　架空電線ノ地表上ノ高サ及造營物トノ間隔ハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス但シ危險ノ虞ナキ場合ハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　道路ヲ橫斷スル場合ニ於テハ地表上六米以上

二　鐵道又ハ軌道ヲ橫斷スル場合ニ於テハ軌條面上六米以上

三　前二號以外ノ場合ニ於テハ地表上五米以上
四　造營物ノ側面ニ於テハ造營物ト電線トノ距離一・二米以上
五　造營物ノ上部ニ於テハ造營物ト電線トノ距離二米以上

低壓架空電線ノ架空引込線ニ隣接スル部分（細第四十二條）ニシテ其ノ徑間二十米以下ナル場合ハ前項第三號ノ制限ヲ四米迄ニ短縮スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ電線ヲ人ノ容易ニ觸ルル虞ナキ樣施設スルトキハ第一項第四號ノ制限ヲモ六十糎迄ニ短縮スルコトヲ得

橋梁ノ下部其ノ他之ニ類スル場所ニ施設スル低壓架空饋電線ハ工事上已ムヲ得ザル場合ニ限リ第一項第三號ノ制限ヲ三・五米迄ニ短縮スルコトヲ得

第四十四條　同一支持物ニ高壓架空電線ト低壓架空電線トヲ併架スルトキハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ危險ノ虞ナキ樣取付ケタル電線ハ此ノ限ニ在ラズ（細第四十四條）

一　高壓電線ヲ低壓電線ノ上部ト爲シ別箇ノ腕木ニ架設スルコト
二　高壓電線ト低壓電線トハ五十糎以上離隔スルコト

特殊ノ設計ニ依リ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第四十五條　支持物ヲ共用スル二事業者以上ノ架空電線路ハ前條及左ノ各號ノ制限ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依ルモノハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　高壓、低壓毎ニ各所屬ノ腕木ヲ區劃シ色別其ノ他ノ方法ヲ以テ其ノ所有者ヲ明ニスルコト
二　一ノ支持物ヨリ一事業者ノミ引込線ヲ分岐スルコト

第四十六條　高壓架空電線ガ道路ト交叉スル場合又ハ他ノ低壓若ハ高壓架空電線ト其ノ上部ニ於テ交叉スル場合ニ於テハ其ノ支持物ハ左ノ各號ニ依リ施設シ且堅牢ニ建設スルコトヲ要ス（細第四十五條）

一　木柱、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ場合ニ在リテハ其ノ徑間ヲ百米以下ト爲スコト
二　木柱ノ强度ハ人家連檐ノ場所ニ在リテハ丙種風壓荷重、其ノ他ノ場所ニ在リテハ甲種風壓荷重ニ對シ安全係數ヲ四以上トシテ計算シタルモノナルコト（細第三十八條）但シ木柱ノ太サハ左ノ制限ニ依ルコト

徑間	末口
五十米以下ナル場合	(イ) 十五糎以上（單柱） 十二糎以上（H柱、A柱）
五十米ヲ超過シ百米以下ナル場合	(ロ) 十八糎以上（單柱） 十五糎以上（H柱、A柱）

高壓架空電線ガ鐵道若ハ軌道ト交叉スル場合又ハ架空弱電流電線ト其ノ上部ニ於テ交叉スル場合ニ於テハ其ノ支持物ハ左ノ各號ニ依リ施設シ且堅牢ニ建設スルコトヲ要ス（細第四十五條）

一　木柱ノ場合ニ在リテハ其ノ徑間ヲ五十米以下ト爲シ前項第二號ニ依ルコト
二　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ場合ニ在リテハ其ノ徑間ヲ百米以下ト爲スコト

前二項ノ場合ニ於テ徑間ガ其ノ制限ヲ超過スルトキハ支持物ハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第四十七條　高壓架空電線路ガ川越、谷越其ノ他特殊ノ事由ニ依リ徑間百米ヲ超過スル場合ハ其ノ部分ニ限リ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル電線ヲ使用シ其ノ弛度ヲ第六十四條ノ規定ニ適合セシメ且支持物ノ强度ハ左ノ各號ニ適合セシムルコトヲ要ス（細第三十八

條）

一　木柱ノ强度ハ其ノ徑間三百米以下ナルトキハ甲種風壓荷重及乙種風壓荷重氷雪多キ地方（細第三十二條）ノ場合ニ限ルヲ以テ安全係數ヲ四以上トシテ計算シタルモノナルコト但シ木柱ノ太サハ單柱ニ在リテハ末口十八糎以上、H柱A柱ニ在リテハ十五糎以上ト爲スコト
二　徑間百米ヲ超過シ百五十米以下ナル場合ニ於ケル木柱ニハ叉架涉線ニ生ズル最大張力ノ和ノ三分ノ一ニ等シキ不平均張力ニ耐フル支線ヲ設クルコト但シ四耗以上ノ鐵線五條以上ヨリ成ルモノナルコト
三　徑間百五十米ヲ超過シ三百米以下ナル場合ニ於ケル木柱ニハ叉架涉線ニ生ズル最大張力ノ和ノ三分ノ二ニ等シキ不平均張力ニ耐フル支線ヲ設クルコト但シ四耗以上ノ鐵線七條以上ヨリ成ルモノナルコト
四　徑間百五十米ヲ超過シ三百米以下ナル場合ニ於ケル鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニハ第二號ノ不平均張力ニ耐フル設計ノモノヲ使用シ又ハ之ニ第二號ニ準ズル支線ヲ設クルコト
五　徑間三百米ヲ超過シ五百米以下ナル場合ニ於ケル鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニハ第三號ノ不平均張力ニ耐フル設計ノモノヲ使用シ又ハ之ニ第三號ニ準ズル支線ヲ設クルコト
六　徑間五百米ヲ超過スル場合ニ於ケル鐵塔ニハ一架涉線ニ生ズル最大張力ノ二分ノ一ニ等シキ不平均張力ニ耐フルモノヲ使用スルコト此ノ場合ニ於テハ不平均張力ハ鐵塔ノ各部材ニ最大應力ヲ生ズベキ架涉線ノ取付點ニ加ハルモノトシ之ニ因ル水平力及捻力ヲ加算シタルモノナルコト

前項第二號乃至第五號ノ支線ノ强度ハ安全係數ヲ三以上トシテ計算シタルモノナルコトヲ要ス（細第三十三條及第三十六條）

高壓架空電線路ノ徑間ガ第一項ノ制限ヲ超過スルトキハ其ノ支持物ハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第四十八條　架空電線路ガ他ノ低壓又ハ高壓架空電線路電車線路ト交叉、接近又ハ並行スル場合ニ於テハ電線相互ノ離隔距離ヲ一米以上ト爲シ且電線相互ノ混觸ヨリ生ズル危險ヲ防止スル爲適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第四十六條）

前項ノ離隔距離ハ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケテ之ヲ五十糎迄ニ短縮スルコトヲ得

第四十九條　架空電線ト架空弱電流電線トガ交叉シ又ハ接近スル場合ニ於テハ其ノ離隔距離ヲ一米以上ト爲スコトヲ要ス但シ弱電流電線ニ第四種絕緣電線ヲ使用シタルトキ又ハ其ノ管理者ノ承諾ヲ得タルトキハ之ヲ六十糎迄ニ短縮スルコトヲ得

第五十條　高壓架空電線ト架空弱電流電線トガ交叉、接近又ハ並行スル部分ニ於テハ高壓電線ヲ上部ト爲スコトヲ要ス但シ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テ弱電流電線トノ混觸ヨリ生ズル危險ヲ防止スル爲適當ノ施設（細第四十七條）ヲ爲ストキハ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第五十一條　架空電線ガ他ノ低壓若ハ高壓架空電線路電車線路又ハ架空弱電流電線路ノ支持物ト接近スルトキハ其ノ間隔ヲ三十糎以上ニ保持スルコトヲ要ス但シ接觸ノ虞ナキ樣適當ニ施設スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

架空電線ト植物トノ間隔ハ三十糎以上ニ保持スルコトヲ要ス但シ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ施設ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラズ

第五十二條　高壓架空電線ガ煙突、放送聽取無線電話用空中線其ノ他之ニ類スル工作物ト其ノ地表上ノ高サニ相當スル距離以內ニ接近スルトキハ

接觸ニ因リ生ズル危險ヲ防止スル爲左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　高壓電線ト工作物又ハ其ノ支線トハ一・二米以上、放送聽取無線電話用空中線トハ水平距離一・二米以上ヲ離隔スルコト

二　金屬製工作物又ハ工作物ノ支線ハ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

高壓架空電線路ニ用フル支線ニシテ高壓電線ト接觸ノ虞アルモノニハ其ノ上部ニ碍子ヲ挿入スルコトヲ要ス

第五十三條　市街地ニ於ケル高壓架空電線路電氣鐵道ノ專用敷地內ニハ其ノ瓦長一粁以下毎ニ開閉器ヲ設置シ電路ヲ遮斷スルニ便ナラシムルコトヲ要ス但シ土地ノ狀況ニ依リ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

前項ノ開閉器ヲ設置シタル場所ニハ之ニ接近シ且之ヲ取扱フニ便ナラシムル樣適當ナル設備ヲ施スコトヲ要ス

第五十四條　第四十二條第二項ノ規定ニ依ラズシテ高壓架空電線ニ第一種若ハ第二種絕緣電線ヲ使用シ又ハ三百ヴオルトヲ超過スル直流低壓架空電線ニ第一種絕緣電線ヲ使用スルトキハ左ノ各號ノ制限ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　市街地ニ施設スルモノ又ハ道路、鐵道、軌道、他ノ低壓若ハ高壓架空電線、架空弱電流電線又ハ建造物人ノ住居又ハ看守スルモト交叉シ若ハ其ノ架空電線ノ支持物地表上ノ高サニ相當スル水平距離以內ニ接近スル箇所ニ施設スルモノハ電線ニ五粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト

二　前號ノ場合ニ於テハ木柱ノ强度ハ甲種風壓荷重及乙種風壓荷重氷雪多キ地方（細第三十二條）ノ場合ニ限ルノ執レニ對シテモ安全係數ヲ四以上トシテ計算シタルモノナルコト（細第三十八條）但シ木柱ノ太サハ左ノ制限ニ依ルコト

徑間	末口
(イ) 五十米以下ナル場合	十五糎以上
(ロ) 五十米ヲ超過シ六十米以下ナル場合	十八糎以上（單柱） 十五糎以上（H柱、A柱）

三　第一號ノ場合ニ於テ支持物ハ堅牢ニ建設スルコト（細第四十五條）

四　高壓裸電線ガ他ノ高壓架空被覆電線ト交叉又ハ抵壓裸電線ガ他ノ抵壓架空被覆電線ト交叉スル箇所又ハ抵壓裸電線ト交叉スル箇所ニ於テハ工事上已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外裸電線ヲ上部ト爲スコト

五　架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ裸電線ヲ上部ト爲シ且危險ヲ生ゼシメザル樣適當ノ施設ヲ爲スコト（細第五十條）但シ工事上已ム

ヲ得ザル場合ニ於テ弱電流電線トノ混觸ヨリ生ズル危險ヲ防止スル爲適當ノ施設（細第四十七條）ヲ爲ストキハ裸電線ヲ下部ト爲スコトヲ得

土地ノ狀況又ハ特殊ノ設計ニ依ル場合ニ於テハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第五十六條　市街地ニ於テ高壓架空電線ニ裸電線ヲ使用スルトキハ左ノ各號ノ制限ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　道路ニ沿ヒ道路上ニ建設スル場合ハ幅員五米以上ノ道路ニ之ヲ建設スルコト

二　電線ニハ五粍ノ硬銅撚線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル撚線ヲ使用シ其ノ彈度ヲ第六十四條ノ規定ニ適合セシムルコト

三　電線相互ノ間隔ハ特殊ノ場合（細第五十一條）ヲ除クノ外徑間ガ五十米以下ナル場合ハ四十五糎以上、五十米ヲ超過スル場合ハ六十糎以上ト爲スコト

四　木柱ノ强度ハ甲種風壓荷重及乙種風壓荷重（細第三十二條）ノ場合ニ限ル執レニ對シテモ安全係數ヲ四以上トシテ計算シタルモノナルコト（細第三十八條）但シ木柱ノ太サハ左ノ制限ニ依ルコト

徑間	末口
(イ) 五十米以下ナル場合	十五糎以上
(ロ) 五十米ヲ超過シ六十米以下ナル場合	十八糎以上（單柱） 十五糎以上（H柱、A柱）

第五十七條　市街地ニ於テハ土地ノ狀況又ハ特殊ノ事由ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外低壓架空電線ニ裸電線ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ電氣鐵道ノ專用敷地內ニ施設スル低壓架空饋電線ニシテ前條第一項ノ規定ニ準ジ施設スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第五十八條　高壓架空被覆電線又ハ低壓若ハ高壓架空裸電線ガ同一電氣事業者ニ屬スル左ニ揭グル架空電線又ハ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ接近スル場合ハ第四十六條、第五十四條及第五十五條ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　電路ノ一部ヲ接地シタル低壓架空電線

二　單線式電氣鐵道ノ架空饋電線又ハ電車線

三　電車線路ニ添架シタル弱電流電線

四　特別高壓架空電線路ニ添架シタル電話線又ハ直接之ト接續スル電話線

第五十九條　架空電線路ハ引込線ヲ併セ左ノ絕緣抵抗又ハ絕緣耐力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

一　低壓電線路ノ絕緣部分ト大地トノ間ノ絕緣抵抗ハ回線ノ全電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ千分ノ一ヲ超過セシメザル樣保持スルコト

二　高壓電線路ト大地トノ間ノ絕緣耐力ハ最大使用電壓ノ一・五倍ノ電壓ヲ以テ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト

第三節　特別高壓架空電線路

第六十條　特別高壓架空電線路ハ市街地其ノ他人家ノ稠密ナル地ニ建設スルコトヲ得ズ但シ特殊ノ設計ニ依ル場合ニ於テハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第六十一條　特別高壓架空電線路ハ特ニ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合又ハ弱電流電線路管理者ノ承諾ヲ得タル場合ヲ除クノ外既設架空弱電流電線路單線式電話ニ對シ誘導作用ニ因ル通信上ノ障害ヲ及ボサザル樣離隔シ且適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第五十二條及第五十三條）

前項ノ規定ニ依リ施設スルモ猶既設弱電流電線路ニ對シ障害ヲ及ボス虞アルトキハ更ニ適當ナル方法ヲ施スコトヲ要ス

第六十二條　特別高壓架空電線ニハ五粍ノ裸硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スル裸電線ヲ使用スルコトヲ要ス（細第三十三條）

第六十三條　特別高壓架空電線ノ地表上ノ高サハ六米以上トス但シ特殊ノ場所ニ限リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第六十四條　特別高壓架空電線ノ強度ノ計算ハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス（細第三十三條及第五十四條）

一　氷雪多カラザル地方ニ在リテハ其ノ地方ノ最低溫度ニ於テ安全係數ヲ二以上トシ電線ノ重量ト電線ノ投影面積一平方米ニ付百廿ノ水平風壓トノ合成荷重ヲ支持シ得ル樣計算シタルモノナルコト

二　氷雪多キ地方（細第三十二條）ニ在リテハ前號ニ依ルノ外更ニ其ノ地方ノ最低溫度ニ於テ安全係數ヲ二以上トシ電線ノ周圍ニ厚サ六粍比重〇・九ノ氷雪附着シタルトキ電線及氷雪ノ重量ト被氷電線ノ投影面積一平方米ニ付五十瓲ノ水平風壓トノ合成荷重ヲ支持シ得ル樣計算シタルモノナルコト但シ最大使用電壓六萬ヴオルト以上ニシテ且電線ノ切斷面積硬銅線ニ在リテハ百二十平方粍以上、銅心「アルミニウム」線ニ在リテハ百五十平方粍以上ノ場合ハ安全係數ヲ二・五以上トシ電線ノ周圍ニ厚サ六粍比重〇・九ノ氷雪附着シタルトキ電線及氷雪ノ重量ト被氷電線ノ投影面積一平方米ニ付五十瓲ノ水平風壓トノ合成荷重ヲ支持シ得ル樣計算シタルモノナルコト但シ最大使用電壓六萬ヴオルト以上ニシテ且電線ノ切斷面積硬銅線ニ在リテハ百二十平方粍以上、銅心「アルミニウム」線ニ在リテハ百五十平方粍以上ノ場合ハ安全係數ヲ二・五以上トシ電線ノ周圍ニ厚サ六粍比重〇・九ノ氷雪附着シタルトキ電線及氷雪ノ重量ト被氷電線ノ投影面積一平方米ニ付五十瓲ノ水平風壓トノ合成荷重ヲ支持シ得ル樣計算シタルモノナルコト但シ特殊ノ設計ニ依ル場合ニ於テハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第六十五條　木柱ニ依ル特別高壓架空電線路ニ用フル支持物ハ左ノ各號ニ依リ且堅牢ニ建設スルコトヲ要ス（細第三十七條、第三十八條及第五十五條）

一　木柱ノ強度ハ第六十八條乃至第七十條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外甲種風壓荷重及乙種風壓荷重（氷雪多キ地方（細第三十二條）ノ場合ニ限ルノ外ハ甲種風壓荷重）ニ對シテモ安全係數ヲ左ノ制限ニ依リ計算シタルモノナルコト

電壓	安全係數
(イ) 一萬五千ヴオルト以下ノモノ	四以上
(ロ) 一萬五千ヴオルトヲ超過スルモノ	四以上（注入柱）五以上（不注入柱）

二　木柱ノ太サハ左ノ制限ニ依ルコト

徑間	末口
(イ) 五十米以下ナル場合	十五糎以上
(ロ) 五十米ヲ超過スル場合	十八糎以上（單柱）十五糎以上（H柱、A柱）

三　標準徑間ハ百米以下ナルコト

第六十六條　特別高壓架空電線路ニ用フル鐵柱、鐵塔及鐵筋「コンクリート」柱ノ強度ノ計算ニハ左ノ區別（細第五十六條）ニ依リ不平均張力ニ因ル水平荷重ヲモ加算スルコトヲ要ス

一　標準型及角度型

(イ)　鐵塔ニ在リテハ一架渉線ニ生ズル最大張力ノ二分ノ一ニ等シキ不平均張力ガ鐵塔ノ各部材ニ最大應力ヲ生ズベキ架渉線ノ取付點ニ加ハルモノトシ之ニ因ル水平力及捻力ヲ加算スルコト但シ不平均張力ハ最大使用電壓六萬ヴオルト以上ノ電線路ニシテ電線ノ切斷面積硬銅線ニ在リテハ百二十平方粍以上、銅心「アルミニウム」線ニ在リテハ百五十平方粍以上ノ場合ニ限リ之ヲ省略スルコトヲ得

(ロ)　鐵柱、可撓鐵塔又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニ在リテハ(イ)ノ不平均張力ヲ考慮スルコトヲ要セズ

二　耐張型　左ノ不平均張力ガ各架渉線ノ取付點ニ加ハルモノトスルコト

(イ)　第一種耐張型　各架渉線ニ生ズル最大張力ノ三分ノ一ニ等シキ不平均張力

(ロ)　第二種耐張型　各架渉線ニ生ズル最大張力ノ三分ノ二ニ等シキ不平均張力

(ハ)　第三種耐張型　各架渉線ニ生ズル最大張力ニ等シキ不平均張力

三　引留型　各架渉線ニ生ズル最大張力ニ等シキ不平均張力ガ其ノ取付點ニ加ハルモノトスルコト

標準鐵柱及標準鐵筋「コンクリート」柱ノ徑間ハ百米以下ナルコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ヲ百五十米迄ニ延長スルコトヲ得

第六十七條　特別高壓架空電線路ガ川越、谷越其ノ他特殊ノ事由ニ依リ徑間百米ヲ超過スル場合ハ其ノ部分ニ限リ支持物ノ強度ハ左ノ各號ニ適合セシムルコトヲ要ス

一　徑間百米ヲ超過シ百五十米以下ナル場合ニ於ケル木柱ニハ全架渉線ニ生ズル最大張力ノ和ノ三分ノ一ニ等シキ不平均張力ニ耐フル支線ヲ設クルコト但シ四粍以上ノ鐵線五條以上ヨリ成ルモノナルコト

二　徑間百五十米ヲ超過シ三百米以下ナル場合ニ於ケル木柱ニハ全架渉線ニ生ズル最大張力ノ和ノ三分ノ二ニ等シキ不平均張力ニ耐フル支線ヲ設クルコト但シ四粍以上ノ鐵線七條以上ヨリ成ルモノナルコト

三　徑間百五十米ヲ超過シ三百米以下ナル場合ニ於ケル鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニハ第一號ノ不平均張力ニ耐フル設計ノモノヲ使用シ又ハ之ニ第一號ニ準ズル支線ヲ設クルコト

四　徑間三百米ヲ超過シ五百米以下ナル場合ニ於ケル鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニハ第二號ノ不平均張力ニ耐フル設計ノモノヲ使用シ又ハ之ニ第二號ニ準ズル支線ヲ設クルコト

五　徑間五百米ヲ超過スル場合ニ於ケル鐵塔最大使用電壓六萬ヴオルト以上、電線ノ切斷面積硬銅線ニ在リテハ百二十平方粍以上、銅心「アルミニウム」線ニ在リテハ百五十平方粍以上ノ場合ニ限ルニハ第二種耐張鐵塔ヲ使用スルコト但シ土地ノ狀況ニ依リ當該徑間ニ隣接スル箇所ニ第

二種耐張鐵塔ヲ建設シ本鐵塔ハ標準型ニ準ジ計算シタルモノト爲スコトヲ得

前項第一號乃至第四號ノ支線ノ强度ハ安全係數ヲ三以上トシテ計算シタルモノナルコトヲ要ス（細第三十三條及第三十六條）

特別高壓架空電線路ノ徑間ガ第一項第二號又ハ第四號ノ制限ヲ超過スルトキハ其ノ支持物ハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第六十八條　特別高壓架空電線ト建造物、道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓架空電線又ハ架空弱電流電線トガ水平距離ニ於テ其ノ特別高壓電線路ノ支持物地表上ノ高サニ相當スル距離乃至三米迄ニ接近スル部分ニ於テハ左ノ各號ニ依リ施設シ且適當ニ建設（細第五十八條）スルコトヲ要ス

一　特別高壓架空電線ニハ撚線ヲ使用スルコト

二　木柱、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト爲スコト

三　木柱ノ强度ハ甲種風壓荷重及乙種風壓荷重（氷雪多キ地方（細第三十二條）ノ場合ニ限ル）ノ孰レニ對シテモ安全係數ヲ左ノ制限ニ依リ計算シタルモノナルコト

電壓	安全係數
(イ) 一萬五千ヴオルト以下	六
(ロ) 一萬五千ヴオルトヲ超過スルモノ	六（注入柱） 七・五（不注入柱）

四　一萬五千ヴオルトヲ超過スル電線ト建造物トノ離隔距離ハ五米以上ニ保持スルコト

前項ノ場合ニ於テ徑間ガ百米ヲ超過スルトキハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第六十九條　二萬五千ヴオルト以下ノ特別高壓架空電線ト建造物、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓架空電線又ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキ又ハ一萬五千ヴオルト以下ノ特別高壓架空電線ト道路トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ前條第一項第一號及第三號ニ依リ施設シ且危險ヲ生ゼシメザル樣適當ニ施設（細第五十九條）スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ徑間ハ木柱ニ在リテハ五十米以下、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニ在リテハ百米以下、鐵塔ニ在リテハ百五十米以下ト爲スコトヲ要ス但シ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得ザル場合ハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第一項ノ電壓ヲ超過スル特別高壓架空電線ト建造物、道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓架空電線又ハ架空弱電流電線トガ水平距離三米以内ニ接近スルトキハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル特殊ノ設計ニ依ルコトヲ要ス

第七十條　特別高壓架空電線ガ道路、鐵道、軌道、低壓若ハ高壓架空電線又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設（細第六十條）スルコトヲ要ス

一　特別高壓架空電線ニハ撚線ヲ使用スルコト

二　木柱ハ其ノ徑間ヲ鐵道、軌道又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ在リテハ五十米以下、道路又ハ低壓若ハ高壓架空電線ト交叉スル箇所ニ在リテハ百米以下トシ且其ノ强度ハ第六十六條第一項第三號ニ依ルコト

三　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト爲スコト

四　低壓若ハ高壓架空電線又ハ架空弱電流電線ト交叉スル箇所ニ於テハ特別高壓電線ヲ上部ト爲シ且電線相互間ノ垂直距離ハ常ニ左ノ制限ニ

依ルコト

(イ) 六萬ヴオルト以下ノモノハ二米以上

(ロ) 六萬ヴオルトヲ超過スルモノハ超過分一萬ヴオルト又ハ其ノ端數毎ニ二十糎ヲ加フ

特殊ノ設計ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七十一條　特別高壓架空電線ト他ノ特別高壓架空電線トガ水平距離ニ於テ其ノ電線路ノ支持物地表上ノ高サニ相當スル距離以内ニ接近スル部分及特別高壓架空電線ガ他ノ特別高壓架空電線ノ上部ニ於テ之ト交叉スル部分ニ於テハ撚線ヲ使用シ左ノ各號ニ依リ施設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設（細第六十條）スルコトヲ要ス

一　木柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下トシ且其ノ强度ハ第六十八條第一項第三號ニ依ルコト

二　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ハ其ノ徑間ヲ百米以下ト爲スコト

三　電線相互間ノ離隔距離ハ常ニ左ノ制限ニ依ルコト

(イ) 六萬ヴオルト以下ノモノハ二米以上

(ロ) 六萬ヴオルトヲ超過スルモノハ超過分一萬ヴオルト又ハ其ノ端數毎ニ二十糎ヲ加フ

四　下部ノ特別高壓架空電線路ニ架空地線アル場合ハ電線ト架空地線トノ離隔距離ハ前號ニ依ルコト

特殊ノ設計ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七十二條　特別高壓架空電線ガ同一電氣事業者ニ屬スル左ニ揭グル架空電線又ハ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ接近スル場合ハ第六十六條乃至第七十條第一項第四ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　電路ノ一部ヲ接地シタル低壓架空電線

二　單線式電氣鐵道ノ饋電線又ハ電車線

三　電車線路ニ添架シタル弱電流電線

四　特別高壓架空電線路ニ添架シタル電話線又ハ直接之ト接續スル電話線

特別高壓架空電線ガ同一事業者ニ屬スル鐵道若ハ軌道ト交叉シ又ハ其ノ特別高壓電線ノ支持物地表上ノ高サニ相當スル距離以内ニ接近スル場合ハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケテ第六十六條及第七十條ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七十三條　特別高壓架空電線ト低壓又ハ高壓架空電線トハ同一支持物ニ添架スルコトヲ得ズ但シ一萬五千ヴオルト以下ノ特別高壓架空電線ト同一事業者ニ屬スル低壓又ハ高壓架空電線トノ場合ニシテ電線相互ノ混觸ヨリ生ズル危險ヲ防止スル爲適當ニ施設（細第六十一條）スルトキハ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

特殊ノ設計ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七十四條　特別高壓架空電線ト植物トノ間隔ハ風雪其ノ他如何ナル場合ニ於テモ左ノ距離ヲ保持スルコトヲ要ス

一　六萬ヴオルト以下ノモノハ二米以上

二　六萬ヴオルトヲ超過スルモノハ超過分一萬ヴオルト又ハ其ノ端數毎ニ三十糎ヲ加フ

第七十五條　特別高壓架空電線ト他ノ架空電線路電車線路又ハ架空弱電流電線路ノ支持物トハ常ニ左ノ距離ヲ保持スルコトヲ要ス

一　六萬ヴオルト以下ノモノハ二米以上

二　六萬ヴオルトヲ超過スルモノハ超過分一萬ヴオルト又ハ其ノ端數毎ニ三十糎ヲ加フ

特殊ノ設計ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七十六條　特別高壓架空電線ガ煙突其ノ他之ニ類スル工作物ト其ノ地表上ノ高サニ相當スル水平距離以内ニ接近スルトキハ接觸ニ因リ生ズル危險ヲ防止スル爲左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　特別高壓架空電線ト工作物又ハ其ノ支線トハ常ニ左ノ間隔ヲ保持スルコト

(イ)　六萬ヴオルト以下ノモノハ二米以上

(ロ)　六萬ヴオルトヲ超過スルモノハ超過分一萬ヴオルト又ハ其ノ端數毎ニ三十糎ヲ加フ

二　金屬製工作物又ハ工作物ノ支線ハ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

第七十七條　特別高壓架空電線路ト大地トノ間ノ絕緣耐力ハ最大使用電壓ニ從ヒ左ノ區別ニ依ル電壓ヲ以テ試驗シ十分間以上之ニ耐フルモノナルコトヲ要ス

最大使用電壓	試驗電壓
五萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・五倍
五萬ヴオルト以上	最大使用電壓ニ二萬五千ヴオルトヲ加ヘタルモノ

第七十八條　道路ニ施設スル地中電線路ハ左ノ制限ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ工事上已ムヲ得ザルトキ又ハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

一　道路ヲ橫斷スルモノヲ除クノ外道路ノ兩側ニ跨ラズシテ其ノ一側ノミニ施設スルコト

二　道路ノ一側ニ地中弱電流電線路アルトキハ其ノ同一側ニ施設セザルコト

三　道路ノ一側ニ地中電線路アルトキハ其ノ同一側ニ施設スルコト

前項ノ規定ハ地中引込線及屋外照明用地中電線路ニ之ヲ適用セズ

第七十九條　地中電線ヲ藏ムル暗渠、管又ハ管路ハ堅牢ニシテ車輛其ノ他重キ物體ノ壓力ニ耐ヘ且瓦斯又ハ水ノ成ルベク侵入セザル樣築造スルコトヲ要ス

地中電線ヲ直接埋設式ニ依リ敷設スルトキハ車輛其ノ他重キ物體ノ壓力ヲ受クル虞アル場所ニ於テハ土冠ヲ一・二米以上、其ノ他ノ場所ニ於テハ土冠ヲ六十糎以上ト爲シ石又ハ樋ノ類ヲ以テ電纜ノ上部及側面ヲ掩ヒ他動的損傷ヲ防止スルコトヲ要ス但シ低壓電線ヲ車輛其ノ他重キ物體ノ壓力ヲ受クル虞ナキ場所ニ敷設スル場合ハ幅二十糎以上ノ堅牢ナル石又

ハ木板ノ類ヲ以テ電線ノ上部ノミヲ掩ヒテ施設スルコトヲ得

第八十條　地中電線ニハ引入式又ハ暗渠式ニ依ル場合ハ鉛被電纜又ハ鎧裝電纜、直接埋設式ニ依ル場合ハ鎧裝電纜ヲ使用スルコトヲ要ス但シ前條第二項但書ノ場合ハ左ノ電線ヲ使用スルコトヲ得

一　切斷面積五平方耗以下ノモノ　鉛被電線

二　切斷面積五平方耗ヲ超過シ十五平方耗以下ノモノ　「ヂユート」捲鉛被電纜

土地ノ狀況又ハ特殊ノ設計ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第八十一條　地中電線路ハ漏洩電流又ハ誘導作用ニ因リ既設地中弱電流電線ニ對シ通信上ノ障害ヲ及ボサザル樣離隔シ又ハ其ノ他ノ適當ナル防止方法ヲ施スコトヲ要ス

第八十二條　地中電線ト地中弱電流電線トガ交又シ又ハ接近スル場合ニ於テ其ノ間隔ガ低壓又ハ高壓電線ニ在リテハ三十糎以下、特別高壓電線ニ在リテハ六十糎以下ナルトキハ成ルベク其ノ部分ヲ短縮シ且相互間ニ堅牢ナル耐火質ノ隔壁ヲ設クルコトヲ要ス

第八十三條　高壓地中電線ト低壓地中電線トハ相互間ニ堅牢ナル耐火質ノ隔壁アル場合ヲ除クノ外三十糎以上離隔スルコトヲ要ス但シ地中函內ノモノハ此ノ限ニ在ラズ

特別高壓地中電線ト低壓又ハ高壓地中電線トノ場合亦前項ニ同ジ

第八十四條　地中電線ヲ藏ムル金屬製ノ暗渠、管、電線接續函及地中電線ノ被覆ニ用フル金屬體ハ電氣的接續ヲ爲シ且之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコトヲ要ス

第八十五條　地中函ハ電氣事業專用ノモノトシ且二以上ノ事業者之ヲ共用スルコトヲ得ズ但シ特殊ノ設計ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ

此ノ限ニ在ラズ

第八十六條　地中函ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　地中函ハ堅牢ニシテ車輛其ノ他重キ物體ノ壓力ニ耐フル樣築造スルコト

二　地中函ニハ水ノ浸入ヲ防止シ又ハ函內ノ濕ヲ排除スル裝置ヲ施スコト

三　爆發性又ハ燃燒性瓦斯ノ侵入スル虞アル場所ニ設クル地中函ニシテ其ノ大サ一立方米以上ノモノニハ之ヲ放散セシムベキ通風其ノ他ノ裝置ヲ施スコト

四　地中函ノ蓋ニハ事業者ノ外容易ニ開披シ能ハザル設備ヲ施スコト

五　地中函ノ蓋ニハ事業者名又ハ其ノ記號ヲ表示スルコト

地中函ハ時々點檢シ瓦斯ノ存在ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ放散セシメ且其ノ旨ヲ瓦斯管ノ管理者ニ通知スルコトヲ要ス

第八十七條　地中電線路ハ左ノ絕緣抵抗又ハ絕緣耐力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

一　低壓電線路ニ在リテハ其ノ絕緣部分ト大地トノ間ノ絕緣抵抗ハ同線ノ全電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ千分ノ一ヲ超過セシメザル樣保持スルコト

二　高壓電線路ニ在リテハ其ノ心線相互間及心線ト大地トノ間ノ絕緣耐力ハ最大使用電壓ノ一・五倍ノ電壓ヲ以テ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト

三　特別高壓電線路ニ在リテハ其ノ心線相互間及心線ト大地トノ間ノ絕緣耐力ハ最大使用電壓ニ從ヒ左ノ區別ニ依ル交流電壓又ハ直流電壓ヲ以テ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト

	最大使用電壓	交流試驗電壓	直流試驗電壓
(イ)	二萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・五倍	最大使用電壓ノ三・五倍
(ロ)	二萬ヴオルト以上五萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・五倍	最大使用電壓ノ二倍ニ三萬ヴオルトヲ加ヘタルモノ
(ハ)	五萬ヴオルト以上	最大使用電壓ニ二萬五千ヴオルトヲ加ヘタルモノ	最大使用電壓ノ一・五倍ニ五萬五千ヴオルトヲ加ヘタルモノ

二・五米以上ノ高サニ保持スルコト

二　高壓電線ハ左記(イ)又ハ(ロ)ニ依リ施設スルコト

(イ)　鎧裝電纜ヲ使用スルコト但シ他動的損傷ヲ防止スル裝置ヲ施ストキハ鉛被電纜ヲ使用スルコトヲ得

(ロ)　四耗ノ第三種絕緣硬銅線若ハ五耗ノ裸硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ、太サ及效力ヲ有スル電線ヲ使用シ之ヲ軌條面上三米以上ノ高サニ保持スルコト

三　特別高壓電線ニハ鎧裝電纜ヲ使用スルコト但シ他動的損傷ヲ防止スル裝置ヲ施ストキハ鉛被電纜ヲ使用スルコトヲ得

第八十九條　人ノ常ニ通行スル隧道内ノ電線路ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　低壓電線ハ第百三十四條第一號ノ規定ニ準ジ施設スルコト

二　高壓電線ニハ鎧裝電纜ヲ使用シ且人ノ觸ルル虞アル箇所ニ施設スルモノニハ他動的損傷ヲ防止スル裝置ヲ施スコト

第九十條　前二條ノ電線路ノ絕緣抵抗又ハ絕緣耐力ニ關シテハ第五十九條又ハ第八十七條ノ規定ヲ準用ス

第五節　隧道其ノ他之ニ類スル場所ヲ通過スル電線路

第八十八條　鐵道又ハ軌道ノ專用隧道内ノ電線路ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス但シ特殊ノ設計ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　低壓電線ニハ二・六耗ノ第二種絕緣硬銅線若ハ五耗ノ裸硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ、太サ及效力ヲ有スル電線ヲ使用シ之ヲ軌條面上

	最大使用電壓	交流試驗電壓	直流試驗電壓
(イ)	二萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・二五倍	最大使用電壓ノ三倍
(ロ)	二萬ヴオルト以上五萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・二五倍	最大使用電壓ノ二倍ニ二萬ヴオルトヲ加ヘタルモノ
(ハ)	五萬ヴオルト以上	最大使用電壓ニ一萬三千ヴオルトヲ加ヘタルモノ	最大使用電壓ノ一・五倍ニ四萬五千ヴオルトヲ加ヘタルモノ

消弧線輪ノ中性點ヲ一定限度ヲ超過セザル「インピーダンス」ヲ通ジテ接地シタル場合ニ限リ前項第三號ノ試驗電壓ヲ左ノ區別ニ依リ輕減スルコトヲ得

電路ノ中性點ヲ一定限度ヲ超過セザル「インピーダンス」ヲ通ジテ接地シタル場合ニ限リ前項第三號ノ試驗電壓ヲ左ノ區別ニ依リ輕減スルコトヲ得

	最大使用電壓	交流試驗電壓	直流試驗電壓
(イ)	二萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・二五倍	最大使用電壓ノ三倍
(ロ)	二萬ヴオルト以上五萬ヴオルト未滿	最大使用電壓ノ一・二五倍	最大使用電壓ノ二倍ニ二萬ヴオルトヲ加ヘタルモノ
(ハ)	五萬ヴオルト以上	最大使用電壓ニ一萬三千ヴオルトヲ加ヘタルモノ	最大使用電壓ノ一・五倍ニ四萬五千ヴオルトヲ加ヘタルモノ

第六節　保安通信設備

第九十一條　送電ノ連絡ヲ有スル發電所及變電所相互間ニハ保安通信用電話ヲ施設スルコトヲ要ス

左ニ掲グル箇所相互間ニ於テモ保安上必要ト認ムルトキハ保安通信用電話ノ施設ヲ爲スベシ

一　發電所、其ノ水路及水路工作物保安ノ爲必要ナル量水所

二　同一送電系統ニ屬スル發電所、變電所、蓄電所、開閉所及技術員駐在所

特別高壓架空電線路ニ依リ送電スル場合ニ在リテハ携帶電話機ニ依リ通話スル設備ヲ爲シ且電話線ヲ架空電線路ニ添架スル場合ハ電線路ノ亙長約四粁毎ニ携帶電話機接續箇所又ハ電話機設置箇所ヲ設クルコトヲ要ス

第九十二條　架空電線路ニ添架スル保安通信用電話線(以下單ニ電話線ト稱ス)ハ特殊ノ場合(細第六十二條)ヲ除クノ外二・六耗ノ鐵線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

第九十三條　架空電線路ニ添架スル電話線ハ架空電線ノ下部ニ架設シ電線ト電話線トノ垂直距離ハ左ノ制限ニ依ルコトヲ要ス

一　架空電線ガ低壓又ハ高壓電線ナルトキハ六十糎以上

二　架空電線ガ特別高壓電線ナルトキハ一・二米以上

第九十四條　特別高壓架空電線路ニ添架スル電話線ノ地表上ノ高サハ左ノ制限ニ依ルコトヲ要ス

一　鐵道又ハ軌道ヲ橫斷スル場合ニ於テハ軌條面上六米以上

二　前號以外ノ場合ニ於テハ地表上五米以上

第九十五條　特別高壓架空電線路ニ添架スル電話線ガ道路、鐵道、軌道、架空電線又ハ他ノ架空弱電流電線ト交又スル箇所ニ於テハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　道路、鐵道又ハ軌道ト交又スル箇所ニ於テハ四耗ノ第三種絕緣硬銅線若ハ五耗ノ鐵線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト

二　他ノ特別高壓架空電線ト交又スル箇所ニ於テハ特殊ノ設計ニ依リ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外其ノ下部ニ架設シ且危險ヲ防止スル爲適當ニ施設スルコト(細第六十三條)

第二章　電氣　電氣工作物規程

三　低壓架空電線又ハ他ノ架空弱電流電線(特別高壓電線路ニ添架スル保安通信用電話線ヲ除ク)ト交又スル箇所ニ在リテハ其ノ上部ニ施設シ四耗ノ第三種絕緣硬銅線若ハ五耗ノ鐵線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テ低壓電線若ハ他ノ弱電流電線ニ第四種絕緣電線若ハ五耗ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スル場合ハ電話線ヲ下部ト爲スコトヲ得

四　電話線ト他ノ架空弱電流電線トノ垂直距離ヲ一米以上ト爲スコト

第九十六條　特別高壓架空電線路ニ添架スル電話線及之ニ接續スル電話線ハ之ヲ市街地ニ施設スル電話線ト接續スルコトヲ得ズ但シ特殊ノ施設(細第六十四條)ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十七條　特別高壓架空電線路ニ添架スル電話線ニ直接接續スル電話線ハ第九十二條、第九十四條及第九十五條ノ規定ニ準ジ施設スルコトヲ要ス

第九十八條　架空電線路ニ添架スル電話線及直接之ニ接續スル電話線ニ接續スル屋内電話機ノ設置箇所ニハ其ノ架空電線ノ最大使用電壓ニ從ヒ適當ナル保安裝置(細第六十五條)ヲ施スコトヲ要ス

二萬五千ヴオルト以上ノ特別高壓電線路ニ添架スル電話線ニ接續スル屋外電話機ノ接續箇所ニハ適當ナル保安裝置(細第六十六條)ヲ施スコトヲ要ス

第九十九條　保安通信用ニ供スル電信線其ノ他ノ弱電流電線ノ工事ニ關シテハ第九十二條乃至前條ノ規定ヲ準用ス

第三章　電氣使用場所ニ於ケル工事

第一節　屋外工事

第百條　低壓架空引込線ハ第三十二條、第四十八條及第五十一條ノ規定ニ

準ジ且左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ二・六粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ徑間二十米以下ノ場合ニ限リ二粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコトヲ得

二　電線ニハ第四號(ロ)、第七號及第八號ノ場合ヲ除クノ外使用電壓三百ヴオルト以下ナルトキハ第一種絕緣電線、三百ヴオルトヲ超過スル直流低壓ニ在リテハ第二種絕緣電線ヲ使用スルコト

三　電線地表上ノ高サハ左ノ制限ニ依ルコト

(イ)　道路ヲ橫斷スル場合ハ地表上六米以上但シ市街地外ニ於テハ交通ニ支障ナキ樣施設シタルモノニ限リ地表上五米以上

(ロ)　鐵道、軌道ヲ橫斷スル場合ハ軌條面上六米以上

(ハ)　(イ)(ロ)以外ノ場合ハ地表上五米以上但シ第四十三條第二項ニ依ル電線ノ支持物ヨリ分岐スル場合ハ地表上四米以上

四　工事上已ムヲ得ザル場合ハ需用場所ノ取付點ニ於テ前號(イ)及(ハ)ノ制限ヲ交通ニ支障ナキ限リ左ノ高サ迄ニ輕減スルコトヲ得但シ此ノ場合ハ配電線路ニ取付クル點ノ高サハ前項ノ制限ニ依ルコトヲ要ス

使用電壓	電線ノ種類	取付點ノ高サ
交流百五十ヴオルト以下又ハ直流三百ヴオルト以下	中性點ヲ接地シタル場合ハ二百五十ヴオルト以下	二・五米
	第一種絕緣電線	二・五米
	第三種又ハ第四種絕緣電線	二・五米
	第一種又ハ第二種絕緣電線	三・五米

五　電線ト造營物トノ間隔ハ左ノ制限ニ依ルコト

(イ)　造營物ノ側面ニ於テハ一・二米以上

(ロ)　造營物ノ上部ニ於テハ二米以上

工事上已ムヲ得ザル場合ニシテ危險ノ虞ナク且人ノ容易ニ觸ルル虞ナキ樣施設スルトキハ電線ヲ直接引込ミタル造營物ニ付テハ(イ)(ロ)ノ制限、其ノ他ノ造營物ニ付テハ(イ)ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

六　電線ト架空弱電流電線トガ交叉シ又ハ接近スル場合ニ於テハ其ノ離隔距離ヲ一米以上ト爲スコト但シ弱電流電線ニ第四種絕緣電線ヲ使用シタルトキ、弱電流電線路管理者ノ承諾ヲ得タルトキ又ハ工事上已ムヲ得ザルトキハ之ヲ六十糎迄ニ短縮スルコトヲ得

七　使用電壓交流百五十ヴオルト、直流三百ヴオルトヲ超過スル電線ガ架空弱電流電線ト交叉シ又ハ水平距離一米以內ニ於テ接近スル場合ニ於テハ左ノ電線ヲ使用スルコト

(イ)　電線ガ弱電流電線ノ上部ニアル場合ハ第三種若ハ第四種絕緣電線又ハ五粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノ

(ロ)　電線ガ弱電流電線ノ下部ニアル場合ハ第三種若ハ第四種絕緣電線

使用電壓交流二百五十ヴオルト以下ニシテ中性點ヲ接地シタル場合ハ本號ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

八　配電線路又ハ他ノ引込線ヨリ分岐シテ直ニ百五十ヴオルト以下ノ一ノ屋外電燈ニ至ル電線ヲ金屬線ニ依リ吊架スル場合ハ第四種絕緣電線ヲ使用シ且第百四條第一項第六號ニ準ジ施設スルコト

連接引込線ハ屋內ヲ通過セズ且引込線ヨリ分岐スル點ヨリ六十米ヲ超ユ

ル地域ニ亙リ施設スルコトヲ得ズ

連接引込線ハ道路ヲ橫斷セズ且第百二條ノ規定ニ依リ施設スル場合ヲ除クノ外第一項ニ準ジ之ヲ施設スルコトヲ要ス

高壓架空引込線ニハ四粍ノ第三種絕緣硬銅線若ハ五粍ノ第一種絕緣硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ、太サ及效力ヲ有スル電線ヲ使用シ且第三十二條、第四十三條及第四十八條乃至第五十二條ノ規定ニ準ジ施設スルコトヲ要ス但シ第四十三條第一項第四號及第五號ノ制限ハ危險ノ虞ナク且工事上已ムヲ得ザル場合ニ限リ引込線ト之ヲ直接引込メル造營物ニ付之ヲ適用セズ

第百一條　屋外電燈ノ引下線ニシテ地表上ノ高サ二・五米未滿ノ部分ニハ電纜工事ニ依リ施設スル場合ヲ除クノ外第四種絕緣電線ヲ使用シ且人ノ觸ルル虞アル場所ニ施設スル場合ハ他動的損傷ヲ防止スル爲適當ニ施設スルコトヲ要ス

第百二條　軒下其ノ他家屋ノ外面ニ沿ヒ引込線、連接引込線其ノ他ノ低壓電線ヲ施設スル場合又ハ家屋ノ外側ニ低壓電線ヲ露出セズシテ施設スル場合ハ一・六粍ノ軟銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スル電線ヲ使用シ之ヲ碍子引工事人ノ容易ニ觸ルル虞ナキ展開シタル場所及(細第七十六條)屬管工事又ハ電纜工事ニ依リ且危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設スルコトヲ要ス

(細第六十七條)

前項ノ屋外工事ガ看板燈其ノ他家屋ノ外面ニ於ケル電氣使用ヲ目的トスルモノナルトキハ該電路ノ電線相互間及全電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ノ絕緣抵抗ハ電球及附屬物ヲ含ミ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ五千分ノ一ヲ超過セシメザルコトヲ要ス但シ白熱電燈ノミニ電氣ヲ供給スル回路ニ在リテハ電球承口一箇ニ對シ一メグオーム以上タラシムルコトヲ要ス

第百三條　「ネオン」管燈其ノ他之ニ類スル放電管燈ハ左ノ各號ニ依リ且人ノ觸ルル虞ナキ場所ニ危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設スルコトヲ要ス(細第六十八條)

一　管燈回路ニ使用スル變壓器ハ二次無負荷電壓一萬五千ヴオルト以下ニシテ二次短絡電流五十ミリアムペア以下ノモノナルコト

二　管燈回路ニ使用スル電線ニハ管極間ノ短小ナル接續線ヲ除クノ外特殊ノ絕緣耐力ヲ有スル一・六粍ノ軟銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ、太サ及效力ヲ有スル電線ヲ使用スルコト

第百四條　電壓百五十ヴオルト以下ノ屋外照明用架空電線路ハ第三十二條、第四十九條、第五十一條及左ノ各號ニ依リ且危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設(細第六十九條)スルコトヲ要ス

一　他ノ配電線路又ハ引込線ヲ分岐セザルコト

二　他ノ架空電線路又ハ架空弱電流電線路トノ交叉數ヲ最小ナラシムルコト

三　市街地ノ道路上ニ施設スル場合ハ幅員二十米ヲ超過スル道路ニ施設セザルコト但シ道路ノ中央ニ電燈列ヲ架設スル場合ハ幅員十米ヲ超過スル道路ニ施設セザルコト

四　電線ニハ二・六粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ電線ヲ金屬線ニテ吊架スル場合又ハ道路外ニシテ人ノ容易ニ立入ラザル場所ニ三十米以下ノ徑間ヲ以テ施設スル場合ハ二粍ノ硬銅線ヲ使用スルコトヲ得

五　電線ニハ左ニ揭グル絕緣電線ヲ使用スルコト

(イ)　金屬線ニテ吊架シタル電線　　第四種絕緣電線